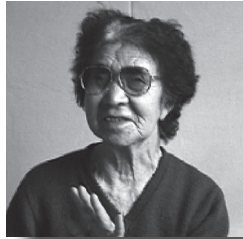


アイヌ民話ライブラリ 3

上田トシの民話 3



アイヌ民族博物館

目 次

はじめに	v
語り手と録音について	v
凡例	vi
第1話 散文の物語	1
飢饉とカラス神	
添付 CD5-1 (21 分 25 秒)	
第2話 散文の物語	39
さまよう舟の女神	
添付 CD5-2 (8 分 19 秒)	
第3話 散文の物語	55
飢饉になり千歳まで魚とりに行ったタンネサルの親子	
添付 CD5-3 (13 分 3 秒)	
第4話 散文の物語	77
オキクルミが妻の姿を人に見られて怒った話	
添付 CD5-4 (8 分 45 秒)	
第5話 散文の物語	91
まぼろしを見た石狩の女	
添付 CD5-5 (11 分 14 秒)	
第6話 散文の物語	107
嘘の談判 盗みの談判	
添付 CD6-1 (17 分 14 秒)	
第7話 散文の物語	133
息子に「ゼンマイ」と名づけた夫婦の話	
添付 CD6-2 (10 分 28 秒)	
第8話 散文の物語	151
サルの生き肝	
添付 CD6-3 (7 分 25 秒)	
第9話 散文の物語	163
ぬかおにぎりころがった	
添付 CD6-4 (6 分 37 秒)	
第10話 散文の物語	175
石狩を守るクモ神の夢を見たパロアッテ	
添付 CD6-5 (13 分 46 秒)	

はじめに

「アイヌ民話ライブラリ」は、アイヌ民族博物館が採録し所蔵する音声資料のうち、物語をまとめたシリーズである。

添付CDには、アイヌ語沙流方言の話者上田トシ氏が語った物語 10 編が収録されている。これらはアイヌ民族博物館が所蔵する音声資料の一部である。その内容の活字化と対訳が印刷物に収められている。活字化と対訳は安田千夏が行い、編集は安田益穂が行った。

なお、本書は平成 26 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）の交付を受けて作成した。

上田トシさんのご遺族をはじめ、ご指導ご協力下さった方々に厚くお礼申し上げます。

語り手と録音について

上田トシさんは、1912 年 10 月 3 日、沙流郡平取村字ペナコリ生まれ。幼いころには全くアイヌ語を話さなかったというが、周囲のアイヌ口承文芸の語り手が次々亡くなる中、1987 年、12 歳年上の姉木村キミさんにウウェペケレ（散文の物語）を習ったのを皮切りに、川上まつ子さんら沙流方言の語り手の録音資料を聞くなどして独学し、沙流川筋の伝承活動を支える第一人者として活躍した。

1996 年、北海道文化財保護功労者賞、1998 年、アイヌ文化振興・研究推進機構のアイヌ文化賞を受賞。2005 年 7 月 24 日死去。享年 92 歳。

アイヌ民族博物館では 1993 年から 2001 年にかけて、聞き取り調査や公開講座での口演等の協力を受けた。その際の録音資料約 40 時間分を所蔵しており、これまで順次整理・公開を行ってきた。1997 年には『アイヌ民族博物館伝承記録 3 上田トシのウエペケレ』を刊行し、その一部を公開した。本書はそれに続くものである。

凡例

1. 添付CDには、1～10話の音声をオーディオCD2枚に収録した。なお、一部録音状態が良くない資料がある。
2. アイヌ語の表記は、原則として奥田統己（編）（1999）『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集（CD-ROMつき）』札幌学院大学、になった。
3. 母音字は a,e,i,o,u の5つ、子音字は p,t,c,k,s,r,m,n,w,y,h,'（声門破裂音）の12である。語頭と母音間の'は予測可能なので省略した。
4. 人称接辞は＝で区切って示した。言いさして止めていると判断される箇所には…を付した。
5. 音素交替がある箇所はローマ字表記に _（アンダーバー）で示した。
6. 参考文献は以下の通りである。（[] のゴシック体は本書注釈内での略号）
 - ・[奥] 奥田統己（編）『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集（CD-ROMつき）』（札幌学院大学、1999年）
 - ・[田] 田村すず子『アイヌ語沙流方言辞典』（草風館、1996年）
 - ・[中] 中川裕『アイヌ語千歳方言辞典』（草風館、1996年）
 - ・[萱] 萱野茂『萱野茂のアイヌ語辞典』（三省堂、1996年）
 - ・[久] 久保寺逸彦（編）『アイヌ語・日本語辞典稿—久保寺逸彦アイヌ語収録ノート調査報告書—』（北海道教育委員会／北海道文化財保護協会、1992年）
 - ・『アイヌ民俗文化財調査報告書XⅧ』（北海道教育委員会、1998年）
 - ・『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』（財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、2004年）
 - ・『森竹竹市遺稿集ウエペケル（改訂版）—アイヌ語と物語世界—』（森竹竹市、2004年）
 - ・田村すず子『アイヌ語音声資料3—サダモさんの昔話—』（早稲田大学語学教育研究所、1986年）
 - ・田村すず子『アイヌ語音声資料5—二風谷の昔話と歌謡・神謡—』（早稲田大学語学教育研究所、1988年）
 - ・田村すず子『アイヌ語音声資料6—国松さんと幸作さんの昔話—』（早稲田大学語学教育研究所、1989年）
 - ・[集大成] 萱野茂『ウウェペケル集大成』（アルドオ、1974年）
 - ・萱野茂『萱野茂のアイヌ神話集成 第4巻』（ビクターエンタテインメント、1998年）
 - ・片山龍峯『アイヌ語日常会話集1 凍ったミカン』（片山言語文化研究所、1992年）
 - ・『北海道立アイヌ民族文化研究センター紀要第5号』（北海道立アイヌ民族文化研究センター、1999年）
 - ・『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』資料番号 CC800082、CC800115（北海道アイヌ民族文化研究センター）
 - ・『アイヌ民族博物館伝承記録3・昔話 上田トシのウエペケル』（アイヌ民族博物館、1997年）
 - ・『アイヌ民族博物館開館30周年記念誌』（アイヌ民族博物館、2014年）

第1話 散文の物語

飢饉とカラス神

収録日：1993年10月28日

資料番号：35224A

添付CD：5-1（21分25秒）

第1話 散文の物語「飢饉とカラス神」⁽¹⁾

(ある女性が語る)

アコン ニシパ アン…

a=kor_ nispā an...

(私)の 夫 いる

私は夫と

トゥラノ オカアン ワ

turano oka=an wa

一緒に 暮らす(私達) して

一緒に暮らしていました。

アコン ニシパ エキムネ コロ

a=kor_ nispā ekimne kor

(私)の 夫 山獺に行く と

夫が山獺に行くと

ウサ ユク ネ チキ カムイ ネ チキ

usa yuk ne ciki kamuy ne ciki

色々 シカ で も クマ で も

シカやクマを

5 エアウナルラ ワ

eawnarura wa

家に運ん で

とって来るので

ネプ アエ ルスイ カ アコン ルスイ カ

nep a=e rusuy ka a=kor_ rusuy ka

何 (私)食べ たい も (私)持ち たい も

何を食べたいとも欲しいとも

ソモ キ ノ オカアン。

somo ki no oka=an.

しない で 暮らす(私達)

思わずに暮らしていました。

オラ シネ マツネポ タクプ

ora sine matnepo takup

こんど ひとり 娘 だけ

そしてひとり娘を

アコロ ペ ネ ワ… ネ ワ

a=kor pe ne wa... ne wa

(私)持つ もの であって であって

授かり

10 アコロ マツネポ ポロ ヒ

a=kor matnepo poro hi

(私)の 娘 大きくなる とき

娘が大きくなって

(雑音)

1 当館に残る最初の上田トシ氏の録音。この話の伝承経路は不明。録音は1993年10月28日白老町コミュニティセンターで開催された国際先住民年記念「広げよう民族の心 北と南の文化交流」で披露された口演である。解説は札幌学院大学の奥田統己氏。通常の調査とは状況が異なり、会場マイクを通しての録音であるため物語以外の情報は記録されていない。北海道アイヌ民族文化研究センター『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』資料番号CC800115の上田トシ氏による同話の別録音では「姉(木村きみ氏)から聞いた」とコメントしている。またこの話は北海道教育委員会1998『アイヌ民俗文化財調査報告書XVIII』、財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構編2004『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』平石清隆著「沙流地方のウエペケレ〜上田としの伝承〜4. 親不孝の娘の村が烏に荒らされた話」(pp618-643)として別録音の活字化資料が公開されている。

コロ オカアン ロキネ
kor oka=an rok_hine
ながら 暮らす(私達) した そして

タネ アマツネポ カ ポロ ヒ オラ
tane a=matnepo ka poro hi ora
もう (私の)娘 も 大きくなる とき こんど

ウカスイアン コロ エキムネアン。
ukasuy=an kor ekimne=an.
助け合い(私達) ながら 山へ行く(私達)

ニナ ネ ヤ ナ ネン ネン
nina ne ya na nen nen
まき だ とか まだ いろ いろ

15 アマツネポ トウラノ ウトウラアン カネ ワ
a=matnepo turano utura=an kane wa
(私の)娘 と一緒に 連れ立つ(私達) も して

エキムネアン ネ ヤ キ ワ ネ…
ekimne=an ne ya ki wa ne…
山に行く(私達) だ とか し て

ポ ヘネ ネプ カ アコン ルスイ カ ソモ キ。
po hene nep ka a=kor_rusuy ka somo ki.
なおさら 何 も (私)持ち たく も ない

アコン ニシパ ネ ヤッカ ユプテク クル
a=kor_nispa ne yakka yuptek kur
(私の)の 夫 で も 働き者である 人

ネ… イソン クル ネ… クス
ne… ison kur ne… kusu
狩りがうまい 人 だ から

20 ネプ カ アエイコイトウパ カ ソモ キ ノ
nep ka a=eykoytupa ka somo ki no
何 も (私)うらやみ も しない で

オカアン ペ ネ ア プ
oka=an pe ne a p
暮らす(私達) もの だった が

シネアンタ ソイ… エソイネ フマシ クス
sineanta soy… esoyne humas kusu
ある時 外 外で 音がする ので

ソイネアニネ インカラアン アクス
soyne=an_hine inkar=an akusu
外に出る(私) して みる(私) したところ

イパナケ ウン クル
i=panake un kur
(私の)川下 に住む 男の人

からは

助け合って山仕事へ行きました。

まき取りやいろいろ

娘と連れ立って

山仕事へ行ったりして

なおさら何の不満もありませんでした。

私の夫も働き者で

狩りがうまいので

人をうらやむこともせずに

暮らしていたのでした。

あるとき、外で音がしたので

私が出てみると

川下の方に住む男の人が

- 25 ソイ タ アン ルウェ ネ ヒ クス
 soy ta an ruwe ne hi kusu
 外 に いる こと だ から
 立っていました。
- アフナン イ アイェ アクス
 ahun=an _hi a=ye akusu
 入る(人) こと (私)言っ たところ
 お入りいただきましょうかと言うと
- アコン ニシパ
 a=kor_ nispa
 (私)の 夫
 夫は
- “アアフンケレ ヤク ピリカ ナ”
 “a=ahunkere yak pirka na”
 (人)入ってもらふ と いい よ
 「入ってもらったらいい」
- セコロ ハウエアン…
 sekor hawean…
 と 言う
 と
- 30 アコン ニシパ ハウエアン クス アアフンケ イネ
 a=kor_ nispa hawean kusu a=ahunke _hine
 (私)の 夫 言う ので (私)入れ て
 言うので中に招き入れると
- アフン イネ ウウェランカラプ…
 ahun _hine uwerankarap…
 入っ て 互いに挨拶をする
 男の人は入って来て
- ウタシパ ウウェランカラツパ ヒネ²
 utaspa uwerankarappa hine
 交代で 挨拶をする して
 互いに挨拶を交わし
- オラノ ナ ネン ネン
 orano na nen nen
 それから まだ いる いる
 それからいろいろと
- キモロ オルシペ ネ ヤ
 kim or oruspe ne ya
 山 での 話 だ とか
 山獵の話や
- 35 ネプキ オルシペ エウコイソイタクパ コロ³
 nepki oruspe eukoisoitakpa kor
 仕事 話 互いに話し ながら
 仕事の話をお互いにし
- アコン ニシパ カ キ コロ オカアン
 a=kor_ nispa ka ki kor oka=an
 (私)の 夫 も し て いる(私達)
 夫も応じていました。

- 2 このウウェランカラプ uwerankarap(-pa) は正式な挨拶のことを指す。オンカミ onkami (拝礼) を交わし、客人、家の主人とそれぞれ律語を連ねて長々とあいさつをし、それから訪問の要件などに移る。文中では語尾が複数形 (-pa) になっている。
- 3 お互いの素性がわからない初対面のときは、こうした会話のやりとりで相手の素性を探り合うのが普通である。例えば相手が神であった場合には、狩りなど通常の仕事の話が中心にならず、神の国での話などが中心となるため違和感を抱くという展開もある。この場合は相手も山の話、仕事の話をしているので普通の人間であることがこの段階で判明する。

ラポッケ スケアン ヒネ
rapokke suke=an hine
そのうちに 料理を作る(私) して

私はその間に料理を作り

オヌマンイペアン オカアン アクス オラ ワ…
onumanipe=an oka=an akusu ora wa…
夕食をする(私達) いる(私達) したところ こんど

みなで夕飯を食べました。

40 ウコイタク コロ ウウエネウサラ コロ
ukoitak kor uwenewsar kor
互いに話し ながら 話をし ながら

互いによもやま話をして楽しんで

オカ ロク イネ
oka rok _hine
い た そして

いると

アコン ニシパ イタク ウトウル テレ ランケ
a=kor_ nispa itak utur tere ranke
(私)の 夫 言葉 の間 を待つ 何度も

夫の言葉が途切れるのを

イパナケ ウン クル イタク ウトウル
i=panake un kur itak utur
(私の)川下 に住む 男の人 言葉 の間

川下の男の人は

テレ ランケ コロ アン コトム アン アイネ⁴
tere ranke kor an kotom an ayne
待つ 何度も して いる ようで いる うちに

何度も待っているような感じでしたが

オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った

やがてこう切り出しました。

45 “アコン ニシパ マツネポホ アエトウン クス
“a=kor_ nispa matnepoho a=etun kusu
(私)の 旦那さん の娘 (私)嫁にする ために

「旦那さんの娘さんを嫁にもらうために

エカン ルウエ ネ”
ek=an ruwe ne”
来る(私) の です

私はやって来たのです」

セコロ ハウエアニ ルウエ ネ アクス
sekor hawean ruwe ne akusu
と 言う こと だっ たところ

と言いました。

アコン ニシパ エライキマテク
a=kor_ nispa eraykimatek
(私)の 夫 ひどく驚く

夫はひどく驚いて

“アッ タクピ アコロ オペレ…
“ar_ takupi a=kor oper…
ただそれだけ (私)の 娘

「たったひとりの

4 何か重要な話をしようとしているときの常套表現。この場合、未婚の男性が恋人の父に「お嬢さんをください」と言い出そうとしている気持ちを想像してみるとよくわかる。しかし初対面でそれを言い出すというのは相当な度胸がいることである。

50 シネ マツネポ ネ ワ
sine matnepo ne wa
ひとり 娘 であっ て

娘なのです。

トゥラノ オカアン ワ ポロ ヤクン
turano oka=an wa poro yakun
一緒に 暮らす(私達) して 大きくなる ならば

一緒に暮らして大人になったなら

ネン カ コン ルスイ ワ アコレ ヤクン
nen ka kor_rusuy wa a=kore yakun
誰 か 持ち たく て (私達)与える ならば

誰かに望まれて嫁にやったなら

オラ シソイタ アヌ ワ
ora sisoyta anu wa
こんど 自分の家の外に 置いて

隣に住まわせて

シカ…ウンテアン⁶ クニ
sika... unte=an kuni
養ってもらう(私達) ? と

面倒を見てもらおうと

55 アラム コロ アナン ルウェ ネ ア プ
a=ramukor an=an ruwe ne a p
(私)思い ながら 暮らす(私) こと だっ た のに

ずっと思っていたのに

ネン アイイエ ヤッカ アマツネポ アコララ
nen a=i=ye yakka a=matnepo a=korar
何 (人が私に)言っ ても (私の)娘 (私)嫁にやる

何を言われても娘を嫁にやることは

アコライニウケシ ルウェ ネ ”
a=korayniwkes ruwe ne”
(私)ことができない の です

できかねるのです」

セコロ アコン ニシパ ハウエアン コロ
sekor a=kor_nispa hawean kor
と (私)の 夫 言い ながら

と夫が言って

コパン ヤッカ
kopan yakka
拒む しても

断るのですが

60 “ヤイカタ カ
“yaykata ka
自分 も

「自分も

シネ ポ タクプ アコロ ペ ネ クス
sine po takup a=kor pe ne kusu
ひとり 息子 だけ (人)持つ もの だ から

ひとりっ子なので

ウタシパ シネ ポ シネ マツネポ ネ クス
utaspa sine po sine matnepo ne kusu
お互いに ひとり 息子 ひとり 娘 だ から

お互いにひとりっ子同士なので

5 語形未詳。何と言おうとしたのか不明だが、あるいはシカオイキヤラ sikaoykiyar「人に養ってもらう」か。

ウタシパ ウコパヨカ ヤッカ ピリカ” ヒ
 utaspa ukopayoka yakka pirka” hi
 交代で 互いに訪ねる しても いい こと

行き来すればいいでしょう」と

トウ ピリカ イタク レ ピリカ イタク イェ コロ
 tu pirka itak re pirka itak ye kor
 2 良い 言葉 3 良い 言葉 言い ながら

良い言葉を重ねて

65 エアラキンネ アコン ニシパ
 earkinne a=kor_ nispa
 本当に (私の)の 夫

懸命に私の夫に

カシ アオシケ⁶ アイネ オラ
 kasi a=osike ayne ora
 贈り物を(私)した あげく こんど

贈り物(?)をすると

アコン ニシパ カトウトウルシノ⁷
 a=kor_ nispa katuturusino
 (私の)の 夫 嫌々ながらに

夫は嫌々ながらに

エセ ルウェ ネ ヒネ
 ese ruwe ne hine
 承諾すること であっ て

承知しました。

オラ ニサッタ ネ アン アクス オラ
 ora nisatta ne an akusu ora
 こんど 翌日 に なる と こんど

そして翌日になると

70 ナニ アコ… アマツネポ コロ ワ オカイ ペ
 nani ako... a=matnepo kor wa okay pe
 すぐに (私の)娘 持つ て いる もの

すぐに娘は持ち物を

ウウオマラパレ イネ セ ヒネ
 uwomarpare _hine se hine
 集め て 背負っ て

まとめて背負い

ネア ニシパ トウラ ヒネ サン ワ イサム ワ
 nea nispa tura hine san wa isam wa
 その 男性 と一緒に して 下っ て しまっ て

その人と一緒に行ってしまいました。

オカアン イケ カ
 oka=an _hike ka
 暮らす(私達) して も

私たちは毎日

アコヘプトウトウ コロ オカアン ヤッカ
 a=kohepututu kor oka=an yakka
 (私)ふくれっ面をし て いる(私達) でも

ふくれっ面をして暮らしていましたが

75 オラノ イネ ヘンパク ト
 orano ine henpak to
 それから 何日

何日も

6 カシエホッケと聞こえるが、こう言おうとしたと考えた。

7 katuturushino (katuturushno?) ~ eese ruwe-ne 不承無承に承知する 嫌々ながら承知した。[久 396]

イネ ヘンパク チュプ アン ヤツカ
ine henpak cup an yakka
何か月 たっ ても

何か月たっても

イホタヌカラパ カ ソモ キ ノ
i=hotanukarpa ka somo ki no
(私達を)訪ねる も しない で

娘が訪ねて来ることはありませんでした。

アコイルシカパ コロ オカアン ラポッケ
a=koiruskapa kor oka=an rapokke
(私達)腹を立てる ながら 暮らす(私達) そのうちに

腹を立てて暮らすうちに

マク ネ ワ ネ ヤ アコタヌ ケムシ イネ
mak ne wa ne ya a=kotanu kemus _hine
どう し て だ か (私の)村 飢饉になっ て

どうしたことか私の村が飢饉になり

80 エアラキンネ アウク ワ アエプ カ イサム ヒ
earkinne a=uk wa aep ka isam hi
本当に (私)とっ て 食べ物 も ない こと

本当に食べる物もなくて

ヤイウエンヌカラアン コロ
yaywennukar=an kor
苦しむ(私) ながら

苦しんで

アナン ルウエ ネ アクス
an=an ruwe ne akusu
暮らす(私) こと だっ たところ

いたところ

アコン ニシパ シネアンタ エネ ハウエアニ。
a=kor_nispa sineanta ene hawean _hi.
(私の)の 夫 あるとき このように言った

あるとき夫がこう言いました。

“アコロ イヨッタ ピリカ セツパ⁸⁾
“a=kor iyotta pirka seppa
(私の)の 一番 良い 切羽

「私の持つ一番いい刀のつばを

85 エセ ワ エサン ワ
e=se wa e=san wa
(お前)背負っ て (お前)下っ て

おまえは持って川を下り

アマツネポホ シウトホ⁹⁾ エウン
a=matnepoho siwtho eun
(私達の)娘 の嫁ぎ先 に

娘の嫁ぎ先の親のところに

エセ ワ エアラパ ワ
e=se wa e=arpa wa
(お前)背負っ て (お前)行っ て

持って行って

8 日本語「切羽」からの移入語。刀のつば。和入文化からもたらされ、アイヌ社会では本来の用途から離れて宝物として大切に保管される。そして宝物の中でも特別な力を持つものとしてまじないなどにも使われる。ここではその中の一番良い品を差し出すほど困っていることを意味している。

9 日本語「しゅうと」からの移入語。しゅうとめや嫁ぎ先のおじ、おばなどの親族もこの語で表現される。ここではシウトホ siwtho「～のしゅうと」とアイヌ語の所属形になっている。

アエプ エタサレ ワ エエク クス ネ ナ”
 aep e=tasare wa e=ek kusu ne na”
 食べ物 (お前)交換し て (お前)来る の だ よ

食べ物と交換して来なさい」

セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら

と言って

90 セツパ サンケ ワ イコレ。
 seppa sanke wa i=kore.
 切羽 を出し て (私に)くれる

刀のつばを出して私に託しました。

メノコ アナクネ オハ メノコ
 menoko anakne oha menoko
 女 は 同じ 女

女性は女性同士で

ウコイタクヌ プ ネ ナ
 ukoitaknu p ne na
 会話する もの だ ぞ

口をきくのだぞ

セコロ ヘメム イイエ コロ
 sekor hemem i=ye kor
 と も (私に)言い ながら

とも言われながら

オラ ネ セツパ アセ ヒネ サナン コロカ
 ora ne seppa a=se hine san=an korka
 こんど その 切羽 (私)背負っ て 下る(私) けれど

それを持って川を下って行きました。

95 ケメウエンアン ペ ネ クス
 kemewen=an pe ne kusu
 飢饉で悪くなる(私) もの だ から

しかし飢えで

シンキアン ネ ヤ ナ ネン ネン ネ ワ
 sinki=an ne ya na nen nen ne wa
 疲れる(私) だ とか まだ いろ いろ であっ て

衰弱したりしているので

アプカシコヤイクシアン コロ ネ コロカ
 apkaskoyaykus=an kor ne korka
 歩きにくい(私) ながら だ けれど

歩くのもつらいけれど

サナン ヒネ
 san=an hine
 下る(私) して

川を下って行き

タネ コタン カランケ
 tane kotan karanke
 もう 村 近く

もう娘の嫁いだ村に

100 サナン ヒ ネ クニ アラム コロ
 san=an hi ne kuni a=ramu kor
 下る(私) ころ だ と (私)思い ながら

着くころだと思いながら

ルアシッタ⁽¹⁰⁾ シニアン ヒネ
 ruasitta sini=an hine
 道のわきで 休む(私) して

道のわきで休んで

アナン ルウェ ネ アクス
 an=an ruwe ne akusu
 いる(私) こと だったところ

いると

アイヌ ハウ アシ ペコロ ヤイヌアン イ クス
 aynu haw as pekor yaynu=an _hi kusu
 人 声 する ように 思う(私) ので

人の声がしたように思いました。

インカラン アクス
 inkar=an akusu
 見る(私) したところ

見ると

105 ポン メノコ ウタラ ニシケ ニシケ カネ
 pon menoko utar nisike nisike kane
 若い 女 達 薪を運ぶ も

若い娘達がまきを運んで

オカ ワ ポン メノコ ウタラ
 oka wa pon menoko utar
 い て 若い 女 達

いて

ウトウラ ヒネ サツパ。
 utura hine sappa.
 連れ立っ て 下る

連れ立ってやって来たのでした。

オラ ルアシッタ シンキアン コロ
 ora ruasitta sinki=an kor
 こんど 道のわきで 疲れ(私) ながら

私は道端で疲れて

ケマトウリアン カネ アナン ヒネ
 kematuri=an kane an=an hine
 足を伸ばす(私) して いる(私) して

足を伸ばして

110 シニアン ヒネ アナン ルウェ ネ ア プ
 sini=an hine an=an ruwe ne a p
 休む(私) して いる(私) こと だった が

いたのですが

ホシキノ ニシケ ワ サン メノコ アナクネ
 hoskino nisike wa san menoko anakne
 先に 薪を背負っ て 下る 女 は

先頭でまきを背負って下って来た女は

アマツネポホ ネ。
 a=matnepoho ne.
 (私の)娘 である

私の娘でした。

ホシキ サン ヒケ オラノ
 hoski san hike orano
 先に 下る が それから

先に立ってやって来て

10 前掲『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』CC800115 上田トシ氏による日本語の語りでは、この部分を「道路のへり」と説明している。

イサム クス ヒケ カ
i=sam kusu hike ka
(私の)そば を通る に も

私のそばを通ったのに

115 ソモ イヌカラ アペコロ アン コロ¹¹
somo i=nukar apekor an kor
(私を)見ない かのよう に い て

まるで私が見えないかのようにして

ウレ アニ… ウレ イエオコク ペコロ イキ コロ
ure ani... ure i=eokok pekor iki kor
足先 で 足先 (私に)つまずく かのよう に し て

足先で私にけつまずくようにして

イアッカリ シリ アヌカラ ヒ
i=akkari siri a=nukar hi
(私を)越える 様子 (私)見る こと

通り越して行ったのでした。

タクピ カ アコイルシカ コロ ネ コロカ
takupi ka a=koiruska kor ne korka
だけ も (私)怒り ながら だ けれど

それだけでも腹が立ちましたが

エネネ ヒ カ イサム ペ ネ クス
enene hi ka isam pe ne kusu
どうする こと も ない もの だ から

どうすることもできないので

120 オシ サナン ルウエ ネ アクス
os san=an ruwe ne akusu
後 下る(私) こと だっ たところ

後から川を下って行きました。

コタン イマク タ ピリカ ポン チセ アン ヒネ
kotan imak ta pirka pon cise an hine
村 の奥 に きれいな 小さい 家 あっ て

すると村の奥にきれいな小さい家があり

オロ ワ… イオシ ノ ニシケ カネ ワ
oro wa... ios no nisike kane wa
そこ に その後 で 薪を運ぶ も して

そこに私の後からまきを背負って

サナ ポン メノコ エキネ
san a pon menoko ek _hine
下っ た 若い 女 来 て

川を下って来た若い娘が

ルアシッタ エキネ
ruasitta ek _hine
道のわきに 来 て

道のわきに来て

125 ヒナク ワ エカン ペ アネ ルウエ ネ ヤ
hinak wa ek=an pe a=ne ruwe ne ya
どこ から 来る(私) もの (私)な の だ か

どこから来たのかと

イコウウェペケンヌ ヒ クス
i=kouwepekennu hi kusu
(私に)尋ねる ので

私に尋ねるので

11 実の母親に取る態度とは思えず、娘に何か大きな心の変化があったことを示している。嫁いで以来訪ねて来なかったことも関係しているように思われる。

“ タプネ カネ タアン コタン オッ タ
 “ tapne kane taan kotan or_ ta
 このようなわけで あの 村 の所 に

「このようなわけであちらの村で

オカアン ペ ネ ワ
 oka=an pe ne wa
 暮らす(私) もの であって

暮らしていたのですが

アマツネポ タン コタン オルン
 a=matnepo tan kotan or un
 (私の)娘 この 村 の所 の

私の娘がこの村の

130 コタンコンニシパ コン ルスイ ヒネ
 kotankonnispa kor_ rusuy hine
 村長 持ち たく て

村長に望まれて

アコレ ワ トウラ ワ サナン… サプ ア プ
 a=kore wa tura wa san=an... sap a p
 (私)与え て 一緒に に 下る(人) 下っ た が

嫁がせて一緒に川を下って行ったのです。

オラノ イホタヌカラパ カ ソモ キ コロカ
 orano i=hotanukarpa ka somo ki korka
 それから (私を)訪ねる も し ない けれど

それからは訪ねても来ないけれど

ナア ペウレアン クス ネプキアン コロ
 naa pewre=an kusu nepki=an kor
 まだ 若い(私) ので 働く(私) ながら

まだ私も若いので働いて

オカアン ルウェ ネ ア プ
 oka=an ruwe ne a p
 暮らす(私) こと だっ た が

いたのですが

135 マク ネ ワ ネ ヤ アコタヌ ケムシ ワ
 mak ne wa ne ya a=kotanu kemus wa
 どう し て だ か (私の)村 飢饉になっ て

どうしたことか私の村が飢饉になり

エアラキンネ ヤイウエンヌカラアン ワ… クス
 earkinne yaywennukar=an wa... kusu
 本当に 苦しむ(私) して ので

本当に苦しんで暮らしているので

シリペエサナン ルウェ ネ ”
 siripeesan=an ruwe ne”
 食糧調達に下る(私) の です

食糧をもらいに川を下って来たのです」

セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ

と言ったところ

ネ ポン メノコ
 ne pon menoko
 その 若い 女

その若い娘は

140 エアラキンネ イケムヌハウコカリ コロ
 earkinne ikemnuhawkokari kor
 本当に 同情の声をあげ ながら

私に同情の声をあげて

“ホクレ ホクレ シニアン ヤッカ ピリカ ナ”
 “hokure hokure sini=an yakka pirka na”
 早く 早く 休む(私達) しても いい よ

「さあ早く、家に入ってお休みください」

セコロ ハウエアン コロ オラ イシニレ ヒ クス
 sekor hawean kor ora i=sinire hi kusu
 と 言いながら こんど (私を)休ませる ので

と言って私を休ませてくれたので

シニアン ルウエ ネ アクス
 sini=an ruwe ne akusu
 休む(私) こと だっ たところ

そこで休んでいると

エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi.
 このように言った

娘さんはこのように言いました。

145 “カツケマツ カムイ エサン ヤッカ
 “katkemat kamuy e=san yakka
 奥 様 (お前)下っ ても

「奥様が川を下って来ても

アイペレ カ ネプ カ アエコレ カ
 a=ipere ka nep ka a=e=kore ka
 (人)食事させ も 何 も (人がお前に)与え も

食事何も出して

ソモ キ ナンコロ
 somo ki nankor
 しない だろう

もらえないでしょう。

カトウ アナク エネ アニ。
 katu anak ene an _hi.
 事情 は こうである

それはこういうことです。

コシマツ サクパ ラポク アナクネ
 kosmat sakpa rapok anakne
 嫁 ない 間 は

嫁をもらうまでは

150 コタン オツ タ カ
 kotan or_ ta ka
 村 の所 で も

村でも

エアラキンネ ケウトウム ピリカ ウタラ ネ ワ
 earkinne kewtum pirka utar ne wa
 本当に 心 美しい 人達 であっ て

本当に立派な人達であり

トゥラノ オカアン エアシカイ クル ネ ア プ
 turano oka=an easkay kur ne a p
 一緒に 暮らす(私達) できる 人 だっ た が

共に暮らすことのできる人でしたが

コシマツ コロ アクス
 kosmat kor akusu
 嫁 を持っ たところ

嫁を持ったところ

オラノ ネウン ネ ヤ カ エラミシカリ コロカ
 orano neun ne ya ka eramiskari korka
 それから どう だ か も わからない が

なぜかわからないのですが

- 155 ウエイサンペコロパ ワ
 weysanpekorpora wa
 悪い心を持っ て 悪い心を持ったのです。
- コタン オツ タ カ エアラキンネ
 kotan or_ ta ka earkinne
 村 の所 に も 本当に あなたの村では本当に
- ウコエランペカママ¹² コロ オカ ヤク アイエ ヒ
 ukoerampekamama kor oka yak a=ye hi
 皆が苦勞し ながら 暮らす と (人)言う こと 皆さんが苦勞しているということを
- アヌ コロ アナン コロカ
 a=nu kor an=an korka
 (人)聞い て いる(人) けれど 聞いてはいるのですが
- サナン カ エラミシカリ ノ アナン ルウエ ネ
 san=an ka eramiskari no an=an ruwe ne
 下る(人) も 知らない で いる(人) こと である 来ても知らないふりでいるのです。
- 160 ヤク… エサン ヤツカ
 yak... e=san yakka
 と (お前)下っ ても あなたが来ても
- ネプ カ アエコレ カ アエエレ カ
 nep ka a=e=kore ka a=e=ere ka
 何 も (人がお前に)与え も (人がお前に)食べさせ も 何を与えも食べさせも
- ソモ キ ナンコロ クス
 somo ki nankor kusu
 しない だろう から しないでしょう。
- シニアン ワ アナン ヤク… ペカ カ…
 sini=an wa an=an yak... peka ka...
 休む(私達) して いる(私) と 私の家で休んでいきなさい。
- アユピ トウラノ トウン ネ ヒネ
 a=yupi turano tun ne hine
 (私の)兄 と一緒に ふたり で して 私は兄とふたりで
- 165 … トウン ネ ヒネ オカアン ペ ネ ナ”
 … tun ne hine oka=an pe ne na”
 ふたり で して 暮らす(私達) もの だ よ 暮らしているのです」
- セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言う ながら と言って
- オカアン ルウエ ネ アクス
 oka=an ruwe ne akusu
 いる(私達) こと だっ たところ いました。

12 イランペカママ irampekamama 難儀する、つらい、(間投詞的に) 苦勞だなあ [田]

ラポッケ シットケサクス
rapokke sittokes akusu
そのうちに 日が暮れ たところ

そのうち日が暮れると

エキムネ クル イワケ
ekimne kur iwak
山獵に行く 人 帰る

その娘の兄が山獵から帰って来ました。

170 ソンノ カ ペウレ クル ネ ヒネ
sonno ka pewre kur ne hine
本当に も 若い 人 で そして

とても若い人で

ソヨシピタ ヒネ アフン アクス
soyosipita hine ahun akusu
外で身支度を解く して 入る したところ

外で身支度を解いて入って来ると

ネ ポン メノコ
ne pon menoko
その 若い 女

その娘は

“アコタヌン コシマチ
“a=kotanuun kosimaci
(私の)村長 の 嫁

「村長の嫁さんの

ウヌフ ネ ヤク アイェ プ オラ
unuhu ne yak a=ye p ora
母 だ と (人)言う 人 こんど

お母さんだという方が

175 エネ ルアシッタ シニ ワ アン イキ ア プ
ene ruasitta sini wa an iki a p
こう 道のわきで 休ん で いる し た が

道ばたで休んでいたのですが

ウレ エオコク ペコロ イキ コロ
ure eokok pekor iki kor
足 でつまずく ように し ながら

(娘さんは) 足につまずくようにして

アッカリ ワ サン ワ
akkari wa san wa
越え て 下っ て

通り越して行き

オシ サン コロカ
os san korka
後 下る けれど

この人はその後から川を下って来たのですが

エイタサ エランポキウエン ワ
eytasa erampokiwen wa
あまりにも 気の毒に思っ て

あまりにも気の毒なので

180 アシニレ ワ アナン ルウエ ネ ”
a=sinire wa an=an ruwe ne”
(私)休ませ て いる(私) こと です

休んでもらっているのです」

セコロ イマタキ ネ ポン メノコ
sekor imataki ne pon menoko
と 妹 の 若い 女

とその妹娘が

ハウエアン アクス

hawean akusu

言っ たところ

言ったところ

イユプネクル イヨクンヌレ コロ ネ コロカ

iyupnekur iyokunnure kor ne korka

兄である人 あきれ ながら だ けれど

兄の方もあきれながらですが

オラ エネ ハウエアニ。

ora ene hawean _hi.

こんど このように言った

こう言いました。

185 “アエレウシレ ヤク ピリカ コロカ

“a=e=rewsire yak pirka korka

(私がお前を)泊める と いい けれど

「お泊めするのはいいのですが

コタン オルン クル ホシキ メノコ

kotan or un kur hoski menoko

村 の所 の 人 先 女性

村人が先走ってお母様を

ヤントネ アコロ ヒ

yantone a=kor hi

滞在する (私)持つ こと

お泊めしたことを

コタン オルン ニシパ エウン

kotan or un nispa eun

村 の所 の 旦那 に

村長に

アイエ ソモ キ ヤクン

a=ye somo ki yakun

(私)言う しない ならば

言わなければ

190 アイコチャランケ ナ。

a=i=kocaranke na.

(人が私に)文句をつける よ

文句をつけられるのです。

エサン ワ エイエ ヤク ピリカ ナ”

e=san wa e=ye yak pirka na”

(お前)下っ て (お前)言う と いい よ

妹よ、言ってきたさい」

セコン ネ… ハウエアン ルウェ ネ アクス

sekor_ ne... hawean ruwe ne akusu

と 言う 言う こと だっ たところ

と言うので

ネア ポン メノコ ソイネ ワ イサム イネ

nea pon menoko soyne wa isam _hine

その 若い 女 外に出 て しまっ て

その娘は外に出て行きました。

オラ エク アクス

ora ek akusu

こんど 来る したところ

そして戻って来て

195 “タヌ克蘭 アエレウシレ ヤッカ ピリカ。

“tanukuran a=e=rewsire yakka pirka.

今夜 (私達がお前を)泊め ても いい

「今夜はここに泊ってもらって大丈夫です。

ニサッタ オヌマン ネ アナクネ
 nisatta onuman ne anakne
 明日 夕方 に は

村長は明日の夕方

カムイホプニレ エトコ アオイキ コロ
 kamuyhopunire etoko a=oyki kor
 クマを送る 準備 (人)し ながら

クマ送りをするその準備が

アナン クス ネ クス
 an=an kusu ne kusu
 いる(人) つもり だ から

あるので

ニサッタ オヌマン パクノ イヨツ タ
 nisatta onuman pakno i=or_ ta
 明日 夕方 まで (私の)所 に

明日の夕方まで私のところに

200 アエアヌ ヤッカ ピリカ ナ セコロ
 a=e=anu yakka pirka na sekor
 (私がお前を)置く しても いい よ と

いてもらって良いと

アイェ ワ エカン ルウェ ネ ”
 a=ye wa ek=an ruwe ne”
 (人)言っ て 来る(私) の です

言われて来ました」

セコロ ハウエアニ オラ
 sekor hawean _hi ora
 と 言う こと こんど

と言うので

ヤイライケアン ヒ アイェ コロ アナン
 yayrayke=an hi a=ye kor an=an
 感謝する(私) こと (私)言う ながら いる(私)

私は感謝の言葉を言っていました。

ラポッケ オラ ピリカ スケ キ ヒネ
 rapokke ora pirka suke ki hine
 そのうちに こんど 良い 料理 し て

その間に妹はおいしい食事を作り

205 イイペレ ヤッカ
 i=ipere yakka
 (私に)食べさせ ても

食べさせてくれましたが

イペ カ アヌクリ ノ
 ipe ka a=nukuri no
 食事し も (私)しづらく て

私だけ食べるのも心苦しく

アコン ニシパ エランポキウエン ワ
 a=kor_ nispa erampokiwen wa
 (私の)の 夫 かわいそう で

夫がかわいそうなので

コロ ピリカ ウシケ アヌムケ ワ
 kor pirka uske a=numke wa
 その おいしい 所 (私)選ん で

おいしいところを選んで

アコロ ポイ サラニプ オルン
 a=kor pon_ saranip or un
 (私の)の 小さい 編み袋 の所 に

持参した編み袋に

- 210 アチピヤンケ¹³ コロ イペアン ルウェ ネ
 a=cipiyanke kor ipe=an ruwe ne
 (私)入れ ながら 食事をする(私)の です
 入れながら食事をしました。
- ヒネ オラ ホッケアン イケ カ
 hine ora hotke=an _hike ka
 そして こんど 寝る(私) して も
 そして寝るにも
- ピリカ セツ カ… ポン メノコ カリネ
 pirka set ka... pon menoko kar _hine
 良い 寝床 も 若い 女 作っ て
 きれいな寝床を娘さんが作ってくれて
- ピリカ ホッケアン ヒネ
 pirka hotke=an hine
 良く 眠る(私) して
 ぐっすりと眠りました。
- オラ イシムネ ヒネ オラ トケシ イネ
 ora isimne hine ora tokes _hine
 そして 翌日 に こんど 日が暮れ て
 翌日、日が暮れてから
- 215 イトウラ ヒネ ネ コタン コロ… ウン
 i=tura hine ne kotan kor... un
 (私を)連れ て その 村 の に
 その人達と一緒に
- サパン¹⁴ ルウェ ネ アクス
 sap=an ruwe ne akusu
 下る(私達) こと だっ たところ
 下って行くと
- コタン オツ タ シポロ チセ アン イネ
 kotan or_ ta siporo cise an _hine
 村 の所 に とても大きい 家 あっ て
 村には大きな家があつて
- オロ タ アフナン ルウェ ネ アクス
 oro ta ahun=an ruwe ne akusu
 そこ に 入る(私達) こと だっ たところ
 そこに入って行きました。
- タネ コタン コロ ウタラ アフツパ ヒネ¹⁵
 tane kotan kor utar ahuppa hine
 もう 村 の 人達 入っ て
 するともう村人達が来ていて
- 220 チセ シクテ ノ コタンコロクル ウタラ
 cise sikte no kotankorkur utar
 家 いっぱい に 村長 達
 家いっぱい村長達
- メノコ ネ ヤ ヘカッタン ネ ヤ オカアニネ
 menoko ne ya hekattar_ ne ya oka=an _hine
 女性 だ とか 子供達 だ とか いる(人) して
 女性も子供達もいて

13 意味未詳。前掲書では「自分で食べないでお椀の食べ物を入れ物に入れて持って帰ること」というのが上田トシ氏による説明とされている。

14 ふつう村長の家は村の中央にあり、親切な兄妹の家は村長の家の上流側のどこかにあったことがサプsap「川下方向へ行く」という表現でわかる。

15 前出の通りクマ送りが行われていて、村人たちがよばれている場面。祭りは神事であると同時に、村をあげての社交の場でもある。

オロ タ アフナン。
oro ta ahun=an.
そこ に 入る(私達)

そこに入って行きました。

アパパ… ポク… ポ タ
apapa... pok... po ta
戸口 の下 に

戸口の下に

困った… イテ… イテメニ キ… アン イネ¹⁶
ite... itemeni ki... an _hine
梁 あっ て

(敷居)があって

225 オロ タ モノ アアン ウシケ
oro ta mono a=an uske
そこ で (私)座る 所

座る場所が

タクピ サラ ワ アン ヒネ
takupi sara wa an hine
だけ 開い て いる して

そこだけ空いていたので

オロ タ アアン ヒネ アナン コロカ
oro ta a=an hine an=an korka
そこ に 座る(私) して いる(私) けれど

座っていました。

オリパカン コロ インカラン アクス
oripak=an kor inkar=an akusu
遠慮する(私) ながら 見る(私) したところ

遠慮がちに見ると

アコロ アマツネポホ
a=kor a=matnepoho
(私)の (私)の娘

私の娘が

230 イサプテ コロ アン シリ イキ アイネ
isapte kor an siri iki ayne
給仕をし ながら いる 様子 する うちに

給仕をしている様子でした。

イサム タ エキネ ネ…
i=sam ta ek _hine ne…
(私の)そばに 来 て その

やがて私のそばに来て

カム イコイプニ ヒ…
kam i=koypuni hi…
肉 (私に)よそう こと

肉をよそってくれるのですが

カム オサトウイ¹⁷ ネ ペコロ オカイ ペ
kam osatuy ne pekor okay pe
肉 おいしくない所 な ように ある もの

おいしくなさそうなところを

イコイプニ カ
i=koypuni ka
(私に)よそう も

私によそいます。

16 話者はしばらく言葉が出てこなくて「困ったな」と独り言をつぶやいた後、イテメニ itemeni (梁)と言っているが、梁は天井にある部材で座る場所とは考えにくい。戸口の下なので、おそらくトンチカamani toncikamani (敷居)という言葉が出て来なかったのだろう。

17 オサトウヒ osatuhi (魚や肉などの) 端っこの脂っけのないところ、おいしくないところ [中]

235 アコオンカミ イネ アコロ ポイ サラニプ オロ
a=koonkami _hine a=kor pon_ saranip oro
(私)拝礼をし て (私)の 小さい 袋 の中

私は拝礼して持参した袋の中に

アフン… アオマレ ヒネ
ahun... a=omare hine
入る (私)入れ て

入れました。

オロ タ アアン ヒネ アナン ルウェ ネ アクス
oro ta a=an hine an=an ruwe ne akusu
そこ に 座る(私) して いる(私) こと だっ たところ

そこに座っていると

ネン カ… ネプ カ イカ ウン チク ペコロ
nen ka... nep ka i=ka un cik pekor
何 か (私の)上 に したたる ように

何か私の上にしたたるように

ヤイヌアン クス インカラン ルウェ ネ アクス
yaynu=an kusu inkar=an ruwe ne akusu
思う(私) ので 見る(私) こと だっ たところ

思ったので見ると

240 イエンカシケ タ
i=enkasike ta
(私の)上 に

私の上に

スミピセ¹⁸ ラチツケ ヒネ アン イネ
sumipise racitke hine an _hine
油の袋 ぶら下がっ て い て

油の入った袋がぶら下げてあって

オロ ワ スム イカ ウン チク コロ
oro wa sum i=ka un cik kor
それ から 油 (私の)上 に したたり ながら

その油が私の上にしたたり

アン ヒネ アン ヒネ… ヒネ
an hine an hine... hine
い て い て して

続けているのです。

オラノ ポヘネ アマツネポ アコイルシカ コロ
orano pohene a=matnepo a=koiruska kor
それから なおさら (私の)娘 (私)怒る ながら

ますます娘に腹を立てながら

245 オラ ナニ ソイエネアン ルウェ ネ アクス
ora nani soyene=an ruwe ne akusu
こんど すぐ 外に出る(私) こと だっ たところ

外へ飛び出すと

ネア イトウラ ア ポン メノコ カ
nea i=tura a pon menoko ka
あの (私を)連れ た 若い 女 も

あの私を連れて来てくれた娘さんと

イトウラ ヒネ ナニ ホシッパアン イネ
itura hine nani hosippa=an _hine
一緒 に すぐ 帰る(私達) そして

一緒に帰って来ました。

18 昔の家の中には、トドやアザラシの胃袋などに油を入れて家の梁から下げて保存しておいた。そこから油がしたたために誰もが嫌がってその下には座らず、空席になっていたということ。何も知らずにその席に座った母親を座らせたままにして油まみれにさせるというのは親不孝も甚だしい。

オラノ ネ ポン メノコ カ イオクンヌレ コン
 orano ne pon menoko ka i=okunnure kor_
 それから その 若い 女 も (私に)同情し ながら

それからその娘さんは私に同情し

ナニ アミ ワ オカイ ペ ウセ アアヌ¹⁹
 nani a=mi wa okay pe use a=anu
 すぐ (私)着 て いる もの (私)脱ぐ

私が着ているものを脱がせて

250 フライエ ワ イコレ。
 huraye wa i=kore.
 洗っ て (私に)くれる

洗ってくれました。

シンナ アミプ サンケ ヒネ
 sinna amip sanke hine
 別の 着物 出し て

別の着物を出して

イイミレ ネ ヤ キ ワ
 i=imire ne ya ki wa
 (私に)着せる だ とか し て

私に着せてくれたりしました。

エアラキンネ ヤイライケアン チサン コロ
 earkinne yayrayke=an cis=an kor
 本当に 感謝する(私) 泣く(私) ながら

私は心から感謝をして泣いて

アマツネポ アコイルシカ コロ
 a=matnepo a=koiruska kor
 (私の)娘 (私)怒り ながら

わが娘に対して腹を立てつつ

255 オロ タ スイ レウシアン ルウェ ネ ヒネ
 oro ta suy rewsian ruwe ne hine
 そこ に また 泊る(私) こと であっ て

そこにまた泊りました。

オラ ニサッタ クンネイワ オラ トウナシノ
 ora nisatta kunneywa ora tunasno
 こんど 翌日 朝 こんど 早く

翌朝早く

ネア セツパ アコロ ヒネ サナン ヒネ
 nea seppa a=kor hine san=an hine
 あの 切羽 (私)持っ て 下る(私) して

あの刀のつばを持って川を下り

ネ コタンコン… クル… ニシパ オロ タ
 ne kotankor... kur... nispa oro ta
 あの 村の 長 の所 に

村長の家の

アパパ タ アラパアン ルウェ ネ アクス
 apapa ta arpa=an ruwe ne akusu
 戸口 に 行く(私) こと だっ たところ

戸口まで行ったところ

260 ネア アマツネポ ニナ ヤク イエ コロ
 nea a=matnepo nina yak ye kor
 あの (私の)娘 薪取る と 言い ながら

私の娘はまきをとりに行くと言って

19 ウセ アアヌ use a=anu 別に (私) 置く>私が脱ぐ(単数形)。複数形はウセ アアリ use a=ari。

ソイエネ。

soyene.

外に出る

外に出て来ました。

ニ ウウェカリレ… ソイエ ヒネ

ni uwekarire... soyne hine

木 集める

外に出

て

そしてまきを集めに

ナニ エキムネ ワ イサム。

nani ekimne wa isam.

すぐに 山へ行く

して しまう

すぐ山へ行ってしまうました。

オラ アフナン ヒネ

ora ahun=an hine

こんど 入る(私)

して

私は家に入り

265 ネア セツパ アサンケ コロ

nea seppa a=sanke kor

あの 切羽

(私)出し

ながら

あの刀のつばを出して

“アコタヌ ケム ワ アエプ カ イサン マ… クス

“a=kotanu kem wa aep ka isam _wa... kusu 「私の村が飢饉で食べ物がなく

(私の)村

飢饉

で

食べ物

も

ない

ので

アエプ アタサレ クス ヤク…

aep a=tasare kusu yak...

食べ物

(私)交換する

ために と

食べ物と交換していただくために

アコン ニシパ イセレ ワ サナン ルウェ ネ”

a=kor_ nispa i=sere wa san=an ruwe ne”

(私の)の 夫

(私に)持たせ

て

下る(私)

の

です

これを夫から託されて来ました」

セコロ ハウエアナン コロ ネア セツパ

sekor hawean=an kor nea seppa

と

言う(私)

ながら

その

切羽

と言ってあの刀のつばを

270 アサンケ ルウェ ネ アクス

a=sanke ruwe ne akusu

(私)出す

こと

だっ

たところ

出したところ

ネア コタンコロ… チセコロクル

nea kotankor... cisekorkur

その 村の

家の主人

その家の主人は

ウェンノ ウェンノ コオンカミ ヒネ

wenno wenno koonkami hine

悪く

悪く

拝礼し

て

雑に拝礼をして

シオシマコマレ ヒネ オラ

siosmakomare hine ora

自分の後ろに入れ

て

こんど

それを自分の後ろに押しやり

“ポンノ イテレ ヤク ピリカ”

“ponno i=tere yak pirka”

少し

(私を)待つ

と

いい

「少し待っていてください」

275 セコロ ハウエアン コロ ソイエネ ワ イサム
 sekor hawean kor soyene wa isam
 と 言い ながら 外に出 て しまう

と言って外に出て行ってしまいました。

オカ タ ルプネマツ カ アニケ カ
 oka ta rupnemat ka an _hike ka
 その後 で 老婦人 も いる して も

家には年配の女性もいるのに

シネ イタク カ
 sine itak ka
 ひとつ 言葉 も

ひと言も

イヘコテ イタク カ ソモ キ ノ
 i=hekote itak ka somo ki no
 (私に)向かって 話し も しない で

私に話しかけることもなく

オロ タ オリパカン ヒネ アナナイネ
 oro ta oripak=an hine an=an ayne
 そこ で かしこまる(私) して いる(私) したあげく

私はかしこまっていました。

280 オロ タ ネア コタンコロニシパ アフン
 oro ta nea kotankornispa ahun
 そこ に あの 村長 入る

そこに村長が戻って

ルウェ ネ アクス
 ruwe ne akusu
 こと だっ たところ

来ると

オッチケ オロ シクテノ
 otcike oro sikteno
 お膳 の所 いっぱい

お膳いっぱい

パシクル ポネ⁽²⁰⁾ タクプ カ…
 paskur pone takup ka…
 カラス 骨 ばかり

カラスの骨だけを

パシクル ポネ オッチケ オロ オマレ ヒネ
 paskur pone otcike oro omare hine
 カラス 骨 お膳 の所 に入れる して

のせて

285 コロ ワ エク イネ イコレ。
 kor wa ek _hine i=kore.
 持つ て 来 て (私に)くれる

持って来て私によこしました。

“タアン ペ セツパ アイタサレ プ ネ ナ”
 “taan pe seppa a=i=tasare p ne na”
 この もの 切羽 (人が私と)交換する もの だ よ

「これを刀のつばと交換しましょう」

セコロ ハウエアン コロ イコレ ヒ クス
 sekor hawean kor i=kore hi kusu
 と 言い ながら (私に)くれる ので

と言って私によこすので

20 後に明らかになる通りこのカラスの骨で事態は好転するが、この場面で村長がカラスの骨を与えるというのは嫌がらせやからかいのたぐいであつたと考えられる。

オラ ア…

ora a…

こんど

オンカミ ア オンカミ ア ヒネ オラ

onkami a onkami a hine ora

何度も拝礼をし て こんど

何度も拝礼をして

290 アコロ ワ ソイエネアン ヒネ エカニネ

a=kor wa soyene=an hine ek=an_hine

(私)持つ して 外に出る(私) して 来る(私) して

持って外に出て来ました。

ネア ヤントネアン ポン メノコ

nea yantone=an pon menoko

あの 滞在する(私) 若い 女

あの泊めてもらった娘の

オロ タ エカン ワ

oro ta ek=an wa

の所 に 来る(私) して

ところに来て

タプネ ネ ヒ アイェ アクス オラノ

tapne ne hi a=ye akusu orano

このよう だ と (私)言っ たところ こんど

このようなわけですよと言うと

イヨクンヌレ ア イヨクンヌレ ア コロ ネ コロカ

iyokunnure a iyokunnure a kor ne korka

何度も同情し ながら だ けれど

たいそう私に同情しながら

295 ネア ポン メノコ サラニプ

nea pon menoko saranip

その 若い 女 袋

その娘は

トゥ サラニプ シクテ ノ

tu saranip sikte no

2 袋 いっぱい に

ふたつの袋いっぱい

ウサ フ カム ネ ヤ

usa hu kam ne ya

色々 生 肉 だ とか

生肉や

チ カム ネ ヤ サラニプ シクテ ノ

ci kam ne ya saranip sikte no

焼く 肉 だ とか 袋 いっぱい に

焼肉を

カリネ イエトコオマレ ヒネ アン ヒネ

kar_hine i=etokoomare hine an hine

し て (私に)先に入れ て いる そして

入れてくれました。

300 オラ ウサ ウサ イルラ クナク イェ コロ

ora usa usa i=rura kunak ye kor

こんど いろ いろ (私を)送る と 言い ながら

そして私を送りましようと言ってくれて

ウサ ウサ アセ カネ ヒネ アラキアニネ

usa usa a=se kane hine arki=an_hine

いろ いろ (私達)背負いも して 来る(私達) して

いろいろと背負って

アウニヒ カランケ ノ
a=unihi karanke no
(私の)家 の近く に

私の家のそばまで

アラキアン ルウェ ネ アクス
arki=an ruwe ne akusu
来る(私達) こと だったところ

来てくれました。

“テ パクノ アエルラ ヤクネ
“te pakno a=e=rura yakne
ここ まで (私がお前を)送る ならば

「ここまであなたを送りましたので

305 テ ワノ ホシピアン クス
te wano hosipi=an kusu
ここ から 帰る(私) から

私は帰ります。

テ パクノ ネ ヤクン
te pakno ne yakun
ここ まで である ならば

ここまで来れば

オラ スイ エホシピ ワ
ora suy e=hosipi wa
こんど また (お前)帰っ て

あなたが帰って

エシケタク ヤッカ ピリカ ナンコン ナ”²¹
e=siketak yakka pirka nankor_ na”
(お前)人を呼びに行っ ても いい でしょう ね

荷物を取りに来てもらえばいいでしょうから」

セコロ ハウエアン コロ シケ ホツパ ヒネ
sekor hawean kor sike hoppa hine
と 言い ながら 荷物 を置い て

と言って荷物を置いて

310 サン ルウェ ネ ア プ… ヒネ オラ
san ruwe ne a p... hine ora
下る こと だっ た が そして こんど

帰って行きました。

シケアン イネ アウニヒ タ エカン アクス
sike=an _hine a=unihi ta ek=an akusu
荷物を背負う(私) して (私の)家 に 来る(私) したところ

私が荷物を持って家に帰って来ると

アコン ニシパ ケメ… ウエン ペ ネ クス
a=kor_ nispa keme... wen pe ne kusu
(私の)の 夫 飢饉で 悪い もの だ から

私の夫は飢えで弱って

ホツケ ワ アン。
hotke wa an.
寝 て いる

寝ていました。

エカン ヒ アイェ アクス ホプニ ヒ クス
ek=an hi a=ye akusu hopuni hi kusu
来る(私) こと (私)言っ たところ 起きる ので

帰って来たと言うと夫は起きたので

21 主人公の家の近くまで来て荷物を置いて帰るというのは一見冷たい行為のように見えるが、この娘の優しい性格から考えると、飢饉で苦しんでいる家族がいる家に突然訪ねて行っは気を遣わせてしまうからという高度な気遣いのように見受けられる。

315 “タン パシクル ポネ ネア セツパ
 “tan paskur pone nea seppa
 この カラス 骨 あの 切羽

「このカラスの骨をあの刀のつばと

アイタサレ ヤク イエ… ルウェ ネ ヤク
 a=i=tasare yak ye... ruwe ne yak
 (人が私に)交換する と 言う こと だ と

交換してやろうと

コタンコンニシパ イエ コロ
 kotankonnispa ye kor
 村長 言い ながら

村長が言って

アイコレ ワ アセ ワ エカン ルウェ ネ”
 a=i=kore wa a=se wa ek=an ruwe ne”
 (人が私に)与え て (私)背負っ て 来る(私) の です

よこしたので持って来ましたよ」

セコロ ハウエアナン コロ
 sekor hawean=an kor
 と 言う(私) ながら

と言って

320 ネア オッチケ オロ オマ
 nea otcike or oma
 あの お膳 の所 に入る

そのお膳に入った

パシクル ポネ アサンケ ルウェ ネ アクス
 paskur pone a=sanke ruwe ne akusu
 カラス 骨 (私)出す こと だっ たところ

カラスの骨を出したところ

エアラキンネ アコロ ニシパ
 earkinne a=kor nispa
 本当に (私)の 夫

夫はとても

エヤイコブンテク^{Q2} コロ
 eyaykopuntek kor
 喜び ながら

喜びました。

オンカミ ア オンカミ ア コロ
 onkami a onkami a kor
 何度も拝礼をし ながら

何度も拝礼をし

325 オラ ナニ コロ ワ ソイエネ ヒネ
 ora nani kor wa soyene hine
 こんど すぐ 持っ て 外に出 て

すぐに持って外に出て

オラノ イナウケ ア イナウケ ア ヒネ
 orano inawke a inawke a hine
 それから 木幣をたくさん作っ て

木幣をたくさん作り

イナウ トウンブ オロ ネ パシクル ポネ
 inaw tumpu or ne paskur pone
 木幣 寝床 の所 その カラス 骨

削りかけの包みの中にあのカラスの骨を

22 何でも良いから口に入るものが欲しい飢饉の時にカラスの骨をもらって喜ぶとは、一見意外な反応にも見えるが、この夫の意外な反応こそがこの物語最大のターニングポイント。この夫は博識な人であるらしく、カラスも神なので正しく儀式をとり行えば助けてもらえるということを知っていたのだろう。「なんだこんなもの」と言って粗末な扱いをする人であれば、この苦境から脱することはできない。

オピッタ オマレ ヒネ
opitta omare hine
みんな 入れる して

全部入れて

ネア イナウネニ エウシ ヒネ
nea inawneni eusi hine
その 木幣の木 の先に刺し て

木幣の棒の先に刺して

330 イナウチパ オツ タ アシ ルウエ ネ ヒネ²³
inawcipa or_ ta asi ruwe ne hine
祭壇 の所 に 立てる こと であっ て

祭壇に立て

オラ エアシリ アフン ワ オラ
ora easir ahun wa ora
こんど それこそ 家に入っ て こんど

そうして家に入りました。

アエ… アセ ア アエプ アスパパ
a=e... a=se a aep a=supapa
(私)背負っ た 食べ物 (私)煮る

私は背負って来た食べ物を

ポロ ス アニ… シクテ ノ アスパ ワ オラ
poro su ani... sikte no a=supa wa ora
大きい 鍋 で いっぱい に (私)煮 て こんど

大きな鍋いっぱい料理しました。

コタン コロ ウタラ ネ ヤッカ オピッタ アタク
kotan kor utar ne yakka opitta a=tak
村 の 人達 で も みんな (達私)招く

そして村人達をみんな呼び

335 ヘカッタラ ネ ヤッカ オンネ ウタラ ネ ヤッカ
hekattar ne yakka onne utar ne yakka
子供達 で も 老人 達 で も

子供達や年寄り達も

オピッタ アタク
opitta a=tak
みんな (私達)招く

みんな招きました。

ネ ヤ ネ ヤ アセ ア アエプ
ne ya ne ya a=se a aep
だ とか だ とか (私)背負っ た 食べ物

いろいろ私が背負って来た食べ物を

アウコウサライエ ワ アエ ネ ヤ
a=ukousaraye wa a=e ne ya
(私)皆に分配し て (私)食べる だ とか

分けて食べたり

アコロパレ ネ ヤ キ カネ
a=korpora ne ya ki kane
(私)持たせる だ とか し ながら

持たせたりもしました。

340 エアラキンネ コタン コロ ウタラ
earkinne kotan kor utar
本当に 村 の 人達

村人達は

23 キツネやアホウドリ、珍しい獲物の頭骨は、イナウキケ inawkike（削り花）で包んで室内の上座などに置き守り神とする場合がある。またイヨマンテ iyomante(熊送り)の際には、クマの頭骨の中にイナウキケを詰めるなど所定の方法で飾り、二股になった木の先にさして戸外のヌササン nusasan（幣場）に立てる。ここでカラスの骨を幣場に祭った方法はその両者をあわせたような描写で、具体的なことはわからないが、守り神としてカラスの骨を丁重に祭ったということだろう。

エヤイコブンテク ア… エヤイコブンテク
 eyaykopuntek a… eyaykopuntek
 喜ぶ 喜ぶ

それはそれは喜び

キロンヌ ノ イペパ ヒネ オラ
 kironnu no ipepa hine ora
 お腹いっぱい に 食べ て こんど

お腹いっぱいに食べて

ホシツパ ワ イサム ヒ
 hosippa wa isam hi
 帰っ て しまう こと

帰って行きました。

オラノ トウツコ レレコ ネ… アクス
 orano tutko rerko ne… akusu
 そして 2日 3日 になる と

それから2、3日して

345 アウタリ エキムネパ アクス
 a=utari ekimnepa akusu
 (私)の村人 山獵に行く したところ

村人達が山獵に行くと

イセポ カ チロンヌプ カ
 isepo ka cironnup ka
 ウサギ も キツネ も

ウサギもキツネも

ライケパ ヤク イェパ コロ イワクパ コロ
 raykepa yak yepa kor iwakpa kor
 とる と 言い ながら 帰る と

とれたと口々に言って帰って来ると

アエヤイコブンテク コロ オラ
 a=eyaykopuntek kor ora
 (私達)喜び ながら こんど

みんな喜んで

アウコウサライエ ワ アエ コロ オカアン。
 a=ukousaraye wa a=e kor oka=an.
 (私達)分け合っ て (私達)食べ ながら いる(私達)

分け合って食べていました。

350 ラポツケ アコン ニシパ カ エキムネ アクス
 rapokke a=kor_nispa ka ekimne akusu
 そのうちに (私)の 夫 も 山獵に行っ たところ

やがて夫も山獵に行ったところ

タネ ユク カ カムイ カ オシコニ
 tane yuk ka kamuy ka oskoni
 もう シカ も クマ も とる

シカもクマもとれた

ヤク イェ コロ コロ ワ イワキ オラ
 yak ye kor kor wa iwak_hi ora
 と 言い ながら 持っ て 帰る こと こんど

と言って持って帰って来たので

アエヤイコブンテク コロ
 a=eyaykopuntek kor
 (私達)喜び ながら

私は喜びました。

オロワノ アナクネ
 orowano anakne
 それから は

それから

355 ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=esirkirap ka somo ki no
 何 も (私達)苦勞する も しない で

何の苦勞もなく

オカアン ルウェ ネ ア プ
 oka=an ruwe ne a p
 暮らす(私達) こと だった が

暮らしました。

パハウ ネ クス… アナクス
 pahaw ne kusu... an akusu
 噂 だ から あっ たところ

噂では

ネア イパナケ ウン コタン オッ タ
 nea ipanake un kotan or_ ta
 あの 川下 の 村 の所 に

あの川下の村に

ヒナク ワ カ パシクル コタン コトイセ ワ
 hinak wa ka paskur kotan kotoyse wa
 どこ から か カラス 村 に寄っ て

どこからかカラスが寄って来て

360 パシクル コヤイウエンヌカラパ コロ
 paskur koyaywennukarpa kor
 カラス に苦しめられ ながら

カラスに苦しめられて

オカ ヤク アイェ ヒ アヌ コロ オカアン
 oka yak a=ye hi a=nu kor oka=an
 いる と (人)言う こと (私)聞き ながら 暮らす(私達)

いるというのを聞きました。

ラポク エアラキンネ
 rapok earkinne
 そのうちに 本当に

そのうちに

ネ チセ オンナイ ウンノ パシクル アフン ワ
 ne cise onnay unno paskur ahun wa
 その 家 の中 まで カラス 入る して

家の中までカラスが入って来て

チセ オンナイ タ オカイ²⁴ ア
 cise onnay ta okay a
 家 の中 に あっ た

家の中にある

365 ウサ チェプ ネ ヤ カム ネ ヤツカ トクパ トクパ
 usa cep ne ya kam ne yakka tokpa tokpa
 色々 魚 だ とか 肉 で も つつく つつく

魚や肉をつついて

シクヌ ワ オカ アイヌ ウタラ ネ ヤツカ
 siknu wa oka aynu utar ne yakka
 生きる している 人 達 で も

生きている人間達の

シク ヌミ エタイェ ネ ヤ トクパ トクパ ワ
 sik numi etaye ne ya tokpa tokpa wa
 目 玉 を引く だ とか つつく つつい て

目の玉も引っ張ったり突いたりするので

24 沙流方言では、オカイ okay は pe、pa の前でだけ現れ、それ以外ではオカ oka となるが、ここではオカイ okay と発音されている。あるいは言いよどみか。

エアラキンネ コタン オロ
earkinne kotan or
本当に 村 の所

本当に村が

アアルシテッカ ノイネ ネ ヒ ヤク アイェ ヒ
a=arustekka noyne ne hi yak a=ye hi
(人)滅ぼす よう である こと と (人)言う こと

滅んでしまいそうだいうのを

370 アヌ ワ オラノ アエライキマテク コロ
a=nu wa orano a=eraykimatek kor
(私)聞くして そして (私)驚く ながら

聞いてひどく驚きました。

エネ イカオピウキ ア ペウレ ウタラ
ene ikaopiwiki a pewre utar
あのように 人を助け た 若い 人達

あの助けてくれた若い人達を

アホタヌカラ アフナラ ソモ キ ヤク ウェン ナ
a=hotanukar a=hunara somo ki yak wen na
(私達)訪ねる (私達)探す しない と だめだ よ

訪ねて探しに行かなければいけない

セコロ ハウエアン… オカアン ペ ネ クス
sekor hawean... oka=an pe ne kusu
と 言う いる(私達) もの だ から

と話し合っていたので

オラ アコタヌン ウタラ ナニ
ora a=kotan un utar nani
こんど (私)村 の 人達 すぐに

村人達がすぐに

375 ネ ウイリワク ネ ウタラ オカイ ペ ネ クス
ne uirwak ne utar okay pe ne kusu
その 兄妹 である 人達 いる もの だ から

その兄妹の家を

エウン ホタヌ エサツパ ルウェ ネ アクス
eun hotanu esappa ruwe ne akusu
そこへ 訪ね に下る こと だったところ

訪ねて川を下って行きました。すると

“ タネ イシトマアン クス
“tane isitoma=an kusu
もう 恐ろしい(私達) から

「もう恐ろしいので

タント ネ キラアン クナク アラム ア プ
tanto ne kira=an kunak a=ramu a p
今日 に 逃げる(私達) と (私達)思っ た が

今日にも逃げて行こうと思って

ヤイエトコイキアン コロ オカアン ルウェ ネ ”
yayetokoyki=an kor oka=an ruwe ne”
準備をする(私達) ながら いる(私達) こと だ

準備をしていたところでした」

380 セコロ ハウエオカ コロ オカ ウシケ タ
sekor haweoka kor oka uske ta
と 言う ながら いる 所 に

とその兄妹が言っているところへ

サナン ルウェ ネ セコロ ハウエオカパ コロ
san=an ruwe ne sekor haweokapa kor
下る(私達) こと だ と 言い ながら

私たちが来たのだと口々に言いながら

オラ トウラ ワ アラキパ ワ
 ora tura wa arkipa wa
 こんど 同伴し て 来 て

村人達が連れて来たので

エアラキンネ アエヤイコブンテク。
 earkinne a=eyaykopuntek.
 本当に (私)喜ぶ

私は本当に喜びました。

エネ アン クシケライボ
 ene an kuskeraypo
 こう ある おかげで

おかげ様で

385 ウサ アエプ ウサ オカイ ペ
 usa aep usa okay pe
 色々 食べ物 色々 ある もの

食べ物やいろいろなものを

アイウンケライ ワ アネ…
 a=i=unkeray wa a=ne…
 (人が私に)恵まれ て (私)である

恵んでもらい

アコヤイライケ ア プ
 a=koyayrayke a p
 (私達)感謝し た が

感謝していたのに

セコロ ハウエオカアン コロ
 sekor haweoka=an kor
 と 言う(私達) ながら

と言いつつ

チシ コロ アウコヤイエ… ラプ²⁵ ネ ヤ
 cis kor a=ukoyaye... rap ne ya
 泣き ながら (私達)話をする? だ とか

泣いてお互いに話をしたり

390 ナ ネン ネン ネ ラポツケ オラ
 na nen nen ne rapokke ora
 まだ いろ いろ である そのうちに こんど

しました。

アコン ニシパ エネ ハウエアニ。
 a=kor_nispa ene hawean_hi.
 (私)の 夫 このように言った

そして私の夫はこう言いました。

“オナ カ サク ウヌ カ サク ウタラ ネ ヤクン
 “ona ka sak unu ka sak utar ne yakun
 父 も ない 母 も ない 人達 だっ たら

「父も母もないのであれば

ネ ペウレ オツカイボ アナクネ
 ne pewre okkaypo anakne
 その 若い 男 は

お兄さんの方は

アポホ ネ アカラ… アン
 a=poho ne a=kar... an
 (私の)息子 に (私)する

私の息子になったら

25 何と言おうとしたのか不明。「お互いに自分のことについて話した」ということか。

- 395 ヤクン… カ ピリカ ヤ”
yakun... ka pirka ya”
ならば も いい か
良いではないか」
- アコウウェペケンヌ アクス
a=kouwepekennu akusu
(私)尋ねる したところ
と言うと
- “ヤッカ ピリカ。ポ ネ アナン ヤッカ ピリカ”
“yakka pirka. po ne an=an yakka pirka”
しても いい 子 に なる(私) ても いい
「結構です。子供になっても良いです」
- セコン ネ オラ
sekor_ ne ora
と 言う こんど
と言います。
- “イマタク ネ プ アナクネ
“imatak ne p anakne
妹 である 者 は
「妹の方は
- 400 アマチヒ マツネポホ²⁶ ネ アエノンノイタク ワ
a=macihi matnepoho ne a=enonnoitak wa
(私の)妻 の娘 として (私)祈っ て
妻の娘にするように神に祈り
- ウタシパ ウソイタ オカ ワ チセカラン ワ
utaspa usoyta oka wa cisekar=an wa
お互いに 隣り合って 暮らし て 家をつくる(私達) して
お互いに隣り合って家をつくり
- ウソイタ オカアン ワ ウコパヨカアン
usoyta oka=an wa ukopayoka=an
隣り合って 暮らす(私達) 互いに訪ねる(私達)
隣同士で暮らして仲良く
- ウコシネウェアン クス ネ ナ”
ukosinewe=an kusu ne na”
互いに遊びに行く(私達) つもりだ よ
暮らしましょう」
- セコロ ネ イネ
sekor ne _hine
と 言っ て
と言って
- 405 エアラキンネ アウコヤイコブンテク コロ
earkinne a=ukoyaykopuntek kor
本当に (私達)互いに喜び ながら
本当にお互いに喜んで
- オカアン ラポッケ オラ
oka=an rapokke ora
暮らす(私達) そのうちに こんど
いました。
- ピリカ ポン メノコ アエトウン ヒネ
pirka pon menoko a=etun hine
美しい 若い 女 (私)嫁にもらっ て
きれいな娘を

26 アイヌの社会では、男性は男性の家系を、女性は女性の家系を継ぐという考え方がある。そこでこの親切な兄妹のうち兄の方は夫の養子に、妹の方は妻の養女にという表現になっている。それでもひとつの家族であることに変わりはない。

ネア トウラノ オカアナ オツカヨ
 nea turano oka=an a okkayo
 あの 一緒に 暮らす(私達) した 男

あの一緒に暮らしていた男性と

トウラノ アアナ
 turano a=anu
 一緒に (私)置く

結婚させて

410 オラ ナニ ネア ポン メノコ カ
 ora nani nea pon menoko ka
 こんど すぐ あの 若い 女 も

すぐにあの娘も

チセカラ イネ シンナ アヌ ウシケ ウン
 cisekar hine sinna anu uske un
 家をつくる して 別に 置く 所 に

家をつくり別に住ませ

ピリカ オツカヨ トウラノ アアナ²⁷ ヒネ…
 pirka okkayo turano a=anu hine…
 立派な 男 と一緒に (私)置く して

立派な男性と一緒にして

ネ ヤ
 ne ya
 だ とか

オラノ ネプ… ノ アナクネ ウコパヨカアン ノ
 orano nep... no anakne ukopayoka=an no
 それから 何 は 互いに訪ねる(私達) して

それからはお互いに行き来をして

415 ウコシネウェアン。
 ukosinewe=an.
 互いに遊びに行く(私達)

暮らしました。

ネプ アカラ ヤツカ ウトウラアン カネ コロ
 nep a=kar yakka utura=an kane kor
 何 (私達)し ても 連れ立つ(私達) し ながら

何をするのも連れ立って

アコシマチヒ ネ ヤツカ
 a=kosmacihi ne yakka
 (私の)嫁 であつても

嫁と

ネ アマツネポ トウラノ²⁸… ネ ヤツカ
 ne a=matnepo turano... ne yakka
 その (私の)娘 と一緒に であつても

娘も

ネプ カラパ ヤツカ
 nep karpa yakka
 何 し ても

何をするのにも

420 ウコトクイエコロパ コロ オカ。
 ukotokuyekorpa kor oka.
 仲良くし ながら 暮らす

仲良く暮らしました。

27 アイヌの社会では、女性のもとに男性が通って来ることをきっかけとして結婚する「通い婚」が一般的である。

28 テラノ terano と聞こえるが、トウラノ turano 「～と一緒に」と言おうとしたか。

ポ カ コン ラポッケ オラ
po ka kor rapokke ora
子 も 持つ そのうちに こんど

子供もできて

シネアンタ ソイネアン ルウェ ネ アクス
sineanta soyne=an ruwe ne akusu
あるとき 外に出る(私) こと だっ たところ

ある時外に出ると

ネア アマツネポ ソイ タ
nea a=matnepo soy ta
あの (私の)娘 外 に

実の娘が外に

アシ ワ アン ヒ クス
as wa an hi kusu
立っ て いる ので

立っていました。

425 アコパシロタ コロ
a=kopasrota kor
(私)ののしり ながら

私はののしって

“エネ オナ オクパレ ウヌ オクパレ
“ene ona okpare unu okpare
あんな 父 不孝 母 不孝

「あのように親不孝をしたのに

アイネ… ア プ
ayne... a p
したあげく だった のに

オラ ヒンタ カラ クス エク ルウェ ネ ヤ
ora hinta kar kusu ek ruwe ne ya
こんど 何 する ために 来る こと だ か

何のためにやって来たんだい。

ライ ネ ヤッカ ライ シンナイサム エキ ワ
ray ne yakka ray sinnaisam e=ki wa
死ん で も 死 霊 (お前)し て

死んで幽霊になって

430 オラ カムイ オルン カ
ora kamuy or un ka
こんど 神 の所 に も

あの世にも

エアラパ エアイカプ。
e=arpa eaykap.
(お前)行く ができない

おまえは行くことができない。

ハル カ サク²⁹ ワ エアラパ エアイカツパ クス
haru ka sak wa e=arpa eaykap _wa kusu
食糧 も なく て (お前)行く できない ので

供物もなしにあの世に行けないのだから

29 人間が死んだときは、この世にいる人間に供物と共に供養をしてもらって初めてあの世に行くことができると考えられている。この娘のように嫁ぎ先の人とはみんな死んでしまい、実家の親にも供養してもらえない場合はあの世には行けずにその手前で足止めをされ、供養の品が届くのを待つことになる。幽霊としてこの世に出て来たのは、何とか供養をもらえるよう母親に頼みに来たということだろう。

シユプ エシヌンヌカレ³⁰ シンネ ナンコロ”
 siyupu e=sinunnukare sinne nankor”
 しっかり (お前)一人です？ ように しなさい

しっかり自分で何とかしなさい」

セコロ アイェ コロ アコパシロタ コロ
 sekor a=ye kor a=kopasrota kor
 と (私)言い ながら (私)ののしり ながら

と私は言っているののしりながら

435 ヘム オカイ ペ アコイチャラパ
 hem okay pe a=koicarpa
 何 ある もの (私)にまく

何かをまき散らした

ルウェ ネ アクス
 ruwe ne akusu
 こと だっ たところ

ところ

オロ タ クリ パン テク ヒネ
 oro ta kuri pan tek hine
 そこ で 姿 消える さっとして

そこで姿がかき消えて

イサム ヒ クス アフナン ヒネ
 isam hi kusu ahun=an hine
 しまう ので 入る(私) して

しまいました。家に入り

アコン ニシパ エウン アイェ アクス
 a=kor_nispa eun a=ye akusu
 (私)の 夫 に (私)言っ たところ

夫に言ったところ

440 アコン ニシパ カ パシロタ ア パシロタ ア
 a=kor_nispa ka pasrota a pasrota a
 (私)の 夫 も さんざんにののしる

夫もさんざんののしりました。

“エネ イオクパレ ア プ
 “ene i=okpare a p
 このように (私に)親不孝をした のに

「あのように親不孝をしたものが

フンタ カラ クス エク ヒ ネ ナ。
 hunta kar kusu ek hi ne na.
 何 し に 来る こと だ よ

何しに来たのだ。

ウナ コチャリ³¹ ヘネ キ ヤン”
 una kocari hene ki yan”
 灰 をまく でも し なさい

灰でもまいてやれ」

セコロ アコン ニシパ カ ハウエアン コロ
 sekor a=kor_nispa ka hawean kor
 と (私)の 夫 も 言い ながら

と

445 パシロタ ア パシロタ ア ルウェ ネ ヒネ
 pasrota a pasrota a ruwe ne hine
 さんざんにののしる こと だ そして

ののしりました。

30 「シヌンヌカレ」と割とはっきり言っているが、意味未詳。シネンネカラ sinen-ne-kar「ひとりで～をする」、あるいはヌカンヌカラ nukannukar「～のめんどろをみる」に似た意味の言葉を言おうとしたものか。

31 幽霊や化け物を追い払うときは、炉の灰をまく。灰は尊い火の神様が生み出したものだから魔をはらう力があると考えられている。

オラノ… ヒケ カ アマツネポ
 orano... hike ka a=matnepo
 そして しても (私の)娘

こうして

ソンノ アマツネポ アナクネ
 sonno a=matnepo anakne
 本当の (私の)娘 は

実の娘には

アオシクル カ ソモ キ ノ
 a=oskur ka somo ki no
 (私)惜しむ も しない で

思い残すこともなく

アコエヘセ コロ オカアン
 a=koehese kor oka=an
 (私)うっぶんを晴らし て 暮らす(私)

恨みを晴らしました。

450 ラポッケ トウラノ オカアン
 rapokke turano oka=an
 そのうちに 一緒に 暮らす(私達)

そのうちに同居の

アコロ オツカイポ エウン カ
 a=kor okkaypo eun ka
 (私)の 若い男 に も

息子にも

ポロンノ ポ カ コロ ワ ア… ネ ヤ
 poronno po ka kor wa a... ne ya
 たくさん 子 も 持つ て だ とか

たくさん子供ができて

アマツネポ エウン カ
 a=matnepo eun ka
 (私の)娘 に も

娘にも

ポ カ コロ シリ カ アヌカラ カ キ コロ
 po ka kor siri ka a=nukar ka ki kor
 子 も 持つ 様子 も (私)見る も し ながら

子供ができて

455 ウコシネウエアンパ
 ukosinewe=anpa
 互いに遊びに行く(私達)

皆仲良く暮らしました。

ウサ ウサ アコン ニシパ カ パツカイ カネ
 usa usa a=kor_nispa ka pakkay kane
 いろ いろ (私)の 夫 も 背負っ て

私の夫も

ヤイカタ カ パツカイ カネ アン コロ
 yaykata ka pakkay kane an kor
 自分 も 背負っ て い ながら

私も孫を背負い

アコロ ソン ウタラ
 a=kor son utar
 (私)の 子 達

孫達の

テケ アアニ ネ ヤ キ コロ
 teke a=ani ne ya ki kor
 の手 (私)持つ だ とか し ながら

手を取って

460 コタントウラシアン コタンペサン コロ
 kotanturasi=an kotanpes=an kor
 村の上手に行く(私) 村の下手に行く(私) ながら

互いの家を行き来しながら

オカアン ロク イネ オンネアン イネ
 oka=an rok _hine onne=an _hine
 暮らし(私) た そして 年を取る(私) して

仲良く暮らし年を取り

タネ オンネアン シンネ クス
 tane onne=an sinne kusu
 もう 死ぬ(私) よう だから

もう死んで行くのです。

オンネアン オカ タ ネ ヤッカ
 onne=an oka ta ne yakka
 死ぬ(私) 後 で であっても

私が死んだ後も

アコロ ソン ウタラ
 a=kor son utar
 (私)の 子 達

子供達よ

465 イカン ウコウエイサンペコロ サク ノ…
 ikan ukoweysanpekor sak no…
 決して 悪い心を持た ず に

決して皆悪い心を持つことなく

ピリカ… ウコケウトウムピリカ ノ
 pirka… ukokewtumpirka no
 良く 互いの心を良くし て

良い心を持って

オカ ヤク ピリカ ナ セコロ
 oka yak pirka na sekor
 暮らす と いい よ と

暮らしなさいと

シネ メノコ イタクムイエ コロ
 sine menoko itakmuye kor
 ある 女性 言い残し て

ある女性が言い置いて

イサム セコン ネ。
 isam sekor_ ne.
 死んだ と さ

死にましたとさ。

第2話 散文の物語

さまよう舟の女神

収 録 日：1994 年 10 月 02 日

資料番号：35225B

添付 CD：5-2（8 分 19 秒）

第2話 散文の物語「さまよう舟の女神」¹⁾

(石狩の男性が語る)

イシカツ タ アマチヒ アン ヒネ
 iskar_ ta a=macihi an hine
 石狩 に (私の)妻 い て

私は石狩で妻と一緒に

オカアン ペ ネ ヒケ
 oka=an pe ne hike
 暮らす(私) もの だ が

暮らしていました。

アマチ トウラノ アナン ペ ネ クス
 a=maci turano an=an pe ne kusu
 (私の)妻 と一緒に 暮らす(私) もの だ から

妻と一緒にいるので

ネプ カ アコン ルスイ カ アエ ルスイ カ
 nep ka a=kor_ rusuy ka a=e rusuy ka
 何 も (私)持ち たい も (私)食べ たい も

何を欲しいとも食べたいとも思うこと

5 ソモ キ ノ オカアン ペ ネ クス
 somo ki no oka=an pe ne kusu
 ない で 暮らす(私) もの だ から

なく暮らしていましたが

パハウ ヌ クス エネ パハウ アン ヒ
 pahaw nu kusu ene pahaw an hi
 噂 を聞くと このような 噂だった

あるときこのような噂を聞きました。

オヤコヤク コタン オツ タ シネ メノコ
 oyakoyak kotan or_ ta sine menoko
 あちこちの 村 の所 に ひとり 女

あちこちの村をひとりの女性が

ヤント エトウン コロ オマナン ...
 yanto etun kor omanan...
 宿 を借り ながら 歩き回る

宿を借りて歩き回って…

ヤント エトウン コロ オマナン
 yanto etun kor omanan
 宿 を借り ながら 歩き回る

泊まり歩いている

10 メノコ アン ヒネ
 menoko an hine
 女 い て

女性がいて

ネ ヤント エトウン ウシケ タ レウシ コロ
 ne yanto etun uske ta rewsi kor
 その 宿 を借りる 所 で 泊る と

その泊まった先で

トウキ エトウン ワ
 tuki etun wa
 酒枕 を借り て

酒枕を借りるということです。

1 調査年月日は1994年10月2日。アイヌ民族博物館ポロチセで開催されたアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」での口演。解説は札幌学院大学奥田統己氏。この話を始める前に「姉(木村きみ氏)が石狩の話をよくするので、石狩の話ばかりになるけれども」と前置きをしている。この話もきみ氏から聞いたという意味か。また萱野茂編著『ウウェベケレ集大成』所収「ト・キ オルン オクイマ メノコ(杯に小便する女神)」(話者:鍋沢ねぶき)(pp.45-55)にもほぼ同じ内容の話が採録されている。

ネ トウキ チセコロクル コレ
 ne tuki cisekorkur kore
 その 酒椀 家の主人 貸す

家の主人が貸した

クンネ トウキ コロ ワ
 kunne tuki kor wa
 黒い 酒椀 を持つ て

黒い酒椀を持って

15 チセ ソイ…シツケウン アラパ コロ
 cise soy... sikkew un arpa kor
 家 外 隅 に 行く と

家の隅に行って

オラ ネ トウキ オルン オクイマ ワ
 ora ne tuki or un okuyma wa
 こんど その 酒椀 の所 に 小便をし て

その椀に小便をして

コロ ワ エキネ
 kor wa ek_hine
 持つ て 来 て

持って来て

ネ チセコロクル クレ クス ネ コロ
 ne cisekorkur kure kusu ne kor
 その 家の主人 に飲ませようとする と

その家の主人に飲ませようとするそうです。

エチャツケプ ワ ネン カ ク カ ソモ キ コロ
 ecatkép wa nen ka ku ka somo ki kor
 汚ながっ て 誰 も 飲む も しない と

汚ながって誰も飲もうとしないのですが

20 オラ コチャランケ² ワ
 ora kocaranke wa
 こんど 文句を言っ て

そうすると文句を言って

ピリカ ワ オカイ ペ コウイナ コロ
 pirka wa okay pe kouyna kor
 良く て ある もの を受け取り ながら

償いの品物を受け取る

シネ メノコ オマナン コロ アン ペ ネ
 sine menoko omanan kor an pe ne
 一人の 女 歩き回り ながら いる もの だ

女性が歩き回っている

セコロ アン パハウ アヌ コロ
 sekor an pahaw a=nu kor
 と いう 噂 (私)聞き ながら

という噂を私は聞いて

アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 暮らす(私)もの だった が

いました。

25 シネアンタ アマチヒ ソイネ アクス
 sineanta a=macihi soyne akusu
 あるとき (私の)妻 外に出 たところ

ある時妻が外に出ると

2 コチャランケ kocaranke は「～に談判をする」。チャランケ caranke は暴力ではなく言葉の力を使う争いの方法。お互いがそれぞれの言い分を語り合うのであるが、雄弁な方に分がある。負けた側は宝物をさし出すのが通例である。

“ソイ タ ピリカ ワ オケレ
 “soy ta pirka wa okere
 外 に それはそれは美しい

「外にととても美しい

メノコ エク ワ アン ルウェ ネ”
 menoko ek wa an ruwe ne”
 女 来 て いる の です

「女性が来ています」

セコロ ハウエアン イ クス
 sekor hawean _hi kusu
 と 言う ので

「と言うので

“アアフンケ ヤク ピリカ”
 “a=ahunke yak pirka”
 (私達)入れる と いい

「お入れしたらいい」

30 セコロ… イネ
 sekor... _hine
 と して

「と言いました。」

ソ アムンヌパ ヒネ アフンケ。
 so a=munnpa hine ahunke.
 床 (私)掃い て 入れる

「床を掃いて家に招き入れ

ネ アフン ワ インカラン
 ne ahun wa inkar=an
 その 入っ て 見る(私)

「入って来たのを見ると

ソンノ カ ピリカ メノコ
 sonno ka pirka menoko
 本当に 美しい 女

「本当に美しい

アイヌ シレトク コロ カ ソモ キ ノ³
 aynu siretok kor ka somo ki no
 人間 の美貌 を持つ も しない で

「神のような美しさを持つ

35 メノコ ネ ヒネ
 menoko ne hine
 女 であっ て

「女性でした。」

アフン ルウェ ネ ヒネ オラ
 ahun ruwe ne hine ora
 入る こと であって そして

「入って来て

アコオンカミ カ キ ヒネ
 a=koonkami ka ki hine
 (私)に拝礼する も し て

「私は拝礼をして

アン ルウェ ネ アクス
 an ruwe ne akusu
 いる こと だっ たところ

「いて

3 「人間の美貌を持つものではない」というのは「神のような人間離れをした美しさの女性」を意味している。

オラ エネ ハウエアニ。
 ora ene hawean _hi.
 こんど このように言った

このように言いました。

40 “イシカルン ニシパ
 “iskar un nispa
 石狩 の 旦那さん

「石狩の旦那さん

アパハウ ヌ コロ アン ナンコロ ヒ アナクネ
 a=pahaw nu kor an nankor hi anakne
 (私の)噂 聞いて いる だろう こと は

私の噂を聞いておいででしょう。

トウキ アエトウン ルスイ クス
 tuki a=etun rusuy kusu
 酒椀 (私)借り たい ので

酒椀をお借りしたいので

エカン ルウェ ネ”
 ek=an ruwe ne”
 来る(私) の です

やって来たのです」

セコロ ハウエアン ヒ クス
 sekor hawean hi kusu
 と 言う ので

と言うので

45 オラ ネ トウキ イヨッタ ピリカ トウキ
 ora ne tuki iyotta pirka tuki
 こんど その 酒椀 一番 良い 酒椀

一番良い椀を

アサンケ ヒネ アピリパピリパ ヒネ
 a=sanke hine a=pirpapirpa hine
 (私)出し て (私)何度も拭い て

出してよく拭いて

オッチケ アウン ヒネ
 otcike a=un hine
 お膳 (私)置い て

お膳の上に置いて

エネ トウキ アコレ ルウェ ネ アクス
 ene tuki a=kore ruwe ne akusu
 このように 酒椀 (私)与える こと だっ たところ

渡すと

コロ ワ アラパ ヒネ
 kor wa arpa hine
 持つ て 行っ て

それを持って

50 ソウスツ タ コロ ワ アラパ ア プ オラ
 sowsut ta kor wa arpa a p ora
 家の隅 に 持つ て 行っ た が こんど

家の隅に行きました。

エウン オチャラセ フムアシ コロ アン ア プ
 eun ocarse hum'as kor an a p
 そこへ チョロチョロと 音をさせ て い た が

そこでチョロチョロと音がしていましたが

ネ コロ ワ… ネ オラ コロ ワ エキネ
 ne kor wa... ne ora kor wa ek _hine
 その 持つ て こんど 持つ て 来 て

酒椀を持って来て

ネ トウキ イコレ ヒ クス
ne tuki i=kore hi kusu
その 酒椀 (私に)くれる ので

私にくれたので

アコオンカミ コロ
a=koonkami kor
(私)拝礼をし ながら

拝礼をしながら

55 ネ トウキ アウク ルウェ ネ アクス
ne tuki a=uk ruwe ne akusu
その 酒椀 (私)取る の だっ たところ

受け取りました。

サケ フラ パラコサヌ ヒ クス
sake hura parkosanu hi kusu
酒 におい 広がる ので

すると酒の香りが広がったので

ネ トウキ アウク イネ
ne tuki a=uk _hine
その 酒椀 (私)取っ て

受け取って

アク ルウェ ネ アクス
a=ku ruwe ne akusu
(私)飲む こと だっ たところ

飲んだところ

ピリカ サケ シサム サケ
pirka sake sisam sake
良い 酒 和人 酒

良い酒、和人の酒

60 トノ サケ ネ ヒネ
tono sake ne hine
殿様 酒 であっ て

殿様の酒でした。

ネ サケ トウキ オロ オマ サケ ヘ
ne sake tuki or oma sake he
その 酒 酒椀 の所 に入る 酒 か

その酒椀に入った酒を

アク ルウェ ネ アクス
a=ku ruwe ne akusu
(私)飲む こと だっ たところ

飲むと

ネア ポン メノコ カムイ メノコ
nea pon menoko kamuy menoko
あの 若い 女 神 女

その若い女性、神のような女性は

エアラキンネ エヤイコプンテク
earkinne eyaykopuntek
本当に 喜ぶ

とても喜んだ

65 ルウェ ネ ノイネ アン ア プ
ruwe ne noyne an a p
こと である ようだっ た が

ようで

オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った

こう言いました。

“タネポ アプカサン。

“tanepo apkas=an.

初めて 歩く(私)

「初めて出歩いて

オヤコヤク タ アプカサン ルウェ ネ コロカ

oyakoyak ta apkas=an ruwe ne korka

あちこち で 歩く(私) こと だ けれど

あちこちを回っていたのですが

ネン カ アコツ トウキ エチャツケプ ワ

nen ka a=kor_ tuki ecatkep wa

誰 も (私)の 酒碗 を汚がっ て

誰も私の碗を汚がって

70 ネン カ トウキ アコツ トウキ ウク ワ

nen ka tuki a=kor_ tuki uk wa

誰 も 酒碗 (私)持つ 酒碗 取っ て

受け取って

イコレ カ ソモ キ ノ

i=kore ka somo ki no

(私に)くれ も しない で

くれないのです。

オマナナン ルウェ ネ ア プ

omanan=an ruwe ne a p

歩き回る(私) こと だっ た が

あちこちを回っていたのですが

エネ タネポ アコツ トウキ

ene tanepo a=kor_ tuki

このように 初めて (私)の 酒碗

このように初めて私の碗を

イシカルン ニシパ ウク ワ イコレ

iskar un nispa uk wa i=kore

石狩 の 旦那さん 取っ て (私に)くれる

石狩の旦那さんが受け取ってくれました。

75 ク ワ イコレ”

ku wa i=kore”

飲ん で (私に)くれる

飲んでくれました」

セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と 言い ながら

と言って

エアラキンネ エヤイコブンテク コロ

earkinne eyaykopuntek kor

本当に 喜び ながら

本当に喜んで

エネ ハウエアニ。

ene hawean _hi.

このように言った

このように言いました。

“アシヌマ アナクネ ネプ アイヌ

“asinuma anakne nep aynu

私 は 何も 人間

「私は人間では

80 アネ ルウェ カ ソモ ネ。

a=ne ruwe ka somo ne.

(私)である こと も ない

ないのです。

タン…イアラモイサム⁴ タ アン コタン オツ タ
 tan... iarmoy sam ta an kotan or_ ta
 この 隣の川筋 に ある 村 の所 で

隣の川筋の村で

オルン クル ウタラ パ オヤン⁵…
 or un kur utar pa oyan…
 そこにいる人 達 伝染病 上陸する

伝染病が流行しました。

パ トウライラム ノ ペウレ ウタラ
 pa turayram no pewre utar
 伝染病 と同時 に 若い 人達

伝染病が来るのと同時に若い人達が

ウイマム エアラパ ワ… ヒネ
 uymam earpa wa... hine
 交易 に行っ て そして

交易に行って

85 ウサ サケ ウサ アマム ウサ
 usa sake usa amam usa
 色々 酒 色々 穀物 色々

酒や穀物や

アミプ ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ
 amip ne yakka nep ne yakka
 着物 であっても 何 であっても

着物などを

コロ ワ アラキパ ルウエ ネ ア プ
 kor wa arkipa ruwe ne a p
 持つ て 来る こと だっ た が

持って帰って来たのですが

チプ オロ ワ ナア ヤンケパ カ
 cip or wa naa yankepa ka
 舟 の所 から まだ 上げ も

舟からまだ荷物を上げることも

ソモ キ ラポッケ ネ パ オヤン イネ
 somo ki rapokke ne pa oyan _hine
 しない うちに その 伝染病 上陸し て

しないうちにその伝染病が流行して

90 ネ ウタラ カ オピッタ アアルシテツカ。
 ne utar ka opitta a=arustekka.
 その 人達 も みんな (人)滅ぼす

その人達はみんな死んでしまったのです。

アアルシテツカ ルウエ ネ ア プ
 a=arustekka ruwe ne a p
 (人)滅ぼす こと だっ た が

ですが

オラ ネン カ イシトマ プ ネ クス
 ora nen ka isitoma p ne kusu
 そして 誰 も 恐ろしい ものだ から

誰もが恐ろしくて

- 4 物語中に出て来る地名だが詳細は不明。語義についても、アラモイサム armoy sam「山向こう」[田]、「隣の川筋」[奥]、「海沿ひに 湾の向側」[久74]と、何を挟んだ向こう側なのか、山、川、湾、と辞書により記述が異なるが、ここでは奥田辞書に従った。
- 5 伝染病の神は、昔とても恐れられていた天然痘とはじめてとするウイルスなどで感染する病気の総称とされる。とても力のある神であり、海から上陸して来ると考えられていた。この話でも、交易のため舟で海を渡って行った人達が病気を持ち帰ったことを思わせる描写になっている。

オマナンパ カ ソモ キ ラポッケ オラ
 omananpa ka somo ki rapokke ora
 歩き回る も しない うちに こんど

出歩くことをせず

ネ チプ オツ タ オカ
 ne cip or ta oka
 その 舟 の所 に ある

その舟にある

95 アエプ ネ ヤッカ オピッタ
 aep ne yakka opitta
 食べ物 であっても みんな

食べ物もみんな

ウコムニン ウコホロセ カ タ オラ
 ukomunin ukohorse ka ta ora
 みんな腐る みんな傷む 上 に こんど

腐ってしまいました。

ネ アエプ ネ ヤッカ アニシカ プ カ タ
 ne aep ne yakka a=niska p ka ta
 その 食べ物 で も (私)惜しい もの 上 に

食べ物も惜しい上に

オラ コタン オルン ウタラ カ
 ora kotan or un utar ka
 こんど 村 の所 の 人達 も

村の人達も

エネ ウイマム エアラパ ワ ウサ オカイ ペ
 ene uymam earpa wa usa okay pe
 あのように 交易 に行っ て 色々 ある もの

交易に行っているいろいろなものを

100 コロ ワ アラキパ トウライラム ノ
 kor wa arkipa turayram no
 持つ て 来る と同時 に

持って来たとたんに

オピッタ パ オヤン ワ
 opitta pa oyan wa
 みんな 伝染病 上陸し て

伝染病の神が上陸してみんな

イサンパ ヒケ カ オラ
 isampa hike ka ora
 死ん でも こんど

死んでも

ネプ カ ハルサクパ プ ネ クス
 nep ka harusakpa p ne kusu
 何 も 食糧がない もの だ から

供物がないので

カムイ トウカリ エオツ ワ オカ シリ⁶
 kamuy tukari eot wa oka siri
 神 の手前 に位置し て いる 様子

神の国の手前で足止めされるのを見て

105 アエランポキウエン。
 a=erampokiwen.
 (私)気の毒に思う

私はかわいそうに思いました。

6 供物を捧げられ供養されない者は死者の行くべき国に行けず、その国の手前で足止めをされるという考え方。

イサム ウタラ カ アエランポキウエン カ タ
 isam utar ka a=erampokiwen ka ta
 死んだ 人達 も (私)気の毒に思う 上 に

死んだ人達もかわいそうな上に

ヤイカタ アナクネ チプ カツケマツ⁶ アネ ヒネ
 yaykata anakne cip katkemat a=ne hine
 私 は 舟 女神 (私)であっ て

私は舟の女神で

オマナナン ルウエ ネ ヒケ
 omanan=an ruwe ne hike
 歩き回る(私) の だ が

あちこちを回っていたのですが

ネン カ アコロ サケ ク カ ソモ キ ノ
 nen ka a=kor sake ku ka somo ki no
 何 も (私)の 酒 飲み も しない で

誰も私の酒を飲まないまま

110 オマナナン。
 omanan=an.
 歩き回る(私)

さまよっていたのです。

タネポ アコロ サケ
 tanepo a=kor sake
 初めて (私)の 酒

今日初めて私の酒を

ネ… イシカルン クル ク ワ イコレ”
 ne… iskar un kur ku wa i=kore”
 その 石狩 の 男性 飲ん で (私)にくれる

あなたが飲んでくれたのです」

セコロ ハウエアン コロ エアラキンネ
 sekor hawean kor earkinne
 と 言い ながら 本当に

と言って本当に

エヤイコブンテカ エヤイコブンテカ オラ
 eyaykopuntek a eyaykopuntek a ora
 とてもとても喜ぶ こんど

喜びました。

115 “ニサッタ ネ アン チキ
 “nisatta ne an ciki
 明日 に なる と

「明日の朝になったら

エウタリ エニスク ワ
 e=utari e=nisuk wa
 (お前の)村人 (お前)頼ん で

あなたの村の人に頼んで

ネ コタン オツ タ エチパイエ ワ
 ne kotan or_ ta eci=paye wa
 その 村 の所 に (お前達)行っ て

そこへ行き

ネ チプ オツ タ オカイ ペ
 ne cip or_ ta okay pe
 その 舟 の所 に ある もの

その舟にあるものを

7 前掲書では舟の女神ではなく酒の女神とされている。白老地方で採録された類話、森竹竹市編著『森竹竹市遺稿集ウエペケル(改訂版) —アイヌ語と物語世界—』所収「小便を飲め」(pp.35-53)でもトノト カムイ tonoto kamuy (酒の神)となっている。

オピッタ エチヤブテ ワ
opitta eci=yapte wa
みんな (お前達)陸に上げ て

みんな陸にあげて

120 コタン オツ タ エチコロ ワ エチパイェパ ワ
kotan or ta eci=kor wa eci=payepa wa
村 の所 に (お前達)持つ て (お前達)行っ て

村に持って来て

エチアペアリ オロ タ エチシンヌラッパ
eci=apeari oro ta eci=sinnurappa
(お前達)火を焚く そこ で (お前達)先祖供養をする

火を焚いてそこで先祖供養をしてください。

テ ワノ ポカ
te wano poka
これ から でも

これから

カムイ オルン ネ イサム ウタラ
kamuy or un ne isam utar
神 の所 に その 死んだ 人達

死んだ人達が

オピッタ カムイ トウカリ エオツ ワ
opitta kamuy tukari eot wa
みんな 神 の手前 に位置し て

みんなあの世に行けないで

125 オカ クス
oka kusu
いる ので

いるので

カムイ オルン パイェパ クニ ネ
kamuy or un payepa kuni ne
神 の所 に 行く ように

神の国に行けるように

カムイノミ ネ ヤ シンヌラッパ ネ ヤ
kamuy nomi ne ya sinnurappa ne ya
神へ祈る だ とか 先祖供養 だ とか

神への祈りや先祖供養を

エチキ ワ イコレ ワ
eci=ki wa i=kore wa
(お前達)し て (私に)くれ て

してください。

オラ チプ ネ ヤツカ
ora cip ne yakka
こんど 舟 であつても

そして舟にも

130 エチ… イナウ イコレ ワ
eci... inaw i=kore wa
木幣 (私に)くれ て

木幣を捧げ

チプ イワクテ ヒ エチイエ コロ
cip iwakte hi eci=ye kor
舟 送る こと (お前達)言い ながら

舟神の魂を神の国に送りますと言って

エチイワクテ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ。
eci=iwakte wa i=kore yak pirka na.
(お前達)送っ て (私に)くれる と いい よ

送りの儀式をしてください。

オラ ネウン コタン オッ タ
 ora neun kotan or_ ta
 そして どこか 村 の所 で

そうしたらどこかの村で

コタン ウェン ワ
 kotan wen wa
 村 悪く て

村に悪いことが起きて

135 レラカラ ネ ヤ ナ ネン ネン キ ヤツカ
 rerakar ne ya na nen nen ki yakka
 流行病にやられる だ とか まだ いろ いろ し ても

流行病に遭うとかいうことがあっても

エチコタヌ アナクネ アエプンキネ ワ
 eci=kotanu anakne a=epunkine wa
 (お前達の)村 は (私)守っ て

あなたの村は私が守ります。

ネプ トウリ ネ ヤツカ
 nep turi ne yakka
 何 及ぶ であって

何がやって来ても

エコタヌ アナクネ ケレ カ ソモ キ ノ
 e=kotanu anakne kere ka somo ki no
 (お前の)村 は 触る も しない で

あなたの村には及ぶことがない

エチピリカコタンコロ クニ ネ
 eci=pirkakotankor kuni ne
 (お前達)良い村になる ように

良い村であるように

140 カムイ オロ ワ エチ…
 kamuy or wa eci=…
 神 の所 から (お前達)

神の国からあなた達の

セレマク アエ… クス ネ ナ。
 sermak a=e... kusu ne na.
 背後 (私) つもり だ よ

背後で守ってあげましょう。

ネノ イカラ ワ イコレ”
 neno i=kar wa i=kore”
 そのように (私に)し て (私に)くれる

そのようにしてください」

セコロ ハウエアン。
 sekor hawean.
 と 言った

と言いました。

エアラキンネ
 earkinne
 本当に

私は

145 アコオンカミ ア アコオンカミ ア コロ
 a=koonkami a a=koonkami a kor
 (私)何度も拝礼し ながら

何度も何度も拝礼をし

ネ メノコ イペ カ キ ヒネ
 ne menoko ipe ka ki hine
 その 女 食事 も し て

その女性は食事をしました。

ピリカ セツ アカラ ヒネ
 pirka set a=kar hine
 良い 寝床 (私)作っ て

きれいな寝床を準備して

オロ タ ホッケ シリ カ アヌカラ コロ
 oro ta hotke siri ka a=nukar kor
 そこ で 寝る 様子 も (私)見 ながら

そこで女性が眠った様子を見てから

ホッケアン ルウェ ネ ア プ
 hotke=an ruwe ne a p
 寝る(私) こと だっ た が

私は眠ったのですが

150 ニサッタ ホプニアン アクス
 nisatta hopuni=an akusu
 明日 起きる(私) したところ

翌日起きたところ

ネ セトツ タ
 ne set or_ ta
 その 寝床 の所 に

その寝床に

ネ メノコ カ オアラ イサム ノ
 ne menoko ka oar isam no
 その 女 も 全く いない で

あの女性の姿はなく

ネ セトツ タ サケ オ オンタロ
 ne set or_ ta sake o ontaro
 その 寝床 の所 に 酒 入る 樽

そこには酒樽が

シネプ アシネ アン ヒネ
 sinep as _hine an hine
 ひとつ 立っ て い て

ひとつありました。

155 オラ クンネイワ オンカミアナアナ コロ
 ora kunneywa onkami=an a an a kor
 こんど 朝 何度も拝礼し ながら

何度も拝礼をして

ネ サケ アウタリ アウコ… トウラノ
 ne sake a=utari a=uko... turano
 その 酒 (私の)村人 (私)互いに と一緒に

その酒を村人と一緒に

アウコウサライエ ルウェ ネ ヒネ
 a=ukousaraye ruwe ne hine
 (私)分配する こと であっ て

分け合いました。

オラ タプネ ネ ヒ
 ora tapne ne hi
 こんど このよう である こと

そしてわけを

アイエ プ ネ クス
 a=ye p ne kusu
 (私)言う ものだ から

話して

160 アウタリ イトウラ ヒネ
 a=utari itura hine
 (私の)村人 連れ て

村人達を連れて

ネ イアラモイサムン パイエアン ヒネ
 ne iarmoy sam un paye=an hine
 その 隣の川筋 に 行く(私) して

その隣の川筋の村に行き

オロ タ ネ チプ オツ タ オカ
 oro ta ne cip or_ ta oka
 そこ に その 舟 の所 に ある

そこでその舟にあった

アエプ オピッタ アヤプテ ワ
 aep opitta a=yapte wa
 食べ物 みんな (私)陸に上げ て

食べ物をみんな陸に上げました。

ネ コタン スプヤ サク ノ
 ne kotan supuya sak no
 その 村 煙 ない で

その村にはかまどの煙もあがっておらず

165 セタッコ アン コタン ネ クス
 setakko an kotan ne kusu
 長い間 いる 村 だ から

長い間その状態だった村なので

オピッタ イチャラパアン コロ
 opitta icarpa=an kor
 みんな 供養する(私) しながら

全ての人に先祖供養をしました。

オマナナン ネ ヤ キ コロ
 omanan=an ne ya ki kor
 歩き回る(私) だ とか し ながら

歩き回って

ネ コタン アヌイエオツケ⁸ カ キ イネ
 ne kotan a=nuyeotke ka ki _hine
 その 村 (私)火をつける も し て

その村に火を放ち

トリトリ オカアン アイネ ホシツパアン。
 toritori oka=an ayne hosippa=an.
 一日過ごす いる(私) したあげく 帰る(私)

何日か逗留してから帰って来ました。

170 ネ ウサ サケ ウサ アマム ネ ヤツカ
 ne usa sake usa amam ne yakka
 その 色々 酒 色々 穀物 であっても

その酒や穀物であっても

ピリカ ワ オカイ ペ アウタリ トウラノ
 pirka wa okay pe a=utari turano
 良く て ある もの (私の)村人 と一緒に

いいものを村人と一緒に

アウコウサライエ ワ
 a=ukousaraye wa
 (私)分配し て

分け合って

アコタヌン アルラ… イネ オカアン イケ
 a=kotan un a=rura... _hine oka=an _hike
 (私の)村 に (私)運ん で 暮らす(私) が

私の村へ運びました。

8 全滅した村に火をつけるという描写は散文説話でよく見られる。夜襲やその敵討ちで憎しみから火を放つというのは別に、アイヌの社会では死者が生前に使っていたものを燃やすことによってあの世に届けられるという考え方があるので、そうした意味でも火をつけるという行為は行われるのだろう。

ソンノ カ オヤコヤク コタン タ
 sonno ka oyakoyak kotan ta
 本当に も あちこち 村 に

本当にあちこちの村に

175 レラカン ネ ヤ
 rerakar ne ya
 流行病がはやる だ とか

流行病や

パ オヤン ヤク アイェ ヒ
 pa oyan yak a=ye hi
 伝染病 上陸する と (私)言う こと

伝染病が上陸したというのを

アヌ コロ アナン ア コロカ
 a=nu kor an=an a korka
 (私)聞き ながら いる(私) だ けれど

聞いても

アコタヌ アナクネ
 a=kotanu anakne
 (私の)村 は

私の村は

ネプ カ エペッチウ カ ソモ キ ノ
 nep ka epetciw ka somo ki no
 何 も 障り も ない で

何の災いもなく

180 ピリカ コタン ネ ワ
 pirka kotan ne wa
 良い 村 であっ て

無事でした。

アウタリ トウラノ
 a=utari turano
 (私の)村人 と一緒に

村人とともに

ネプ アエラナク カ ソモ キ ノ
 nep a=eranak ka somo ki no
 何 (私)を苦勞する も しない で

何の苦勞もせずに

オンネアン ペ ネ アクス
 onne=an pe ne akusu
 年を取る(私) もの だっ たところ

年を取りましたので

アイェ セコロ
 a=ye sekor
 (私)言う と

お話ししますと

185 シネ アイヌ イソイタク セコロ。
 sine aynu isoytak sekor.
 ひとり 男 物語る と

ひとりの男が物語りましたとさ。

第3話 散文の物語

飢饉になり千歳まで 魚とりに行った タンネサルの親子

収 録 日：1995 年 09 月 09 日

資料番号：35226A

添付 CD：5-3（13 分 3 秒）

第3話 散文の物語「飢饉になり千歳まで魚とりに行ったタンネサルの親子」¹⁾

(タンネサルの男が語る)

タンネサルン クル アネ ヒネ アナン ヒケ
 tannesar un kur a=ne hine an=an hike
 タンネサル の 人 (私)であつて いる(私) したが

私はタンネサル²⁾に住む者です。

アコタヌ ケムシ カ エラミシカリ ノ
 a=kotanu kemus ka eramiskari no
 (私)の村 飢饉 も 経験がな く

私の村では飢饉も知らずに

オカアン ワ… ペ ネ ア プ
 oka=an wa... pe ne a p
 暮らす(私) して もの だっ た が

暮らしていたのですが

マク ネ ワ ネ ヤ アコタヌ ケムシ ワ
 mak ne wa ne ya a=kotanu kemus wa
 どう し て だ か (私)の村 飢饉になつて

どうしたことか飢饉になり

- 5 エアラキンネ ヤイウエンヌカラアン コロ
 earkinne yaywennukar=an kor
 本当に 苦しむ(私) ながら

本当に苦しんで

オカアン ペ ネ ア プ
 oka=an pe ne a p
 いる(私達) もの だっ た が

いました。

ラポッケ パハウ ネ ハワシ ハウエ エネ アニ。
 rapokke pahaw ne hawas hawe ene an _hi. 噂では
 そのうちに 噂 で 言う こと こうだった

シコトウン チェプ アスル アシ ヒ
 sikot³⁾ un cep asur as hi
 千歳 の 魚 評判 立つ こと

千歳川の魚が評判だと

アヌ コロ アナン ペ ネ ヒケ
 a=nu kor an=an pe ne hike
 (私)聞いて いる(私) もの だ が

聞いていましたが

- 10 オラ タネ トウイマノ アトウラ ヤツカ
 ora tane tuymano a=tura yakka
 こんど もう 遠くに (私)連れて も

もう遠くに連れて行っても

1 調査年月日は1995年9月9日。アイヌ民族博物館救護室においてこの翌日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」の準備として行われた調査。調査者は千葉大学中川裕氏、安田千夏。この話について上田トシ氏は「ワテケ（鳩沢ふじの）さんが語った話で、本に出ていた」と説明しているが、ほぼ同じ話は田村すず子編著『アイヌ語音声資料6—国松さんと幸作さんの昔話—』所収「私はタンネサルに住む者です（振内の長者が平取の占者に救われた話）」（話者：二谷国松）（pp.2-9）にある。ワテケ氏もアイヌ語音声資料シリーズに多くの話が採録されており、トシ氏はこのシリーズの本とカセットテープで熱心に勉強をしていたため、つい「ワテケさん」と言ってしまったのだろう。また北海道アイヌ民族文化研究センター『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』の資料番号CC800082で上田トシ氏による同話の別録音が公開されている。

2 現沙流郡平取町振内町にあった地名。沙流川中流域に位置する。原義はタンネ tanne（長い）・サラ sar（ヨシ原）。この話に出て来る地名は全て実在の地名であり、架空の地名は出て来ない。

3 千歳市の原地名。支笏湖にその名をとどめる。

アプカシ エニタン パクノ アン
 apkas enitan pakno an
 歩く 早い くらい ある

早く歩けるくらいの

ヘカチ アコロ ペ ネ ヒケ オラ
 hekaci a=kor pe ne hike ora
 男の子 (私)持つ もの だ が こんど

息子がいるので

ネ ヘカチ アトゥラ カネ ヒネ
 ne hekaci a=tura kane hine
 その 男の子 (私)連れ も して

その息子を連れて

シコツ コパクン アコロ ヘカチ トウラノ
 sikot kopak un a=kor hekaci turano
 千歳 の方 に (私)の 男の子 と一緒に

千歳を目指して

15 アラキアン ルウェ ネ アクス
 arki=an ruwe ne akusu
 行く(私) こと だっ たところ

出かけて行きました。

ムカ⁴ タ アラパ… パイエアン アクス
 muka ta arpa... paye=an akusu
 鵜川 に 行く 行く(私) したところ

鵜川に着くと

ペツ クシ ウタラ オカ ヒネ
 pet kus utar oka hine
 川 を通す 人達 い て

渡し守がいました。

オロ タ ホトウイパアン ルウェ ネ アクス
 oro ta hotuyipa=an ruwe ne akusu
 そこ で 呼ぶ(私) こと だっ たところ

呼ぶと

オツカヨ エキネ
 okkayo ek_hine
 男 来 て

男性が出て来たので

20 イクサ ヒネ ヤパニネ オラ
 ikusa hine yap=an _hine ora
 川を渡し て 上陸する(私達) して こんど

川を渡してもらい

シコツ タ パイエアン ルウェ ネ イネ
 sikot ta paye=an ruwe ne _hine
 千歳 に 行く(私) こと であって

千歳へ行きました。

オラ ポロンノ ネ チェプ ニエシケネ
 ora poronno ne cep niesikene
 こんど たくさん その 魚 しょいこで荷にすること

たくさんの魚をしょいこで背負って

アキ ヒネ オラ ホシピアン ヒネ
 a=ki hine ora hosipi=an hine
 (私)し て こんど 帰る(私) して

帰り

4 沙流川の西側を流れる鵜川のアイヌ語名。千歳に行くにはこの川を渡らなければならない。

- ムカ タ スイ エカン ヒネ
muka ta suy ek=an hine
鷺川 に また 来る(私) して
また鷺川に来て
- 25 ホトウイパアン ルウェ ネ アクス
hotuypa=an ruwe ne akusu
呼ぶ(私) こと だっ たところ
渡し守を呼んだところ
- オッカヨ ソイエネ カ ソモ キ ノ
okkayo soyene ka somo ki no
男 外に出る も しない で
男性は外に出て来ず
- メノコ ソイエネ ヒネ エキネ
menoko soyene hine ek _hine
女 外に出 て 来 て
女性が出て来て
- イクサ ヒ クス
ikusa hi kusu
川を渡す ので
川を渡してくれました。
- チプ オンナイ タ ネ コロカ
cip onnay ta ne korka
舟 の中 で だ けれど
舟の中ではありましたが
- 30 “マク ネ ヒネ エネ エプイネ
“mak ne hine ene e=puyne
どう し て こう (お前)ひとりで
「どうして
- ホトウイパアン ヤツカ
hotuypa=an yakka
呼ぶ(私) しても
私が呼んでも
- オッカヨ ソイエネ ソモ キ ノ
okkayo soyene somo ki no
男 外に出る しない で
男性が出て来ずに
- メノコ エキネ イクサ シリ ネ ヤ”
menoko ek _hine ikusa siri ne ya”
女 来 て 川を渡す 様子 です か
女性が出て来て渡してくれるのですか」
- セコロ アコウウェペケンヌ アクス
sekor a=kouwepekennu akusu
と (私)尋ね たところ
と尋ねたところ
- 35 オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った
女性はこのように言いました。
- “ウクラン ネ タネ シリクンネ コロ
“ukuran ne tane sirkunne kor
昨夜 に もう 暗くなる と
「昨夜もう暗くなってから
- ホトウイパ ハウ アシ イ クス…
hotuypa haw as _hi kusu…
呼ぶ 声 する ので
呼ぶ声がしたので

ヒネ アホクフ ソイネ ヒネ… ア プ
 hine a=hokuhu soyne hine... a p
 して (私の)夫 外に出 て だったが

夫が外に出たところ

オラノ アフン ルウェ カ イサム。
 orano ahun ruwe ka isam.
 そして 入る こと も ない

それきり家に帰って来ませんでした。

40 ラポツケ ペトルン ネプ カ
 rapokke pet or un nep ka
 そのうちに 川 の所 で 何 か

そのうちに川で何か

ペツ フム ペチャペチャク⁵ フム アシ クス
 pet hum pecapecak hum as kusu
 川 音 水がはねる 音 する ので

川の方で水音がしたので

ナニ ポロ タトウシペ アウフイカ テク ヒネ
 nani poro tatuspe a=uhuyka tek hine
 すぐ 大きい 松明 (私)燃やす さっと して

すぐに大きな松明をつけて

ソイネアン ヒネ インカラアン ルウェ ネ アクス
 soyne=an hine inkar=an ruwe ne akusu
 外に出る(私) して 見る(私) こと だっ たところ

外に出て見たところ

チプ モン マ サン ヒ クス
 cip mom _wa san hi kusu
 舟 流れ て 下る ので

舟が川を流れ下っていたのです。

45 ネ チプ エトコ アトウシマク クス
 ne cip etoko a=tusmak kusu
 その 舟 の前 (私)先回りする ために

その舟に先回りをしようとして

パサン イネ ペツ ペシ サナン ヒネ
 pas=an _hine pet pes san=an hine
 走る(私) して 川 沿いに 下る(私) して

走って川を下り

ネ チプ アキシマ ルウェ ネ アクス
 ne cip a=kisma ruwe ne akusu
 その 舟 (私)つかむ こと だっ たところ

舟をつかんだところ

ネ チプ オンナイ タ アホクフ
 ne cip onnay ta a=hokuhu
 その 舟 の中 で (私の)夫

その舟の中で夫が

オアラ ヤイランペウテク イネ アン ヒネ オラ
 oar yayrampewtek _hine an hine ora
 全く 正気を失っ て い て こんど

正気を失っていたのです。

50 アカラ イネ アニンパニンパ ヒネ
 a=kar _hine a=ninpaninpa hine
 (私)し て (私)ひきずっ て

引きずって

5 pecha-pecha 尾を動かして水を切って行く音 (Karepia 説) [久 666]。

アウニ タ パイエアン イネ アホッケレ ア プ
a=uni ta paye=an _hine a=hotkere a p
(私の)家 に 行く(私) して (私)寝かせ た が

私達の家に戻って寝かせたのですが

オラ ナニ ネノ オアラ ヤイランペウテク ワ
ora nani neno oar yayrampewtek wa
こんど すぐ このように 全く 正気を失っ て

このように正気を失って

アン ワ エネネ ヒ カ イサム ルウェ ネ”
an wa enene hi ka isam ruwe ne”
い て どうする こと も ない の です

いるのでどうしようもないのです」

セコン ネ メノコ ハウエアン。
sekor_ ne menoko hawean.
と その 女 言う

とその女性が言いました。

55 エアラキンネ アケムヌ
earkinne a=kemnu
本当に (私)かわいそうに思う

本当にかわいそうで

ソモ ネ ヤッカ シリキラツパ ルウェ
somo ne yakka sirkirappa ruwe
ではない も 苦勞する 様子

ただでさえ貧しい様子を

アヌカリ タ
a=nukar _hi ta
(私)を見る 時 に

見て

タクピ ネ ヤッカ アケムヌ ア プ
takupi ne yakka a=kemnu a p
それだけ で も (私)かわいそうだった が

気の毒に

セコロ ヤイヌアン ヒ クス
sekor yaynu=an hi kusu
と 思う(私) ので

思っていたので

60 “ヤクン アエポタラ ヤッカ ピリカ ヤ?”
“yakun a=epotara yakka pirka ya?”
ならば (私)まじないして も いい か

「それなら私がまじないをしてもいいですか？」

セコロ アコピシ アクス
sekor a=kopisi akusu
と (私)尋ね たところ

と言うと

ヤクン ポヘネ ピリカ セコン
yakun pohene pirka sekor_
ならば 一層 いい と

それは嬉しいと

ネ メノコ ハウエアン ヒ クス オラ
ne menoko hawean hi kusu ora
その 女 言う ので こんど

その女性が言いました。

ネ… アフナン ヒネ
ne... ahun=an hine
入る(私達) して

家に入って

65 ネ ヤイランペウテクアン イホクネクル
 ne yayrampewtek=an ihoknekur
 その 正気を失う(人) 夫である人

その正気を失っている夫に

アノンノイタク コロ
 a=nonnoitak kor
 (私)祈る と

祈って

カシ アキク ネ ヤ キ アクス
 kasi a=kik ne ya ki akusu
 上を (私)叩く だ とか し たところ

お祓いをしたりしていると

ラポッケ ヤイラムアン ルウェ ネ ヒネ
 rapokke yayramuan ruwe ne hine
 そのうちに 正気を取り戻す こと であって

そのうちに意識が戻りました。

オラ エアラキンネ ヤイラムアン アクス
 ora earkinne yayramuan akusu
 こんど 本当に 正気に戻っ たところ

そして

70 オラノ イコヤイライケ イ イエ ア イエ ア
 orano i=koyayrayke _hi ye a ye a
 そして (私)に感謝する こと 何度も言う

私に感謝の言葉を何度も言いました。

“アコン ニシパ⁶ アン クシケライポ
 “a=kor_ nispa an kuskeraypo
 (私)の 旦那さん いた おかげで

「旦那さんがいてくださったおかげで

イポタラ ワ ヤイラムアン”
 i=potara wa yayramuan”
 (私に)まじまいし て 正気に戻る

おまじないで正気に戻りました」

セコロ ハウエアン コロ オラ
 sekor hawean kor ora
 と 言い ながら こんど

と言い

ネプ カ サクパ ルウェ アケムヌ ア プ
 nep ka sakpa ruwe a=kemnu a p
 何 も ない こと (私)気の毒に思っ た のに

もののない様子が気の毒だったのに

75 シネ オサムシペ⁷
 sine osamuspe
 ひとつ 壁掛け太刀

ひと振りの壁掛け太刀が

シネプ タクプ アン ルウェ アヌカラ ア プ
 sinep takup an ruwe a=nukar a p
 ひとつ だけ ある こと (私)見 た が

唯一あるのに気がついてはいましたが

ネ ワ アン ペ サンケ ヒネ イコレ
 ne wa an pe sanke hine i=kore
 そう して ある もの 出し て (私に)くれる

それを私にくれようと思いました。

6 よその旦那さんに対しても親しみをこめて「アコン ニシパ a=kor_ nispa (私の旦那さん)」と呼ぶことがある。

7 前掲書ではソサモツペ sosamotpe とある。この話では以下ソサムシペ sosamuspe として出て来る。

コロカ アケムヌ
korka a=kemnu

けれど (私)かわいそうに思う

しかしかわいそうで

エネ イシラムネパ⁸ ルウエ オカイ ペ
ene isramnepa ruwe okay pe
こう 貧しい人達である こと ある のに

こんなに貧しい人たちののに

80 セコロ ヤイヌアニ クス
sekor yaynu=an _hi kusu
と 思う(私) ので

と思ったので

アウク ヒ カ アココパン ヒネ
a=uk hi ka a=kokopan hine
(私)取る ことも (私)拒ん で

申し出を断って

アウク カ ソモ キ ノ
a=uk ka somo ki no
(私)取る も しない で

受け取らずに

オラ アコロ ソン… ヘカチ トウラノ
ora a=kor son... hekaci turano
こんど (私)の 息子 男の子 と一緒に

息子と一緒に

ホシピアン イネ アラキアン ヒネ
hosipi=an _hine arki=an hine
帰る(私) して 来る(私) して

帰って来ました。

85 タネ ペトブツ タ
tane pet oput ta
もう 川 の河口 に

そしてもう

サラ プトウ コパッケ ウン アラキアン アクス
sar putu kopakke un arki=an akusu
沙流川 の河口 の方 に 行く(私) したところ

沙流川の河口の方にさしかかるという時に

オラ ラポッケ アコロ ソン ヤイランペウテク。
ora rapokke a=kor son yayrampewtek.
こんど そのうちに (私)の 息子 正気を失う

今度は息子が正気を失いました。

オラ ネン アカラ カシ アキク ネ ヤ
ora nen a=kar kasi a=kik ne ya
こんど どう (私)する 上を (私)叩く だ とか

どんなにお祓いや

ネウン アカラ ヤツカ
neun a=kar yakka
どう (私)する しても

何をしても

90 ヤイランペウテク ワ オラノ
yayrampewtek wa orano
正気を失っ て そして

正気を失ったままで

8 イシラムネパ isram-ne-pa 貧しい人・である・[複数形]。言いよどんで、イシラムネ ワ… ネパ isramne wa... nepa と言っているが、この後110行目でイシラムネパの用例が現れる。

ネン ネン アカラ コロ アラキアン ヒネ
 nen nen a=kar kor arki=an hine
 いろ いろ (私)し ながら 来る(私) して

いろいろと手当をしつつ帰って来て

ラポッケ オラ ヤイヌアヌミ エネ アニ。
 rapokke ora yaynu=an _humi ene an _hi.
 そのうちに こんど 思う(私) こと このようだった

このように考えました。

“ピラトウツ タ⁹ ヌプル エカシ アン ヤク
 “piratur_ ta nupur ekasi an yak
 平取 に 霊力がある 老人 いる と

「平取に霊力があるおじいさんがいると

アイェ ヒ アヌ コロ アナン ア プ
 a=ye hi a=nu kor an=an a p
 (人)言う こと (私)聞いて いる(私) だった が

いうのを聞いていたので

95 ネンカネ ヌプル エカシ エウン パクノ
 nenkane nupur ekasi eun pakno
 どうかして 霊力がある 老人 のところ まで

何とかそのおじいさんのところまで

アシコパカインカラ”
 a=sikopakainkar”
 (私)見てもらう

行って見てもらおう」

クナク アラム コロ エカン アイネ
 kunak a=ramu kor ek=an ayne
 と (私)思い ながら 来る(私) うちに

とを考えて

ピラトウツ タ シレパアン ルウェ ネ ヒネ
 piratur_ ta sirepa=an ruwe ne hine
 平取 に 着く(私) こと であって

平取に着きました。

オラ タプネ ネ ヌプル エカシ オロ タ
 ora tapne ne nupur ekasi oro ta
 こんど この通り その 霊力がある 老人 の所 で

そして霊力があるおじいさんのところで

100 “タプネ カネ シリペアン クス
 “tapne kane siripe=an kusu
 このようなわけで 食糧調達に行く(私) ために

「このようなわけで食糧を求めて

シコツ タ パイエアン ワ エカン
 sikot ta paye=an wa ek=an
 千歳 に 行く(私) して 来る(私)

千歳に行く途中

ホントモ タ ムカワ タ エカン アクス
 hontomo ta mukawa ta ek=an akusu
 途中 に 鵜川 に 来る(私) したところ

鵜川にさしかかると

ペツ プンキネ オカ ウムレク オカ ヒネ
 pet punkine oka umurek oka hine
 川 を守って いる 夫婦 い て

渡し守の夫婦がいて

オロ タ アシクサレ ワ
oro ta a=sikusare wa
そこ で (私)川を渡してもらっ て

そこで川を渡して

105 イクサ ワ イコレ ア プ
i=kusa wa i=kore a p
(私を)渡して (私に)くれ た が

もらったのですが

オラ ホシピアン アクス
ora hosipi=an akusu
こんど 帰る(私) したところ

戻って来たら

ネ イホクネクル
ne ihoknekur
その 夫である人

その夫である人が

ヤイランペウテク ワ アン ルウェ
yayrampewtek wa an ruwe
正気を失っ て いる こと

正気を失っているのを

アヌカラ クス アエポタラ。
a=nukar kusu a=epotara.
(私)見る ので (私)まじないをする

見たのでまじないをしました。

110 イシラムネパ ルウェ アケムヌパ ヒ クス
isramnepa ruwe a=kemnupa hi kusu
貧しい人達である こと (私)衰れむ ので

貧しい夫婦が気の毒なので

アエポタラ ワ
a=epotara wa
(私)まじないをし て

私がまじないをして

ピリカ ヤイラムアン シリ アヌカラ カ キ ヒネ
pirka yayramuan siri a=nukar ka ki hine
良く 気がつく 様子 (私)見る も し て

正気になったのを見届けてから

エカン ルウェ ネ ア プ
ek=an ruwe ne a p
来る(私) こと だっ た が

帰って来たのですが

エネ エカン ホントム ワノ
ene ek=an hontom wano
このように 来る(私) 途中 から

このように途中で

115 アコロ ヘカチ エネ ヤイランペウテク ワ
a=kor hekaci ene yayrampewtek wa
(私)の 息子 このように 正気を失っ て

私の息子が正気を失ってしまったので

エカン ルウェ ネ ”
ek=an ruwe ne”
来る(私) こと です

やって来たのです」

セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
sekor hawean=an ruwe ne akusu
と 言う(私) こと だっ たところ

と言うと

ネア ヌプル エカシ エネ ハウエアニ。
 nea nupur ekasi ene hawean_hi.
 その 霊力が強い 老人 このように言った

そのおじいさんはこう言いました。

“ネン シリキラッパ ワ オカ ヤッカ
 “nen sirkirappa wa oka yakka
 どんなに 苦労し て い ても

「どんなに貧乏をしていても

120 オロ タ ネン カ ポタラアン ワ
 oro ta nen ka potara=an wa
 そこ で 何 か まじないし(私) て

そこでまじないをした

エエク ルウェ ネ ヤクン
 e=ek ruwe ne yakun
 (お前)来る こと だっ たら

というのなら

シリキラプ カネ
 sirkirap kane
 苦労をし ながら

貧乏をしながらでも

ソサムシペ ネ ヤッカ サンケ ワ
 sosamuspe ne yakka sanke wa
 壁掛けの太刀 で も 出し て

太刀を出して

エコレ ヒ ネ ヤクン
 e=kore hi ne yakun
 (お前に)くれる の ならば

あなたにくれたのなら

125 ネア ソサムシペ エウク ヤク ピリカ プ
 nea sosamuspe e=uk yak pirka p
 その 壁掛けの太刀 (お前)取ると いい のに

その太刀を受け取ったら良かったのだ。

エウク カ ソモ キ プ ネ クス
 e=uk ka somo ki p ne kusu
 (お前)取る も しない の だ から

受け取らなかったために

ウェン カムイ エカ ウン ワ クス
 wen kamuy e=ka un wa kusu
 悪い 神 (お前の)上 につい た からこそ

悪い神があなたに憑いたので

エコロ ヘカチ ヤイランペウテク シリ ネ ワ⁽¹⁰⁾
 e=kor hekaci yayrampewtek siri ne wa”
 (お前)の 息子 正気を失う よう だ よ

あなたの子供が気を失ったようだよ」

セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら

と言いながら

130 アコロ ヘカチ カシキク ネ ヤ キ アクス
 a=kor hekaci kasikik ne ya ki akusu
 (私の)の 息子 魔払い だ とか し たところ

息子にお祓いなどをしたところ

10 悪い神に祟られた症状が、憑いた本人ではなくその息子に現れたというのは、その場に居合わせた中で最も弱い人間に祟りが及ぶものであるというので、それを意味しているのだろう。

オロ タ アコロ ヘカチ カ ピリカ ヤイラムアン
oro ta a=kor hekaci ka pirka yayramuan
そこ で (私)の 息子 も 良く 正気を取り戻す

息子は正気を取り戻しました。

ルウェ ネ ヒネ オラ ネ エカシ
ruwe ne hine ora ne ekasi
こと で して こんど その 老人

それからそのおじいさんは

エネ ハウエアニ。
ene hawean _hi.
このように言った

こう言いました。

“ エシリペ クス
“ e=siripe kusu
(お前)食糧調達に行く ために

「あなたは食糧を求めて

135 シコツ タ エアラパ ルウェ ネ コロカ
sikot ta e=arpa ruwe ne korka
千歳 に (お前)行く の だ が

千歳に行ったのだけれど

イルシカ ペツ⁽¹¹⁾ エムツ コロ⁽¹²⁾
iruska pet emut kor
入鹿別 川 ？

怒り川
入鹿別は

パウチ カラ トウムンチ カラ
pawci kar tumunci kar
気狂い 作る 妖怪 作る

気狂いの妖怪が作った

ペツ ネ ワ アン ペ
pet ne wa an pe
川 であって ある もの

川なので

オロ タ アライケ チェプ アナクネ⁽¹³⁾ ネ ヤクン
oro ta a=rayke cep anakne ne yakun
そこ で (人)とる 魚 は で あれば

そこでとった魚ならば

140 エコロ ワ エアラパ ヤツカ エエ
e=kor wa e=arpa yakka e=e
(お前)持つ て (お前)行っ ても (お前)食べる

持って帰って食べるのは

ピリカ カ ソモ キ ナンコロ”
pirka ka somo ki nankor”
良く も ない だろう

良くないだろう”

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言いました。

ネア アセ ワ エカン ア チェプ
nea a=se wa ek=an a cep
その (私)背負っ て 来る(私) した 魚

その背負って来た魚を

11 「入鹿別川」 鶴川市街の西部に実在する川。原意はイルシカ iruska (怒る)・ペツ pet (川)。
12 前掲書ではイルシカ ペツ エムコ ウン iruska pet emko un「怒り川の中流の」となっている箇所。
13 魚は千歳でとったものであり入鹿別川でとったわけではないが、そこで災いに遭遇したので魚も汚染されてしまったという意味だろう。

シネ チェブ エタイエ ヒネ
sine cep etaye hine
ひとつ 魚 引き抜い て

一尾取って

145 セタ エウン オスラ アクス
seta eun osura akusu
犬 に 投げ たところ

犬に投げて

ネ オスラ ア チェブ ネア セタ エ アクス
ne osura a cep nea seta e akusu
その 投げ た 魚 その 犬 食べ たところ

それを犬が食べると

ナニ オロ タ ネ セタ ライ ルウェ ネ アクス
nani oro ta ne seta ray ruwe ne akusu
すぐ そこ で その 犬 死ぬ こと だっ たところ

すぐにそこで死んでしまいました。

オラ ネ ヌプル エカシ エネ ハウェアニ。
ora ne nupur ekasi ene hawean _hi.
こんど その 霊力ある 老人 このように言った

そしてそのおじいさんはこう言いました。

“ タプ ネノ エセ ワ エエク チェブ
“ tap neno e=se wa e=ek cep
この ように (お前)背負っ て (お前)来る 魚

「このようにあなたが背負って来た魚を

150 セタ アエレ ワ
seta a=ere wa
犬 (私)食べさせて

犬に食べさせて

セタ ライ シリ エヌカラ ヤクン
seta ray siri e=nukar yakun
犬 死ぬ 様子 (お前)見る ならば

死んだのを見たのなら

ソンノ ネ クニ エラム ナンコロ”
sonno ne kuni e=ramu nankor”
本当 だ と (お前)思う だろう

本当だとわかっただろう」

セコロ ハウェアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

そして

“ ネ カムナシ エムツ コロ
“ ne kamnasi emut kor
その 化け物 ?

「その化け物のいる

155 ペトロ ワ エセ ワ エエク ペ エセ ワ
pet oro wa e=se wa e=ek pe e=se wa
川 の所 から (お前)背負っ て (お前)来る もの (お前)背負っ て

川から背負って来たものを持ち

エアラパ エコタヌ タ エアラパ ワ
e=arpa e=kotanu ta e=arpa wa
(お前)行く (お前の)村 へ (お前)行っ て

あなたの村に行って

エウタリ エエレ ヤッカ
e=utari e=ere yakka
(お前の)村人 (お前)食べさせ ても

村人に食べさせても

エウタリ カ オピッタ ナニ ライ クス
e=utari ka opitta nani ray kusu
(お前の)村人 も みんな すぐ 死ぬ ので

みんな死んでしまうところで

ネ アン ペ
ne an pe
そう ある もの

あったのを

160 ピリカ ヒネ イヘコテ
pirka hine i=hekote
良く して (私に)立ち寄る

幸いにも私のところに

エヘノイエ クシケライボ
e=henoye kuskeraypo
(お前)立ち寄る おかげで

来たのだから

ネ チェプ カ オピッタ アウファイカ”
ne cep ka opitta a=uhuyka”
その 魚 も みんな (私)燃やす

その魚もみんな燃やそう」

セコロ ハウエアン コン
sekor hawean kor_
と 言い ながら

と言って

ネ チェプ アセ ワ エカン チェプ
ne cep a=se wa ek=an cep
その 魚 (私)背負っ て 来る(私) 魚

背負って来た魚を

165 オピッタ オロ タ
opitta oro ta
みんな そこ で

全部そこで

ネ ヌプル エカシ ウファイカ ヒネ
ne nupur ekasi uhuyka hine
その 霊力ある 老人 燃やし て

燃やしました。

オラ シネ セタ
ora sine seta
こんど 一匹 犬

そして一匹の犬

フレ セタ ポロ セタ アナ プ
hure seta poro seta an a p
赤い 犬 大きい 犬 い た が

赤い大きな犬がいましたが

ネア セタ トモウン イノンノイタク ヒネ
nea seta tomoun inonnoitak hine
その 犬 に向かって 祈っ て

その犬に祈りを捧げ

170 オラ ネ セタ ライケ¹⁴ ヒネ オラ
ora ne seta rayke hine ora
こんど その 犬 を殺し て こんど

殺して

14 昔は犬を食べることもあったが、この場合は祈ってから殺したということなので、飢饉の村を救う特別な力を持った存在と考えられてのことかも知れない。

ナニ リ ヒネ オラ ネ…
 nani ri hine ora ne…
 すぐ さばい て こんど

すぐにさばいて

“ タン フレ セタ カミヒ オピッタ
 “ tan hure seta kamihi opitta
 この 赤い 犬 の肉 みんな

「この赤犬の肉を

エセ ワ エアラパ
 e=se wa e=arpa
 (お前)背負っ て (お前)行く

あなたは

ポネヘ ウンノ エセ ワ エアラパ ワ
 ponehe unno e=se wa e=arpa wa
 骨 まで (お前)背負っ て (お前)行っ て

骨まで背負い

175 エコタヌ タ エコロ ワ エアラパ ワ ネ ヤクン
 e=kotanu ta e=kor wa e=arpa wa ne yakun
 (お前の)村 に (お前)持って (お前)行っ て だっ たら

村に持ち帰ったならば

オラ カミヒ アナクネ ナニ エスパ ワ
 ora kamihi anakne nani e=supa wa
 こんど 肉 は すぐに (お前)煮 て

肉はすぐに煮て料理をしなさい。

エコタヌ ウン ウタラ エタク ワ
 e=kotanu un utar e=tak wa
 (お前の)村 の 人達 (お前)呼ん で

村の人達を呼んで

アラキパ ウタラ アナクネ アラキパ ワ
 arkipa utar anakne arkipa wa
 来る 人達 は 来 て

来ることができる人は来て

エ ナンコロ。
 e nankor.
 食べ なさい

食べなさい。

180 アラキ コヤイクシ ウタラ アナクネ
 arki koyaykus utar anakne
 来る ことができない 人達 は

来るのが難しい人達には

ルリヒ ネ ヤッカ エコイヤニ ワ
 rurihi ne yakka e=koyyani wa
 汁 であっても (お前)あげ て

汁だけでもあげて

ルリヒ エニレ ヤク ピリカ。
 rurihi e=nire yak pirka.
 汁 (お前)すすらせる と いい

すすらせたらいい。

オラ タン ポネ
 ora tan pone
 こんど この 骨

そしてこの骨

セタ ポネ アナクネ エウフィカ ワ
 seta pone anakne e=uhuyka wa
 犬 骨 は (お前)燃やし て

犬の骨は燃やして

- 185 パシパシヒ ウンノ
 paspasihi unno
 燃えかす まて 燃えかすまで
- ネ トウムサクパ ケウオロサクパ ワ
 ne tumsakpa keworsakpa wa
 その 力のない 力を失っ て 力のなくなった
- イペエコツ アンキ オカ ウタラ キロウシ
 ipeekot anki oka utar kirousi
 餓死 しそうに なる 人達 腰 餓死しそうな人の腰に
- ネ ポネ エウフイカ パシパシヒ オピッタ
 ne pone e=uhuyka paspasihi opitta
 その 骨 (お前)燃やす 燃えかす みんな 骨を燃やした炭をみんな
- キロウシ エコタチ ネ ヤ キ ヤクン
 kirousi e=kotaci ne ya ki yakun
 腰 (お前)つける だ とか する ならば 腰につけたならば
- 190 ラボッケ オラ トウムコロパ ナンコロ ナ
 rapokke ora tumkorpa nankor na
 そのうちに こんど 力が出る だろう よ そのうちに力が出るだろう」
- セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら と言って
- ネ セタ ライケ ヒネ
 ne seta rayke hine
 その 犬 殺し て その犬を殺して
- ポネヘ ウンノ イセレ ヒネ
 ponehe unno i=sere hine
 骨 まで (私に)背負わせ て 骨まで私に背負わせてくれました。
- アエヤイコプンテク
 a=eyaykopuntek
 (私)喜ぶ 私は喜んで
- 195 アコオンカミ ア アコオンカミ ア
 a=koonkami a a=koonkami a
 (私)に何度も拝礼をする 何度も拝礼をして
- コロ オラ エカン。
 kor ora ek=an.
 ながら こんど 来る(私) 村に帰って来ました。
- アコロ ヘカチ カ
 a=kor hekaci ka
 (私)の 男の子 も 私の息子も
- タネ ヤイランペウテク イ カ
 tane yayrampewtek _hi ka
 もう 正気を失う こと も もう正気を失っていたのも

ピリカ プ ネ クス
pirka p ne kusu
良くなる もの だ から

良くなったので

200 オラノ アラキアン ヒネ
orano arki=an hine
そして 来る(私) して

村に帰って来ました。

タネ アコタヌ タ エカニ オラ
tane a=kotanu ta ek=an_hi ora
もう (私の)村 に 来る(私) して から

私の村に着くと

ナニ ネア セタ カム アスパ ヒネ
nani nea seta kam a=supa hine
すぐ その 犬 肉 (私)煮 て

すぐにあの犬の肉を煮て

オラ コタン エピッタ
ora kotan epitta
こんど 村 みんな

村じゅうの

アウタリ アタク ワ アラキ。
a=utari a=tak wa arki.
(私の)村人 (私)呼ん で 来る

人を招きました。

205 エパ ウタラ アナクネ アラキパ ワ
epa utar anakne arkipa wa
着く 人達 は 来 て

来ることができる人達は来て

ネ カミヒ エパ ネ ヤ
ne kamihi epa ne ya
その 肉 食べる だ とか

その肉を食べたり

ルリヒ アラキパ コヤイクシ ウタラ
rurihi arkipa koyaykus utar
汁 来る ことができない 人達

来るのが難しい人達には

コイヤンパ ネ ヤ キ コロ
koyyanpa ne ya ki kor
持って行く だ とか し ながら

汁を持って行ってあげたりして

ネノ トウツコ レレコ オカアン ワ
nenno tutko rerko oka=an wa
そのように 2日 3日 暮らす(私) して

2、3日過ぎました。

210 オラ ネ ポネヘ ネ ヤツカ
ora ne ponehe ne yakka
こんど その 骨 であっても

その骨を

アウフイカ ネ ヤ キ ワ
a=uhuyka ne ya ki wa
(私)燃やす だ とか し て

燃やして

トウムサク ケウオロサクパ ウタラ エウン
tumsak keworsakpa utar eun
力のない 力を失う 人達 に

元気のない人達のところに

コロ ワ パイエパ ワ
kor wa payepa wa
持つ て 行っ て

持って行って

キロウシ コタチパ ネ ヤ キ コロ
kirousi kotacipa ne ya ki kor
腰 につける だ とか し ながら

腰につけたり

215 オカアン アイネ
oka=an ayne
いる(私) うちに

していると

ラポッケ アコタヌ ウタラ カ トウムコロパ
rapokke a=kotanu utar ka tumkorpa
そのうちに (私の)村の 人達 も 力がつく

そのうちに村の人達も力がついた

ヤク イエパ コロ
yak yepa kor
と 言い ながら

と言って

アエウコヤイコブンテク コロ オカアン
a=eukoyaykopuntek kor oka=an
(私)互いに喜び ながら いる(私)

互いに喜びました。

ラポッケ エキムネパ コロ
rapokke ekimnepa kor
そのうちに 山獵に行く と

それからしばらくして山獵に行くと

220 オラノ エアシリ
orano easir
こんど 本当に

本当に

イセポ カ チロンヌプ カ ライケ ワ
isepo ka cironnup ka rayke wa
ウサギ も キツネ も とっ て

ウサギやキツネがとれて

コロ ワ アラキパ コロ
kor wa arkipa kor
持つ て 来る と

持ち帰り

オラノ アエヤイコブンテク コロ
orano a=eyaykopuntek kor
そして (私)喜び ながら

喜びました。

アウタリ トウラノ
a=utari turano
(私の)村人 と一緒に

村人と

225 ネ チロンヌプ カム ネ ヤ
ne cironnup kam ne ya
その キツネ 肉 だ とか

そのキツネの肉や

イセポ カム ネ ヤ
isepo kam ne ya
ウサギ 肉 だ とか

ウサギの肉を

アウコウサライエ ワ アエ コロ
a=ukousaraye wa a=e kor
(私)分け合っ て (私達)食べ ながら

分け合って食べて

オカアン ラポッケ オラ
oka=an rapokke ora
暮らす(私) そのうちに こんど

いました。

アウタリ トウムコロパ エキムネパ アクス
a=utari tumkorpa ekimnepa akusu
(私の)村人 力がつく 山猟に行く ところ

村人も元気になって山猟に行くと

230 オラ エアシリ ユク カ カムイ カ
ora easir yuk ka kamuy ka
こんど 初めて シカ も クマ も

シカやクマを

ロンヌパ ヤク イエパ コロ
ronnupa yak yepa kor
とる と 言い ながら

とったと言って

コロ ワ イワクパ ワ オラノ
kor wa iwakpa wa orano
持つ て 帰っ て そして

持ち帰り

アエヤイコブンテク コロ オカアン。
a=eyaykopuntek kor oka=an.
(私)喜び ながら 暮らす(私)

喜びました。

オロワノ エアシリ アコタヌ タ
orowano easir a=kotanu ta
それから 初めて (私の)村 で

そうになってからは私の村では

235 ユク ネ ヤツカ カムイ ネ ヤツカ
yuk ne yakka kamuy ne yakka
シカ で も クマ で も

シカやクマを

アウタリ ライケ ワ コロ ワ イワクパ ランケ
a=utari rayke wa kor wa iwakpa ranke
(私の)村人 とっ て 持つ て 帰る 何度も

村人がとって持ち帰るようになりました。

チロンヌプ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
cironnup ne yakka nep ne yakka
キツネ で も 何 で も

キツネでも何でも

オロ ワノ アナクネ
oro wano anakne
それ から は

それからは

アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
a=esirkirap ka somo ki no
(私)苦勞する も しない で

何を苦勞することもなく猟ができ

240 アコタヌ ヘプニ プ ネ ワ
a=kotanu hepuni p ne wa
(私の)村 復興する もの になっ て

村が復興し

アエヤイコブンテク コロ オカアン
a=eyaykopuntek kor oka=an
(私)喜び ながら 暮らす(私)

喜んで暮らしました。

ラポッケ アポ ウタリ カ ルプネ
rapokke a=po utari ka rupne
そのうちに (私の)子 たち も 大きくなる

そのうちに子ども達も大きく

アコタヌン ウタラ カ ピリカ ス… キパ ワ
a=kotanu un utar ka pirka su... kipa wa
(私の)村 の 人達 も 良く し て

村人達も元気になり

ピリカ コタン ネ オカアン ワ
pirka kotan ne oka=an wa
良い 村 に 暮らす(私) して

良い村になって

オンネアン ペ ネ アクス
onne=an pe ne akusu
年を取る(私) もの だっ たところ

私も年を取りました。

245 ピラトウルン エカシ アン クシケライポ
piratur un ekasi an kuskeraypo
平取 の 老人 いた おかげで

平取のおじいさんがいたおかげで

アウタリ トウラノ シクヌアン ペ ネ アクス
a=utari turano siknu=an pe ne akusu
(私の)村 と一緒に 生きる(私) もの だっ たところ

村人と一緒に生きているのです。

イカン クナク ピラトウルン
ikan kunak piratur un
決して 平取 の

平取の

ウタッ トウラノ ウコ… ウコウエウトウムコロ¹⁵
utar_ turano uko... ukowewtumkor
人達 と一緒に 悪い心を持つ?

人達と

ウコウエイサンペコロパ ソモ キ ノ
ukoweysanpekorpa somo ki no
互いに悪い心を持つ しない で

互いに悪い心を持つことなく

250 ウコパヨカパ ヤク ピリカ ナ
ukopayokapa yak pirka na
互いに行き来する と いい よ

仲良く行き来しなさい

セコロ フレナイ¹⁶ ウン ニシパ
sekor hurenay un nispa
と フレナイ の 長者

とフレナイの旦那さんが

イソイタク セコン ネ。
isoytak sekor_ ne.
物語る と さ

物語りました。

15 ウコウエンケウトウムコロ ukowenkewtumkor (互いに悪い心を持つ) と言おうとしたのだろう。

16 話の冒頭に出て来たタンネサルを現地名で言い直したもの。フレ hure (赤い)・ナイ nay (川)。

第4話 散文の物語

オキクルミが妻の姿を 人に見られて怒った話

収 録 日：1995 年 09 月 09 日

資料番号：35226B

添付 CD：5-4（8 分 45 秒）

第4話 散文の物語「オキクルミが妻の姿を人に見られて怒った話」¹⁾

(平取の長者が語る)

ピラトウルン ニシパ アネ ヒネ
 piratur²⁾ un nispa a=ne hine
 平取 の 長者 (私)であっ て

私は平取に住む長者です。

アナン ペ ネ ヒケ
 an=an pe ne hike
 いる(私) もの だ が

アコタヌ タ ウェンクル ウムレク オカ
 a=kotanu ta wenkur umurek oka
 (私の)村 に 貧乏人 夫婦 いる

私の村に貧乏人の夫婦が

ウェンクル ウムレク オカ ヒネ
 wenkur umurek oka hine
 貧乏人 夫婦 い て

いて

5 コタン ケシ タ オカイ ペ ネ コロカ
 kotan kes ta okay pe ne korka
 村 下端 で 暮らす もの だ けれど

村の下端に住んでいましたが

ウェンクル ネ クス エホラク チセ オツ タ
 wenkur ne kusu ehorak cise or_ ta
 貧乏人 な ので 崩れる 家 の所 に

貧乏なので崩れかかった家に

オカイ ペ ネ ヒケ
 okay pe ne hike
 いる もの だ が

住んでいました。

オラ アコタヌ マク ネ ワ ネ ヤ ケムシ ワ
 ora a=kotanu mak ne wane ya kemus wa
 こんど (私の)村 どう し て だ か 飢饉になっ て

そして私の村がどうしたことか飢饉になり

オラ ヤイウェンヌカラアン コロ オカアン。
 ora yaywennukar=an kor oka=an.
 こんど 苦しむ(私達) ながら 暮らす(私達)

私達は苦しい生活を送っていました。

(ここから貧乏人夫婦が語る)

10 ラポツケ オキクルミ³⁾ カムイ…
 rapokke okikurmi kamuy…
 そのうちに オキクルミ 神

そのうちにオキクルミ神

- 1 調査年月日は1995年9月9日。アイヌ民族博物館救護室においてこの翌日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」の準備として行われた調査。調査者、同席者は千葉大学中川裕氏、安田千夏、村木美幸。上田トシ氏はこの話の伝承経路については何もコメントしていないが、広く紹介されているよく知られた話である。あるいは田村すす子編著『アイヌ語音声資料6—国松さんと幸作さんの昔話—』所収「平取の村の下はずれに貧乏人の夫婦が住んでいました（オキクルミが妻の姿を人に見られて怒った話）」(話者：平村幸作) (pp.58-63) で聞き覚えたのかも知れない。
- 2 沙流郡平取町のアイヌ語原名。ピラウトウル pira-utur (崖・の間)。
- 3 口承文芸に登場する神の名。天から人間界に降りて来て人間に生活に必要なことを教えた神といわれる。「人文神」と訳されることもある。

先生 キリ ナンコロ (笑)⁴
 kir nankor
 知る でしょう

「先生知っているでしょう」

オキクルミ カムイ コロ カツケマツ
 okikurmi kamuy kor katkemat
 オキクルミ 神 の 妻

オキクルミ神の奥さんが

ケシ ト アン コロ
 kes to an kor
 毎日

毎日

アエプ エイメク コロ オマナン ペ ネ ア プ
 aep eymek kor omanan pe ne a p
 食べ物 を分け ながら 歩き回る もの だった が

食べ物を分けて回っていたのですが

15 ネ ウエンクル ウムレク エウンノ
 ne wenkur umurek eunno
 その 貧乏人 夫婦 に

その貧乏人の夫婦にも

ネ アエプ エイメク コロ オマナン ペ ネ ア プ
 ne aep eimek kor omanan pe ne a p
 その 食べ物 を分け ながら 歩き回る もの だった が

食べ物を分けていました。

オラ ネア ウエンクル ウムレク ウタラ
 ora nea wenkur umurek utar
 こんど その 貧乏人 夫婦 達

その貧乏人の夫婦は

エネ ハウェオカイ⁵。
 ene haweoka _hi
 このように言った

このように言いました。

“マカナク アン カツケマツ ネ ヒネ
 “makanak an katkemat ne hine
 どのように ある 妻 であって

「どんな奥さんが

20 エネ テケヘ ピリカ レタン ルウェ アン”
 ene tekehe pirka retar_ ruwe an”
 こんな 手 美しい 白い こと ある

こんなに手がきれいで白いんだろう」

セコロ ウエンクル ネ ワ オカイ ペ ネ コロカ
 sekor wenkur ne wa okay pe ne korka
 と 貧乏人 で している もの だ けれど

と貧乏人が

ウムレク ネ ワ エウコイタクパ コロ オカ ヒネ
 umurek ne wa eukoitakpa kor oka hine
 夫婦 であっ て 互いに話し ながら 暮らし て

夫婦で話し合っていました。

オラノ ネン カ ナヌフ…
 orano nen ka nanuhu…
 そして 誰 も 顔

4 千葉大学教授中川裕氏に対して言った上田氏の言葉。

5 冒頭は「ピラトウルの村長が私である」と語り出しているが、途中から貧乏人の夫婦が語る形になっている。

テケヘ エネ ピリカ ルウェ ネ ヤクン
tekehe ene pirka ruwe ne yakun
手 こんな 美しい こと だっ たら

「手がこんなに美しいなら

25 ナヌフ ポヘネ マカナク アン
nanuhu pohene makanak an
顔 なおさら どのように ある

顔はどんな

カッケマツ ネ ルウェ ネ
katkemat ne ruwe ne
妻 である こと だ

奥さんなのだろう」

セコロ エウコイタクパ コロ…
sekor eukoytakpa kor…
と 互いに話し ながら

と話し合って

ウコイタクパ コロ オカ イケ カ
ukoytakpa kor oka _hike ka
互いに話し ながら 暮らし ても

いました。

ネ オキクルミ カムイ コロ カッケマツ
ne okikurmi kamuy kor katkemat
その オキクルミ 神 の 妻

オキクルミ神の奥さんは

30 ケシト アン コロ
kesto an kor
毎日

毎日

アエプ エイメク コロ オマナン
aep eymek kor omanan
食べ物 を分け ながら 歩き回る

食べ物を分けて歩き

チュプ ヘトウク エトク タ
cup hetuk etok ta
太陽 出る 前 に

日が昇る前に

アエプ エイメク コロ
aep eymek kor
食べ物 を分け ながら

食べ物を配って

オマナン コロ アン ヒケ カ
omanan kor an hike ka
歩き回り ながら い て も

歩き回っていました。

35 ウエンクル ウムレク エウンノ
wenkur umurek eunno
貧乏人 夫婦 にも

貧乏人の夫婦にも

ネノ イキ コロ オカイ ペ ネ ア プ
nenno iki kor okay pe ne a p
そう し ながら いる の だっ た が

そのようにしてあげていたのですが

ネ ウエンクル ウムレク ウタラ
ne wenkur umurek utar
その 貧乏人 夫婦 達

貧乏人の夫婦は

エネ ハウエオカイ。
ene haweoka _hi.
このように言った

こう言いました。

“エネ ピリカ テケヘ レタラ ワ
“ene pirka tekehe retar wa
こんな 美しい 手 白い 手

「こんなきれいな白い手

40 ピリカ テケヘ ネ クス
pirka tekehe ne kusu
美しい 手 だ から

なのだから

アエプ プヤラ カリ
aep puyar kari
食べ物 窓 から

食べ物を窓から

トゥリリ ラポッケ オヌイタサ
turiri rapokke onuytasa
伸ばす 間に 同時に

差し出した瞬間に

アテケヘ アトゥリ テク ヒネ
a=tekehe a=turi tek hine
(私)手 (私)伸ばす さっと して

手をさっと伸ばして

ネ カツケマツ テケヘ アシコエタイエ ヤクン
ne katkemat tekehe a=sikoetaye yakun
その 妻 の手 (私)引っ張る ならば

奥さんの手を引っ張ったら

45 テケヘ カ ナヌフ カ
tekehe ka nanuhu ka
手 も 顔 も

手も顔も

アヌカラ エアシカイ ナンコロ”
a=nukar easkay nankor”
(私)見る できる だろう

見ることができるだろう」

セコロ ウムレク ネパ ワ エウコイタクパ
sekor umurek nepa wa eukoytakpa
と 夫婦 し て 互いに話し

と話し合って

コロ オカ ルウェ ネ ア プ
kor oka ruwe ne a p
ながら 暮らす こと だった が

いたのでした。

オラ シネアンタ スイ
ora sineanta suy
こんど あるとき また

そしてある日また

50 ネア カムイ メノコ アエプ エイメク コロ
nea kamuy menoko aep eymek kor
その 神 女 食べ物 を分け ながら

その女神が食べ物を分け与えに

エキネ ロルンプヤラ カリ
ek _hine rorunpuyar kari
来 て 神窓 から

来て

ネ ウェンクル ウムレク オロ タ
ne wenkur umurek oro ta
その 貧乏人 夫婦 の所 に

その貧乏人の夫婦の家で

ロルンプヤラ カリ テケヘ トウリリ アクス
rorunpuyar kari tekehe turiri akusu
神窓 から 手 を伸ばし たところ

神窓から手を伸ばしたところ

オヌイタサ ナニ
onuytasa nani
同時に すぐ

同時にさっと

55 ネア ウェンクル ウムレク ウタラ
nea wenkur umurek utar
その 貧乏人 夫婦 達

その貧乏人の夫婦が

トウン ネ ヒネ ネ カツケマツ テケヘ
tun ne hine ne katkemat tekehe
ふたり で して その 妻 の手

ふたりでその奥さんの手を

シコエタイェパ ルウェ ネ ア プ オラ
sikoetayepa ruwe ne a p ora
引っ張る の だっ た が こんど

引っ張ったのです。

(ここから平取の長者のセリフに戻る)

ピラトウルン エカシ
piratur un ekasi
平取 の 老人

平取のおじいさん

ヌプル クル⁶ エネ ハウエアニ。
nupur kur ene hawean _hi.
霊力がある 人 このように言った

霊力ある人がこのように言いました。

60 “マク ネ ヒネ カムイ フム カ イサム
“mak ne hine kamuy hum ka isam
どう であって 神 音 も ない

「何だか雷の音も

ネプ カ フム カ イサム ペ… ア プ
nep ka hum ka isam pe… a p
何 も 音 も しない もの (だっ) た が

何の音もしていなかったのに

エネ エクシコンナ あの
ene ekuskonna
こんな 突然

突然

ウェンクル ウムレク ウニ エンカシケ ウン
wenkur umurek uni enkasike un
貧乏人 夫婦 の家 の上 に

貧乏人夫婦の家の上で

6 前掲書ではこの人物に関してはコタンコロクル kotan kor kur「村長」、コタンコンニシパ kotan kor nispa「村の長者」、ピラトウルンニシパ Piratur un nispa「ピラトウルの長者」としか出て来ず、「霊力がある」という表現は見られない。別話で上田トシさんが聞き覚えたと思われる田村すず子編著『アイヌ語音声資料6 一國松さんと幸作さんの昔話―』所収「私はタンネサルに住む者です(振内の長者が平取の占者に救われた話)」(話者：二谷国松)(pp.2-9)に出て来るピラトウツ タ ヌプル エカシ piratur ta nupur ekasi「ピラトウルの霊力があるおじいさん」とイメージが重なったため、このような表現になったものか。

カムイ オニシボソ フム アシ アナクネ
 kamuy onisposo hum as _hi anakne
 神 落ちる 音 立つ こと は

雷が落ちる音がしたのは

65 ネン カ ウン
 nen ka un
 何 か しら

何かしら

ウェンクル ウタラ ネン カ ウン
 wenkur utar nen ka un
 貧乏人 達 何 か しら

貧乏人の夫婦が

カムイ シコイパクテ ソモ キパ コロカ ヘ
 kamuy sikoypakte somo kipa korka he
 神 罰せられる しない けれど か

罰当たりなことをしたのではなかろうか。

エネ カムイ オニシボソ”
 ene kamuy onisposo”
 こんな 神 落ちる

あんな雷が落ちるなんて」

セコロ ネ コタンコンニシパ ハウエアン…
 sekor ne kotankonnispa hawean…
 と その 村長 言う

とその村長が

70 オヤモクテ ワ ハウエアン ルウェ ネ アクス
 oyamokte wa hawean ruwe ne akusu
 不思議に思っ て 言う こと だっ たところ

不思議に思って言いました。

ペウレ ウタラ ナニ
 pewre utar nani
 若い 人達 すぐに

若者達をすぐに

アラホユツパレパ ヒネ アラキパ ヒネ
 arhoyupparepa hine arkipa hine
 ひた走っ て 来 て

走らせて

ネ ウェンクル ウニ タ
 ne wenkur uni ta
 その 貧乏人 の家 に

その貧乏人の家に

アラキパ ルウェ ネ アクス
 arkipa ruwe ne akusu
 来る こと だっ たところ

来たところ

75 ロルンソ カ タ ネア カツケマツ
 rorunso ka ta nea katkemat
 上座 の上 に その 奥さん

上座の上にその女神が

エイメク コロ オマナン ア アエブ
 eymek kor omanan a aep
 配り ながら 歩き回っ た 食べ物

配って歩いていた食べ物が

アチャツチャリ ヒネ アン ヒネ オラ
 a=catcari hine an hine ora
 (私)散らかし て あっ て こんど

散らかっていて

ネア ウェンクル ウムレク アナクネ
 nea wenkur umurek anakne
 その 貧乏人 夫婦 は

貧乏人の夫婦は

トゥン ネ ヒネ オアラ トウクンネ ヒネ
 tun ne hine oar tukunne hine
 2人 で 全く しびれ て

ふたりともすっかりしびれきって

80 オカ ルウェ ネ ヒネ オラ… ア プ
 oka ruwe ne hine ora... a p
 いる こと であって こんど（だっ）た が

いたのでした。

オラ ネア ピラトゥルン ニシパ コロ
 ora nea piratur un nispa kor
 こんど その 平取 の 長者 の

その平取の長者の

カッケマツ ネ ヤ
 katkemat ne ya
 奥さん だ とか

夫妻は

ネア ニシパ ネ ヤ ネ エアンチカリ
 nea nispa ne ya ne eancikari
 その 長者 だ とか その 夜

その夜

ウェンタラツパ ルウェ ネ アクス
 wentarappa ruwe ne akusu
 夢を見る こと だっ たところ

夢を見ました。

85 オキクルミ カムイ アネ ヒ イェ コロ
 okikurmi kamuy a=ne hi ye kor
 オキクルミ 神 (私)である こと 言い ながら

オキクルミ神だという神が

“ ポヘネ ピラトゥツ タ
 “ pohene piratur_ ta
 なおさら 平取 に

「平取が

ケマン… コタン ケムシ…
 keman... kotan kemus...
 飢饉 村 飢饉になる

コタン ケムシ ネ ヤ
 kotan kemus ne ya
 村 飢饉になる だ とか

飢饉になって

アイヌ ウタラ アエプ カ イサン マ
 aynu utar aep ka isam _wa
 人間 達 食べ物 も なく て

人間達が食べ物もなく

90 アイヌ ウタラ アエランポキウエン ネ ヤ
 aynu utar a=erampokiwen ne ya
 人間 達 (私) 気の毒に思う だ とか

私は気の毒に思いました。

キ ワ クス
 ki wa kusu
 する から

そこで

アコロ カツケマツ レブンカムイ マツネポホ
a=kor katkemat repunkamuy matnepoho
(私)の 妻 沖の神 の娘

私の妻はシャチ神の娘

アマチヒ ネ ワ アナン ペ ネ イ クス
a=macihi ne wa an=an pe ne _hi kusu
(私)の妻 になって いる (私) もの だ から

なので

ネ アマチヒ ケシ ト アン コロ
ne a=macihi kes to an kor
その (私の)妻 毎日

妻が毎日

95 アエプ ルラ
aep rura
食べ物 を運ぶ

ピラトウルン アエプ ルラ… アルラレ ワ…
piratur un aep rura… a=rurare wa…
平取 に 食べ物 を運ぶ (私)運ばせ て

平取に食べ物を運んで

コロ アナン ルウエ ネ ア プ
kor an=an ruwe ne a p
ながら いる(私) こと だった が

いたのに

エネ アコロ カツケマツ
ene a=kor katkemat
このように (私の)の 妻

あろうことか妻の手を

ウェンクル ウムレク ウタラ
wenkur umurek utar
貧乏人 夫婦 達

貧乏人の夫婦が

100 シコエタイエパ ヒネ
sikoetayepa hine
引っ張る して

引っ張った。

オラ ネ ヌカラパ ルスイ クス
ora ne nukarpa rusuy kusu
こんど その 見 たい ので

見たいがために

イキパ プ ネ クス
ikipa p ne kusu
する もの だ から

そのようにしたので

サラ ネットパケ ロルンソ カ タ
sara netopake rorunso ka ta
あらわな体 神窓 の上 で

正体をさらして神窓の上で

ホチカチカ シリ
hocikacika siri
ばたばたする 様子

ばたばたしている様子を

105 ウェンクル ウタラ ヌカラパ ワ
wenkur utar nukarpa wa
貧乏人 達 見 て

貧乏人達は見たのです。

エアラキンネ アコイパク クス
 earkinne a=koypak kusu
 本当に (私)罰する ために

罰を与えるため

テ ワノ アナクネ
 te wano anakne
 これ から は

これから

ネン コタン オツ タ アエプ サク ヤツカ
 nen kotan or_ ta aep sak yakka
 どんなに村 の所 で 食べ物 なく ても

どんなに村に食べ物がなくとも

ハル エイメクアン ヤク…
 haru eymek=an yak…
 食糧 分ける(私) と

食べ物を分け与えない

110 ソモ キ ヤツカ ピリカ
 somo ki yakka pirka
 しない で いい

でいい。

ハル エイメクアン ヤツカ ピリカ ナ”
 haru eymek=an yakka pirka na”
 食べ物 分ける(私) しても いい よ

そうしなさい(?)」

セコロ
 sekor
 と

と

“オラ ネア ウェンクル ウタラ アナクネ
 “ora nea wenkur utar anakne
 こんど その 貧乏人 達 は

「そしてその貧乏人達を

ネウン カ オヤ ペトルン ヘネ
 neun ka oya pet or un hene
 どこ か 別の 川 の所 に ても

どこか別の川筋にでも

115 オヤ コタン ウン ヘネ
 oya kotan un hene
 別に 村 に ても

別の村にでも

アエニウチンネ ヘネ キ ヤク オラ
 a=eniwcinne hene ki yak ora
 (人)追い出す ても すると こんど

追放したら

スイ ネン カ アイヌ ウタラ
 suy nen ka aynu utar
 また 何 か 人間 達

また何かで人間達を

カシ アオピウキ クス ネ ナ”
 kasi a=opiwki kusu ne na”
 を (私)助ける つもりだ よ

助けようではないか」

セコロ アン ウェンタラプ
 sekor an wentarap
 と ある 夢

という夢を

- 120 コタンコンニシパ カ
kotankonnispa ka
村長 も
村長も
- ネ コタンコンニシパ コロ カツケマツ カ
ne kotankonnispa kor katkemat ka
その 村長 の 妻 も
その奥さんも
- ウェンタラプ ルウエ ネ ヤク
wentarap ruwe ne yak
夢を見る こと だ と
見たと
- イシムネ イェパ ヒネ オラ ナニ
isimne yepa hine ora nani
翌日 言っ て こんど すぐに
翌朝口々に言いました。
- ネ コタンコンニシパ
ne kotankonnispa
その 村長
その村長は
- 125 ヤヤパプ ヒ イェ ア イェ ア コロ
yayapapu hi ye a ye a kor
謝る こと 何度も言い ながら
お詫びを何度も言いながら
- ナニ サケカラ ネ ヤ イナウカラ ヒネ
nani sakekar ne ya inawkar hine
すぐに 酒を作る だ とか 木幣を作る して
すぐに酒や木幣を作って
- ネア レブンカムイ コタヌン エピッタ
nea repunkamuy kotan un epitta
その 沖の神 村 の みんな
そのシャチ神に村じゅうで
- ネア オキクルミ カムイ エウン ネ ヤッカ
nea okikurmi kamuy eun ne yakka
その オキクルミ 神 に で も
そのオキクルミ神へも
- サケ アニ イナウ アニ ヤヤッタサ ヒ
sake ani inaw ani yayattasa hi
酒 で 木幣 で お礼をする こと
酒と木幣でお礼の言葉を
- 130 イェ ロク イェ ロク コロ
ye rok ye rok kor
何度も言い ながら
何度も言いながら
- カムイノミパ アクス
kamuyinomipa akusu
神に祈っ たところ
儀式をしました。
- オラ エアシリ スイ
ora easir suy
こんど 本当に また
するとまた
- オキクルミ カムイ オロワノ
okikurmi kamuy orowano
オキクルミ 神 から
オキクルミ神は

- アエプ エイメク
aep eymek
食べ物 を分け与える
- 135 ケシト アン コロ アエプ エイメク ワ
kesto an kor aep eymek wa
毎日 食べ物 を分け与え て
- アエ⁷ コロ オカアン ペ ネ コロカ
a=e kor oka=an pe ne korka
食べ ながら 暮らす(私達) もの だ けれど
- オラ ネア ウェンクル ウムレク アナクネ
ora nea wenkur umurek anakne
こんど その 貧乏人 夫婦 は
- アコイパク ペ ネ クス
a=koypak pe ne kusu
(私)罰する もの だ から
- ネプ カ アコロパレ カ ソモ キ ノ オカ
nep ka a=korpale ka somo ki no oka
何 も (私)与えられる も しない で 暮らす
- 140 コロカ アエニウチンネ ヤク ピリカ
korka a=eniwcinne yak pirka
けれど (私)追い出す と いい
- セコロ ネ ア コロカ
sekor ne a korka
と 言っ た けれど
- ネウン カ アエニウチンネ ヒケ カ
neun ka a=eniwcinne hike ka
どこに も (私)追い出し て も
- パイェパ ワ オカ ウシケ カ イサム
payepa wa oka uske ka isam
行く して いる 場所 も ない
- イペ ヒ カ エネネ ヒ カ
ipe hi ka enene hi ka
食べる こと も どうする こと も
- 145 イサム ペ ネ クス
isam pe ne kusu
ない だ から
- アエニウチンネ カ ソモ キ ノ
a=eniwcinne ka somo ki no
(私)追い出し も しない で
- 食べ物を
- 毎日分け与えるようになり
- それを皆食べていましたが
- その貧乏人の夫婦は
- 罰を受けたので
- 何も与えられずに暮らしました。
- 追い出してしまえ
- と言っても
- 追い出しても
- どこに行くあてもない
- 食べるあても
- ないので
- 追い出しもせずに

7 ここから人称接辞が冒頭の形に戻っている。

コタン オツ タ
kotan or_ ta
村 の所 に

村の

コタン ケシ タ オカ ヤツカ
kotan kes ta oka yakka
村 下端 で 暮らし ても

はずれで

ウェン シリキラプ ワ オカ イネ
wen sirkirap wa oka _hine
ひどく 苦勞し て 暮らし て

ひどく苦勞して暮らしていました。

150 … ペ ネ ア コロカ
… pe ne a korka
もの だっ た けれど

でも

エイタサ ウエンクル ネ ヤ キ プ アナクネ
eytasa wenkur ne ya ki p anakne
あまり 貧乏人 だ とか する もの は

あまり貧乏人がしたことは

アエランボキウエン ネ ヤ
a=erampokiwen ne ya
(人)同情する だ とか

同情も

ナ ネン ネン ネ コロ
na nen nen ne kor
まだ いろいろ だ と

何も

シオカ ウン ヤイエモンタサ… ペ ネ クス
sioka un yayemontasa… pe ne kusu
後 に 自分に仕返す もの だ から

因果応報なので

155 エイタサ ウエンクル ネ ヤ
eytasa wenkur ne ya
あまり 貧乏人 だ とか

あまり貧乏人や

ルケシサク ペ ネ… オカ ウタラ アナクネ
rukessak pe ne… oka utar anakne
子孫がない もの で いる 人達 は

子孫がない者達は

エイタサ アケムヌ カ ソモ キ ヤツカ
eytasa a=kemnu ka somo ki yakka
あまり (私)同情する も しない でも

同情しすぎないで

ピリカ プ ネ セコロ
pirka p ne sekori
いい もの だ と

いいものだと

ピラトウルン エカシ
piratur un ekasi
平取 の 老人

平取のおじいさんが

160 イソイタク セコン ネ。
isoytak sekori ne.
物語る と さ

物語りましたとさ。

第5話 散文の物語

まぼろしを見た石狩の女

収録日：1997年8月27日

資料番号：35236A

添付CD：5-5（11分14秒）

第5話 散文の物語「まぼろしを見た石狩の女」¹⁾

(石狩の女性が語る)

イシカツ タ
iskar_ ta
石狩 で

石狩で

マク イキ ワ アナン ペ ネ ルウェ ネ ヤ
mak iki wa an=an pe ne ruwe ne ya
どう し て 暮らす(私) もの な の だ か

どうしてなのか

アエラミシカリ ノ
a=eramiskari no
(私)わからない で

わからないまま

ポロ オハ チセ オツ タ
poro oha cise or_ ta
大きい 空の 家 の所 で

大きな誰もいない家で

- 5 プイネ アナン ペ ネ ヒケ オラ
puyne an=an pe ne hike ora
ひとりで 暮らす(私) もの だ が こんど

私はひとりで暮らしていました。

ポンノ ポロアニ オラノ
ponno poro=an _hi orano
少し 大きくなる(私) 時 こんど

少し大きくなると

エキムネアン ワ
ekimne=an wa
山獵に行く(私) して

山に行つて

ニペシケプアナ ア ナ ヒネ
nipeskep=an a an a hine
シナ皮剥ぎを何度もする(私) して

シナノキの樹皮をたくさん剥いで

ネ ニペシ アケプ ワ イワクアン コロ
ne nipes a=kep wa iwak=an kor
その シナノキ (私)剥い で 帰る(私) と

剥いだ皮を家に持ち帰り

- 10 オラノ アミム ネ ヤ キ コロ
orano a=mim ne ya ki kor
そして (私)裂く だ とか し ながら

それを裂いて

オポキン オラ ハラキカエカアン コロ²⁾
opokin ora harkikaeka=an kor
次々と こんど 縄を作る(私) しながら

次々と縄にして

- 1 調査年月日は1997年8月27日。アイヌ民族博物館で後日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ文学講座」の事前調査として上田トシ氏宅で行われた。調査者は千葉大学中川裕氏。同席者は村木美幸。片山言語文化研究所編『アイヌ語日常会話集1 凍ったミカン』所収「第九章 まぼろしを見た石狩の女」(pp.45-56)が同氏による同話の映像記録である。田村すず子編著『アイヌ語音声資料5-二風谷の昔話と歌謡・神謡-』所収「私は石狩に住む女です(和人の夫をもった石狩の女の話)」(話者:平村つる)(pp.74-81)がほぼ同じ内容なので、上田氏はこれを聞いて聞き覚えたのかも知れない。
- 2 アイヌ文化では樹木ではオヒョウやシナノキやツルウメモドキ、野草ではイラクサ類など植物から糸を作る伝統がある。中でもシナノキは丈夫な糸や縄になるため日常生活で一般的に使われていたという。

アナン アイネ

an=an ayne

暮らす(私) うちに

いました。

ネ ハラキカ ウカオシマ コロ

ne harkika ukaosma kor

その 縄 を集める と

その作った縄がたまると

アセ ワ マチヤ オツ タ アラパアン ワ

a=se wa maciya or_ ta arpa=an wa

(私)背負っ て 町 の所 に 行く(私) して

背負って和人の町に行き

15 アエイヨク ワ クス アエプ アタサレ ワ
a=eiyok wa kusu aep a=tasare wa

(私)売る ために 食べ物 (私)交換し て

売って食べ物と交換して

イペアン コロ アナン ワ…

ipe=an kor an=an wa…

食べる(私) ながら 暮らす(私)

いました。

ネ ハラキカエカ パテク ネプキ ネ

ne harkikaeka patek nepki ne

その 縄作り ばかり 仕事 に

その縄作りばかりを仕事に

アキ コロ アナン ペ ネ イ クス オラ

a=ki kor an=an pe ne _hi kusu ora

(私)し ながら 暮らす(私)もの だ から こんど

していたので

シネアンタ ニペシケプ レウシ ニペシケプ

sineanta nipeskep rewsu nipeskep

あるとき シナ剥ぎ 泊まりの シナ剥ぎ

ある時泊まりがけでシナ剥ぎに

20 アキ クナク アラム コロ
a=ki kunak a=ramu kor

(私)すると (私)思い ながら

行こうと思いました。

エキムネアン ヒネ

ekimne=an hine

山へ行く(私) して

山に行くと

オラ ポン シトウ³ アン ヒ クス

ora pon situ an hi kusu

こんど 小さい 尾根 ある ので

小さい尾根筋があり

ネ シトウ チョロポ… ラ タ ピリカ

ne situ corpo… ra ta pirka

その 尾根 の下 下 に きれいな

その尾根の下に

アシ ルウエ ピリカ チクニ アン イ クス

as ruwe pirka cikuni an _hi kusu

立ち 姿 きれいな 木 ある ので

立ち姿のいい木がありました。

3 山の稜線。登山のときには見晴らしがよく自分の位置を把握しやすいため、尾根筋に沿って山を登り下りすることが多い。日本語では通称「馬の背」などとも言われる。

25 ネ チクニ オロ ワ アコロ ポイ ス ネ ヤ
ne cikuni oro wa a=kor pon_ su ne ya
その 木 の所 から (私)の 小さい 鍋 だ とか

その木から私の小さい鍋や

アコロ アエプ ネ ヤツカ
a=kor aep ne yakka
(私)の 食べ物 で も

食べ物を

ニ オロ ワ アラチツケレ ヒネ
ni oro wa a=racitkere hine
木 の所 から (私)ぶら下げ て

ぶらさげて

オラ シトウ ホントム パクノ アラパアン ヒネ
ora situ hontom pakno arpa=an hine
こんど 尾根 途中 まで 行く(私) して

尾根筋の途中まで行って

オラ ニペシケプアナ アナ ヒネ
ora nipeskep=an a an a hine
こんど シナ剥ぎを何度もする(私) して

皮剥ぎをしていました。

30 フムネ… ウン アルラ ヒ
humne… un a=rura hi
時に に (私)運ぶ こと

時々運んで来て

オラ ニペシ カプ… カプ アカラ コロ
ora nipes kap… kapu a=kar kor
こんど シナ 皮 その皮 (私)剥ぎ ながら

皮を剥いで

アナン ラポッケ
an=an rapokke
いる(私) うちに

いるうちに

シラウン インカラアン ルウェ ネ アクス
siraun inkar=an ruwe ne akusu
下の方 見る(私) こと だっ たところ

尾根の下の方を見ると

ネ アコロ ポイ ス
ne a=kor pon_ su
その (私)の 小さい 鍋

私の小さい鍋

35 アエプ アラチツケレ ア ポイ ス カ
aep a=racitkere a pon_ su ka
食べ物 (私)ぶら下げた 小さい 鍋 も

食べ物をぶら下げていた小さい鍋も

アエプ カ パシクル コトイセ ヒネ
aep ka paskur kotoyse hine
食べ物 も カラス 集まっ て

食べ物もカラスが集まって

オピッタ パシクル トウルセレパ ヒネ オラノ
opitta paskur turserepa hine orano
みんな カラス 落とし て そして

全部落として

オロ タ パシクル インネ パシクル アラキ ヒネ
oro ta paskur inne paskur arki hine
そこ に カラス 多くの カラス 来 て

カラスが群がって

ネ アコロ アエプ チャリチャリパ コロ オカ。
 ne a=kor aep caricaripa kor oka.
 その (私)の 食べ物 を散らかし て いる

食べ物を散らかしていました。

40 オラ アコロ ポイ ス カ
 ora a=kor pon_ su ka
 こんど (私)の 小さい 鍋 も

私の小さい鍋も

トウルセレ シリ イキ クス
 tursere siri iki kusu
 落とされる 様子 する ので

落とされたようで

シラウェコイキアン ヒケ カ
 sirawekoyki=an hike ka
 大声を出す(私) しても

大きな声を出しても

ネ パシクル ウタラ カ キラパ カ ソモ キ ノ
 ne paskur utar ka kirapa ka somo ki no
 その カラス 達 も 逃げ も しない で

そのカラス達は逃げもしませんでした。

オラ チサン コロ
 ora cis=an kor
 こんど 泣き(私) ながら

私は泣きながら

45 マク イキアン クス
 mak iki=an kusu
 どう する(私) ので

どうしよう

オヌマン ヘマンタ アエ クス セコロ
 onuman hemanta a=e kusu sekor
 晩 何 (私)食べよう と

夜に何を食べようと

ヤイヌアン ワ チサン コロ アナン ヒ クス
 yaynu=an wa cis=an kor an=an hi kusu
 思う(私) して 泣き(私) ながら いる(私) もの だから

思って泣きながら

オラ トウナシノ ラナン ヒネ
 ora tunasno ran=an hine
 こんど 早くに 下る(私) して

急いで山を下りて

インカラアン アクス
 inkar=an akusu
 見る(私) したところ

見に行くと

50 アコロ ニペシ オピッタ アニンパ ヒネ
 a=kor nipes opitta a=ninpa hine
 (私)の シナ皮 みんな (私)ひきずる して

シナ皮をみんな引きずって

ラナン ヒネ インカラン アクス
 ran=an hine inkar=an akusu
 下る(私) して 見る(私) したところ

下りて行ってみると

ネア アコロ アエプ アチャリ カ ソモ キ。
 nea a=kor aep a=cari ka somo ki.
 その (私)の 食べ物 (私)散らかし も しない

その食べ物は散らかっていません。

ス カ アエプ カ ラムネ ヒ
su ka aep ka ramne hi
鍋 も 食べ物 も 丸のまま

鍋も食べ物もそのまま

ネノ オカ ヒ アナクネ
nenno oka hi anakne
そのように ある ことは

無事であるのは

55 オハインカラ アキ ヒ ネ クニ アラム ヒ クス
ohainkar a=ki hi ne kuni a=ramu hi kusu
まぼろしを見る (私)することだ と (私)思う ので

まぼろしを見たんだと思ったので

オラ イヨクヌヌレアン ネ ヤ オラ
ora iyokunnure=an ne ya ora
こんど 驚きあきれ(私)だ とか こんど

驚きました。

オロ タ レウシアン カ イシトマアン クス
oro ta rewsian ka isitoma=an kusu
そこ で 泊る(私) も 恐ろしい ので

そこに泊まるのも恐いので

オラ アコロ アエプ ネ ヤ ニペシ ネ ヤ
ora a=kor aep ne ya nipes ne ya
こんど (私)の 食べ物だ とか シナ皮だ とか

食べ物やシナ皮を

アニンパ ヒネ ネ ウシケ ワ
a=ninpa hine ne uske wa
(私)ひきずる して その 場所 から

ひきずってその場所から

60 カットウイマノ アラパアン ルウェ ネ アクス
kattuymano arpa=an ruwe ne akusu
離れて遠く 行く(私) こと だっ たところ

少し離れたところに行くと

オシンリッコメウケ チクニ ホラク ワ
osinritkomewke cikuni horak wa
根こそぎ 木 倒れ て

根こそぎ倒れた木

エハムトウラ カネ キ プ アニ クス
ehamtura kane ki p an _hi kusu
葉がついて も いる もの ある ので

葉がついたままの木があったので

オロ タ アペアリアン イネ
oro ta aperi=an _hine
そこ で 火を焚く(私) して

そこで火を焚いて

オロ タ レウシアン ヤクン
oro ta rewsian yakun
そこ に 泊る(私) ならば

泊まれば

65 ピリカ ノイネ アン ヒ クス
pirka noyne an hi kusu
良い ようで ある だ から

良いと思い

アペアリアン カ キ ヒネ
aperi=an ka ki hine
火を焚く(私) も し て

火を焚き

オラ スケアン ワ タネ イペアン カ キ。
 ora suke=an wa tane ipe=an ka ki.
 こんど 料理を作る(私)して もう 食事をする(私)も する

料理を作って食事をしました。

ラポッケ タネ シリホマラホマラ カ キ クス
 rapokke tane sirhomarhomar ka ki kusu
 そのうちに もう 陽が暮れる も する ので

そのうちにもう日が暮れて来たので

オラ トウナシノ イペオケレアン ヒネ
 ora tunasno ipeokere=an hine
 こんど 早くに 食事を終える して

急いで食事を終えて

70 オラ アペアリアン ルウェ… ネ…
 ora apear=an ruwe… ne…
 こんど 火を焚く(私) こと で

火にあたっていました。

アペ パラパラセ ヒ クス サマ タ
 ape parparse hi kusu sama ta
 火 燃える だ から そば に

火が燃えているそばで

ニペシ カプ… カプ アカラ コロ アナン アイネ
 nipes kap… kapu a=kar kor an=an ayne
 シナ 皮 その皮 (私)剥ぎ ながら (いる)私 うちに

シナ皮の処理をしていると

タネ シリクンネ ヒ オラ
 tane sirkunne hi ora
 もう 暗くなる とき こんど

あたりが暗くなって来ました。

ネア オハインカラアン ア ウシケ ウン
 nea ohainkar=an a uske un
 その まぼろしを見る(私) した 場所 を

あのまぼろしを見た場所を

75 ネウン アラム カ ソモ キ ノ
 neun a=ramu ka somo ki no
 どのように (私)思い も しない で

何気なく

インカラン ルウェ ネ アクス
 inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと だっ たところ

見ると

ネプ ネ ルウェ ネ ヤ
 nep ne ruwe ne ya
 何 な の だ か

何なのか

シウニン シク コロ
 siwnin sik kor
 青い 目 持つ

青い目をした

カムイ ネ クニ アラム プ
 kamuy ne kuni a=ramu p
 クマ だ と (私)思う もの

クマらしきものが

80 テウニン テウニン シリ
 tewnin tewnin siri
 光る 光る 様子

光っているのが

アヌカラ ヒ アナクネ
a=nukar hi anakne
(私)見る ことは

見えました。というのも

カムイ アナクネ シリクンネ コロ
kamuy anakne sirkunne kor
クマ は 暗くなる と

クマは暗くなると

シクヌミヒ シウニン ペ ネ
siknumihi siwnin pe ne
目の玉 青い もの に

目玉が青く

アヌカラ ペ ネ ヤク アイェ ア プ
a=nukar pe ne yak a=ye a p
(人)見る もの だ と (人)言っ た が

見えると聞いていたので

85 カムイ ネン カ イラマンテ クス
kamuy nen ka iramante kusu
クマ 何 か 狩りをする ために

クマが人を襲いに來たの

エキ ネ ナンコロ セコロ ヤイヌアン ワ
ek _hi ne nankor sekor yaynu=an wa
來た こと だ ろう と 思う(私) して

だろーと思いました。

オラ イシトマアン コロ アナン ヒネ
ora isitoma=an kor an=an hine
こんど 恐れる(私) ながら いる(私) して

恐ろしくて

オラ ニペシカプ アケプ…
ora nipeskap a=kep…
こんど シナ皮剥ぎ (私)剥ぐ

シナノキの

カプフ アカラ コロ アナン ラポッケ
kapuhu a=kar kor an=an rapokke
皮 (私)剥ぎ ながら いる(私) うちに

皮を処理しているうちに

90 タネ シリクンネ ヒ クス
tane sirkunne hi kusu
もう 暗くなる ので

もう暗くなったので

ネ カプ… ニペシ カプフ
ne kapu… nipes kapuhu
その 皮 シナ の皮

その皮を

ルイルイ アペ ニペク
ruyruy ape nipek
明るい 火 光

明々と火が

マクナタラ ワ アン ペ ネ クス
maknatara wa an pe ne kusu
輝い て いる もの だ から

燃えている

ネア カプフ ネ ルイルイ アペ カシ ウン
nea kapuhu ne ruyruy ape kasi un
その 皮 その 明るい 火 の上 に

上に

- 95 アオスラ テク アクス
a=osura tek akusu
(私)投げる さっと したところ
さっと投げました。
- アペ シリウシコサヌ テク… ヒ クス
ape siruskosanu tek… hi kusu
火 ぱっと消える さっと だ から
火がぱっと消えると
- オラ イサム タ エカイニ イサム タ…
ora i=sam ta ekayni i=sam ta…
そして (私の)そば に 倒木 (私の)そば に
私のそばに倒木が
- エカイエ サマムニ イサム タ アン ヒ クス
ekaye samamni i=sam ta an hi kusu
折れた 倒木 (私の)そば に ある ので
あったので
- ネ サマムニ ウン イカ ワ アミ ア アミプ
ne samamni un ika wa a=mi a amip
その 倒木 の 上 から (私)着 た 着物
その倒木の上に私の着ていた着物を
- 100 ネ サマムニ カシ アカムレ テク ヒネ⁴
ne samamni kasi a=kamure tek hine
その 倒木 の上 (私)被せる さっと して
さっと被せました。
- オラ ナニ パシ カネ テレケ カネ
ora nani pas kane terke kane
こんど すぐに 走っ て 跳ね て
そして走って跳んで
- キラアン ヒネ サナン ア コロカ
kira=an hine san=an a korka
逃げる(私) して 下る(私) だった けれど
逃げて山を下りましたが
- アウニ ウン タ ヘノイエアン カ ソモ キ ノ⁶
a=uni un ta henoye=an ka somo ki no
(私)の家 に は 寄る(私) も しない で
私の家には寄らずに
- ナニ マチヤ オルン ヘネ
nani maciya or un hene
すぐに 町 の所 に でも
すぐ和人の町へ行こう
- 105 セコロ ヤイヌアン ワ
sekor yaynu=an wa
と 思う(私) して
と思いました。
- オラノ ペツ ペシ
orano pet pes
そして 川 を下る
川を下って
- イシカラ ペツ ホユプアン ヒネ サナン アイネ
iskar pet hoyupu=an hine san=an ayne
石狩 川 走る(私) して 下る(私) したあげく
石狩川を走って下って行き

4 自分がそこにいるように見せかける、クマの目をあざむくための行為。

5 クマが人のおいをたどって追いかけて来るという習性を知っていたのかどうかはわからないが、ひとりで家にいても襲われてしまっただろう。賢明な判断であったことが後に判明する。

タネ マチヤカランケアン ヒ
tane maciyakaranke=an hi
もう 町近くなる(私) こと

和人の町の近くに来ました。

オラノ ハウシクルカオツテアン コロ
orano hawsikurkaotte=an kor
そして 大声を出す(私) ながら

声をあげながら

110 サナン ルウェ ネ アクス
san=an ruwe ne akusu
下る(私) こと だっ たところ

下りて行ったところ

マチヤ トノ⁶
maciya tono
町 殿様

和人の町の旦那さんが

“マク ネ ハウエ ネ ヤ ネ ヤ”
“mak ne hawe ne ya ne ya”
どう だ 声 だ か だ か

「何の声だ何の声だ」

セコロ キマテクパ ヒネ
sekor kimatekpa hine
と 驚く して

と驚いて

イコウウェペケンヌパ ヒ クス
i=kouwepekennupa hi kusu
(私に)尋ねる だ から

私に尋ねたので

115 “タプネ カネ ニペシケパン クス
“tapne kane nipeskep=an kusu
このように シナ皮を剥ぐ(私) ために

「このようなわけでシナノキの皮剥ぎに

アラパアン ルウェ ネ アクス
arpa=an ruwe ne akusu
行く(私) こと だっ たところ

行ったところ

カムイ イライケ クス ヘ カムイ アヌカラ ヒ
kamuy i=rayke kusu he kamuy a=nukar hi
クマ (私を)殺す つもり か クマ (私)見る こと

私を殺しに来たらしいクマを見たのです。

シクヌミ テウニン テウニン シリ
siknumi tewnin tewnin siri
目の玉 光る 光る 様子

目の玉が光っているのを

アヌカラ ワ イシトマアン ワ
a=nukar wa isitoma=an wa
(私)見 て 恐ろしい(私) して

見て恐ろしくなり

120 キラアン ワ サナン ルウェ ネ ”
kira=an wa san=an ruwe ne”
逃げる(私) して 下る(私) こと だ

逃げて山を下りて来たのです」

6 日本語「殿」からの移入語。本当の殿様というわけではなく、和人の町に住む立派な身なりをした人をそう呼ぶことがある。この場合は、この娘が縄を売りに行っていた屋敷の主人と思われる。

セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ

と言うと

ネ カムイ トノ エアラキンネ
 ne kamuy tono earkinne
 その 立派な 殿様 本当に

その和人の立派な旦那さんは

イケムヌハウコカリ コロ
 i=kemnuhawkokari kor
 (私に)同情の声をあげ ながら

私に同情の声をあげて

オラ ナニ アシンカロ⁷ ウタラ エウン
 ora nani asinkaro utar eun
 こんど すぐ 家来 達 に

すぐ家来達に

125 “ テッポ⁸ コロパ ワ ネ カムイ
 “ teppo korpa wa ne kamuy
 鉄砲 を持つ て その クマ

「鉄砲を持ってそのクマを

コチョラウキパ ヤク ピリカ ピリカ ”
 kocorawkipa yak pirka pirka ”
 殺す と いい いい

殺しに行きなさい」

セコロ カムイ トノ ハウエア⁹ン ペ ネ クス
 sekor kamuy tono hawean pe ne kusu
 と 立派な 殿様 言う もの だ から

と言うので

ネ アシンカロ ウタラ
 ne asinkaro utar
 その 家来 達

家来達は

テッポ⁸ エヤイエトコイキパ ヒネ
 teppo eyayetokoykipa hine
 鉄砲 の準備を して

鉄砲の準備をしました。

130 オラ タネ シリペケレ エハンケ ヒ
 ora tane sirpeker ehanke hi
 こんど もう 明るくなる 近い とき

もう日の出が近いので

オラ インネ シサム ウタツ トウラノ
 ora inne sisam utar_ turano
 こんど 大勢の 和人 達 と一緒に

たくさんの和人達と一緒に

アラキアン ヒネ
 arki=an hine
 来る(私) して

戻りました。

アウニ タ エカン ルウェ ネ アクス
 a=uni ta ek=an ruwe ne akusu
 (私)の家 に 来る(私) こと だっ たところ

私の家に行くと

7 日本語「足軽」からの移入語。これも必ずしも武士ではなく「家の使用人」という意味で使われる。

8 日本語「鉄砲」からの移入語。

ネ カムイ ソンノ カ イオシ エク ワ
 ne kamuy sonno ka i=os ek wa
 その クマ 本当に (私の)後 来 て

クマは本当に私の後を追って

135 ネ アアン ノイネ
 ne aan noyne
 だった ようで

来たのでしょうか

アウニヒ タ アフン ヒネ
 a=unihi ta ahun hine
 (私の)家 に 入る して

私の家に入って

アセチヒ カ チャッチャリ。
 a=secihi ka catcari.
 (私の)寝床 も 散らかす

寝床を散らかしていました。

シントコ ネ ヤッカ パッチ ネ ヤッカ
 sintoko ne yakka patci ne yakka
 行器 で も 鉢 で も

行器であっても鉢であっても

オピッタ ウコ… コロトト…
 opitta uko… korototo…
 みんな 転がる

みんな転がって

140 トマ ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ
 toma ne yakka nep ne yakka
 ゴザ で も 何 で も

ゴザであっても何であっても

ヤシパ ヤシパ ヘ… オカ タ サナン ワ
 yaspa yaspa he... oka ta san=an wa
 裂く 裂く か その後 で 下る(私) して

裂かれていたのです。

オラノ チサン コロ アウヌフ アオナハ
 orano cis=an kor a=unuhu a=onaha
 そして 泣き(私) ながら (私の)母 (私の)父

泣きながら母や父が

アケムヌ…
 a=kemnu…
 (私)かわいそう

かわいそうで…

アウヌフ アオナハ アエランポキウエン コロ
 a=unuhu a=onaha a=erampokiwen kor
 (私の)母 (私の)父 (私)をかわいそうに思い ながら

母や父がかわいそうで

145 チサン コロ アナン ルウエ ネ アクス
 cis=an kor an=an ruwe ne akusu
 泣き(私) ながら いる(私) こと だっ たところ

泣いていると

ネ カムイ トノ エネ ハウエアニ。
 ne kamuy tonone ene hawean _hi.
 その 立派な 殿様 このように言った

和人の殿様がこう言いました。

“テ ワノ アナクネ キム タ
 “te wano anakne kim ta
 これから は 山 に

「これからは山で

ソモ エアン ヤッカ ピリカ。
somo e=an yakka pirka.
しない (お前)いる と いい

暮らさなくてもいいよ。

マチヤ オツ タ テ ワノ エアン ワ
maciya or_ ta te wano e=an wa
町 の所 で これ から (お前)い て

和人の町でこれからは暮らして

150 エイカスイ コロ エアン ヤッカ ピリカ ナ。
e=ikasuy kor e=an yakka pirka na.
(お前)手伝い ながら (お前)いる と いい よ

手伝ってくれたらいいのだ。

ハラキカエカ アナクネ テワノ
harkikaeka anakne tewano
縄作り は これから

これからは縄作りを

ソモ エキ ヤッカ ピリカ ナ”
somo e=ki yakka pirka na”
しない (お前)する と いい よ

しなくていいよ」

セコロ カムイ トノ イェ ワ
sekor kamuy tonoye wa
と 立派な 殿様 言っ て

と和人の殿様が言いました。

オラ マチヤ オツ タ サナン ワ
ora maciya or_ ta san=an wa
こんど 町 の所 に 下る(私) して

和人の町で

155 マチヤ オツ タ アナン ヒ オラノ アナクネ
maciya or_ ta an=an hi orano anakne
町 の所 で 暮らす(私) ことそれから は

暮らすようになってからは

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ。
nep ka a=esirkirap ka somoki.
何 も (私)苦労する も しない

何も困ることはありませんでした。

アミプ ネ ヤッカ ピリカ アミプ
amip ne yakka pirka amip
着物 で も 良い 着物

着物もきれいな着物を

アミ ワ アナン。
a=mi wa an=an.
(私)着 て 暮らす(私)

着ました。

ピリカ クツ ネ ヤッカ アイコレ プ ネ クス
pirka kut ne yakka a=i=kore p ne kusu
きれいな 帯 も (人が私に)くれる もの だ から

きれいな帯もくれたので

160 ピリカ クツ アエクツコロ カネ キ ワ
pirka kut a=ekutkor kane ki wa
きれいな 帯 (私)しめ て い て

その帯をしめて

トノ オツ タ アナン ワ
tono or_ ta an=an wa
殿様 の所 で 暮らす(私) して

和人の旦那さんのところで

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap ka somo ki no
 何 (私)苦勞する も しない で

何も困ることなく

アナン アイネ
 an=an ayne
 暮らす(私) うちに

暮らしました。

ラポッケ オラ トノ エネ ハウエアニ。
 rapokke ora tono ene hawean_hi.
 そのうちに こんど 殿様 このように言った

そのうちに和人の旦那さんが

165 ピリカ シサム オッカイポ ホク
 pirka sisam okkaypo hoku
 良い 和人 男 の夫

立派な和人の若者と

イコレ クナク イェ ヒネ
 i=kore kunak ye hine
 (私に)くれる と 言っ て

結婚するようにと言いました。

オラ ネ シサム ホク アコロ ワ
 ora ne sisam hoku a=kor wa
 こんど その 和人 の夫 (私)持つ て

和人の夫を持ち

シンナ アナン ワ⁹
 sinna an=an wa
 別に 暮らす(私) して

元のお屋敷とは別に所帯を持ち

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=esirkirap ka somo ki no
 何 も (私)苦勞する も しない で

何も苦勞することなく

170 アナナイネ ラポッケ ポコラン。
 an=an ayne rapokke pokor=an.
 暮らす(私) し続ける うちに 子供ができる(私)

暮らしているうちに子どもができました。

オッカヨ ポ マツカチ ネ ヤ
 okkayo po matkaci ne ya
 男 子 女の子 だ とか

男の子ども女の子も

ポ カ ポロンノ アコロ ワ
 po ka poronno a=kor wa
 子 も たくさん (私)持つ て

たくさんできて

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ アナナイネ
 nep a=esirkirap ka somo ki no an=an ayne
 何 (私)苦勞する も しない で 暮らす(私) うちに

何を苦勞することもなく暮らして

ラポッケ アポウタリ カ ルプネ シリ カ
 rapokke a=poutari ka rupne siri ka
 そのうちに (私の)子達 も 大きくなる 様子 も

子ども達が大きくなる様子を

9 主人公の身元引受人となった tono の屋敷とは別に所帯を持つという意味だろう。

175 アヌカラ カ キ ヒネ オラ
a=nukar ka ki hine ora
(私)見る も し て こんど

見て

オンネアン シンネ クス
onne=an sinne kusu
年を取る(私) 様子だ から

年を取りました。

アポウタリ ルヅネパ ヤッカ イテキ…
a=poutari rupnepa yakka iteki…
(私の子達 大きくなって も 決して

子供達に大きくなっても決して…

アイヌ サニ エチネ プ ネ ナ。
aynu sani eci=ne p ne na.
アイヌ の子孫 (お前達)な の だ よ

おまえ達はアイヌの子孫なのだよ。

シトウム… ヌカラっていったべか。
situm... nukar

っていったべか。

180 シトウムヌカレ⁽¹⁰⁾ ソモ キ ノ
situmnukare somo ki no
いばる しない で

決していばることなく

ピリカノ シサム ウタラ コヤヨペカレ⁽¹¹⁾
pirkano sisam utar koyayopekare
よく 和人 達 に受け入れられる

和人達に受け入れられ

ヤク ピリカ ナ セコロ
yak pirka na sekor
と いい よ と

なさいと

アポ ウタリ アカシパオツテ コロ
a=po utari a=kaspaotte kor
(私の子達 (私)言い聞かせ ながら

子ども達に言い聞かせて

オンネアン ペ ネ アクス
onne=an pe ne akusu
死ぬ(私) もの だっ たところ

死んで行くので

185 アイエ セコロ
a=ye sekor
(私)言う と

お話ししますと

シネ カツケマツ イソイタク セコロ。
sine katkemat isoytak sekor.
ある 奥さん 物語る と

ひとりの女性が物語りましたとさ。

10 前掲書ではシトウムカネレとなっている。シトウムカネレ situmkanere でしゃばる [田]

11 コヤヨペカレ ko-yay-o-peka-re 《に・自分・を・受け止める・させる》

第6話 散文の物語

嘘の談判 盗みの談判

収 録 日：1997 年 08 月 27 日

資料番号：35236A

添付 CD：6-1（17 分 14 秒）

第6話 散文の物語「嘘の談判・盗みの談判」¹⁾

(ウパッシという名の男が語る)

アレヘ ウパッシ セコロ アレヘ アン アイヌ
 a=rehe upassi sekor a=rehe an aynu
 (私の)名 ウパッシ と (私の)名 ある 人

私はウパッシという

アネ ヒネ アナン ヒケ
 a=ne hine an=an hike
 (私)で して いる(私) だが

ものです。

オラノ オヤコヤク コタン オツ タ
 orano oyak oyak kotan or_ ta
 そして いろた いろ 村 の所 に

いろいろな村に

アラパアン ワ
 arpa=an wa
 行く(私) して

行って

- 5 スンケ チャランケ イッカ チャランケ
 sunke caranke ikka caranke
 嘘の 談判 盗みの 談判

『嘘の談判・盗みの談判』を

アキ ワ コタンウェンテアン。
 a=ki wa kotanwente=an.
 (私)し て 村を荒らす(私)

して村を荒らし

アイヌ シリキラプテ アキ コロ
 aynu sirkirapte a=ki kor
 人間 苦しめる (私)し ながら

人々を困らせて

アナン ペ アネ ヒネ…
 an=an pe a=ne hine…
 いる(私) もの (私)であって

いました。

コロ アナン ペ ネ ア プ
 kor an=an pe ne a p
 ながら 暮らす(私) もの だった が

- 10 イヌアン ルウェ ネ アクス
 inu=an ruwe ne akusu
 聞く(私) こと だっ たところ

噂に聞くところによると

1 調査年月日は1997年8月27日。アイヌ民族博物館で後日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ文学講座」の事前調査として上田トシ氏宅で行われた。調査者は千葉大学中川裕氏。同席者は村木美幸。この話について上田トシ氏は「西島てる氏が川上まつ子氏に語っているカセットテープを聞いて覚えた」とコメントしている。このカセットテープについての詳細は不明。またこの話は財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構編2004『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』平石清隆著「沙流地方のウエペケレ〜上田としの伝承〜6.ウパッシのウエペケレ」(pp665-679)として別録音の活字化資料が公開されている。またアイヌ民族博物館音声資料35237Aに同話の別録音がある。

イシカラ エトコ タ シノ ニシパ オカ ヒネ
iskar etoko ta sino nispa oka hine
石狩川 の上流 に ある 長者 い て

石狩川の上流にひとりの長者がいて

パクノ ニシパ イサム ニシパ ネ
pakno nispa isam nispa ne
それほどの 長者 いない 長者 である

並ぶ者がなくらいの長者だ

セコロ アン ハワシ…
sekor an hawas…
という 話

と

パハウ アヌ コロ アナン ヒ クス
pahaw a=nu kor an=an hi kusu
噂 (私)聞きながら いる(私) だから

聞きました。

15 ネイ タ カ アラパアン ワ… クナク
ney ta ka arpa=an wa… kunak
いつか 行く(私) して と

いつか行ってやろうと

アラム コロ アナン イケ カ
a=ramu kor an=an _hike ka
(私)思い ながら いる(私) しても

思っていました

アラパアン カ ソモ キ ノ アナン
arpa=an ka somo ki no an=an
行く(私) も しない で いる(私)

行かないでいました。

ラポッケ ネ オンネ ニシパ ウタラ
rapokke ne onne nispa utar
そのうちに その 老 紳士 達

そのうちにその家の年寄りが

イサム ヤク アイェ ワ オラ
isam yak a=ye wa ora
死んだ と (人)言っ て こんど

死んだということで

20 トウ ポ オカケ タ アン ヤク アイェ ヒ
tu po okake ta an yak a=ye hi
2 子 後 で 暮らす と (人)言う こと

ふたりの息子が遺族だと

アヌ ワ オラノ イモテキレアン
a=nu wa orano imotekire=an
(私)聞いて そして 幸いに思う(私)

聞いてそれは幸いと思いました。

ネイ タ カ アラパアン ワ
ney ta ka arpa=an wa
いつか 行く(私) して

私が行っても

オンネ ウタラ イサム ワ ネ ヤクン
onne utar isam wa ne yakun
老人 達 いたく て だったら

その年寄り達がいらないなら

ポヘネ スンケ チャランケ イッカ チャランケ
pohene sunke caranke ikka caranke
なおさら 嘘の 談判 盗みの 談判

なおさら『嘘の談判・盗みの談判』を

- 25 アキ フミ ピリカ セコロ アン ペ
a=ki humi pirka sekor an pe
(私)する感じ いい と ある もの
するのにいいと
- ヤイヌアン コロ アナン ペ ネ ア イ クス
yaynu=an kor an=an pe ne a _hi kusu
思い(私) ながら いる(私) もの だった だから
思っていました。
- シネアンタ アラパアン エトコ アオイキ ヒネ
sineanta arpa=an etoko a=oyki hine
ある時 行く(私) 準備を (私)し て
ある時行く準備をして
- オラノ イシカツ トウラシ ラリウアン ヒネ
orano iskar_ turasi rariw=an hine
それから 石狩川 を上流へ 舟を漕ぐ(私) して
石狩川をさかのぼって舟を漕いで
- アラパアン ルウエ ネ アクス ペツ…
arpa=an ruwe ne akusu pet…
行く(私) こと だっ たところ 川
行ったところ
- 30 アラパアン ペツ ホントム タ
arpa=an pet hontom ta
行く(私) 川 の途中 で
川を進んで行く道すがら
- ピリカ オケレ ポン メノコ
pirka okere pon menoko
それはそれは美しい 若い 女
とてもきれいな若い女性が
- ペツ サム タ サン ヒネ
pet sam ta san hine
川 辺 に 出 て
川辺で
- イフライエ コロ アン ヒネ
ihuraye kor an hine
洗濯し ながら い て
洗濯をしていました。
- イヌカラ アクス オラ
i=nukar akusu ora
(私を)見 たところ こんど
私を見ると
- 35 “ホ… スイ ヒナクン ウパッシ
“ ho... suy hinak un upassi
ほら また どこか へ ウパッシ
「ほら、またどこかへウパッシが
- スンケ チャランケ イッカ チャランケ
sunke caranke ikka caranke
嘘の 談判 盗みの 談判
『嘘の談判・盗みの談判』を
- キ クス アラパ シリ アン。
ki kusu arpa siri an.
し に 行く 様子 ある
しに行くみたいよ。
- ホシピ コロ ネプ カ コロ ワ ホシピ
hosipi kor nep ka kor wa hosipi
帰る と 何か を持つ て 帰る
何かを奪って帰ろう

クナク ラム ワ アラパ シリ ヘ アン”
 kunak ramu wa arpa siri he an”
 と 思っ て 行く 様子 か ある

とても思って行くのかしら」

40 セコロ イイエ ワ
 sekor i=ye wa
 と (私に)言っ て

と言うので

エアラキンネ アコイルシカ。
 earkinne a=koiruska.
 本当に (私)腹が立つ

とても腹が立ちました。

ネン カ アレヘ アナクネ イェ カ
 nen ka a=rehe anakne ye ka
 誰 も (私の)名 は 言う も

誰も私の名をいう

ウタラ カ イサム ノ
 utar ka isam no
 人達 も いない で

者などいないのに

ネウン アイヌ ウタラ ネ ヤッカ
 neun aynu utar ne yakka
 どんな 人 達 で も

どんな人であっても

45 イエオリパク ワ アレヘ アナクネ
 i=eoripak wa a=rehe anakne
 (私に)遠慮し て (私の)名 は

私に遠慮して名前を

イエ ウタラ カ イサム ペ
 ye utar ka isam pe
 言う 人達 も いない のに

言うものなどおらず

メノコ ネ イサム カネ²
 menoko ne isam kane
 女 に いない て

まして女性はいないというのに

アレヘ レコ シリ アコヌコシネ ワ
 a=rehe reko siri a=konukosne wa
 (私の)名 呼ぶ 様子 (私)腹を立て て

私の名を呼ぶのに腹を立て

イルシカ ケウトウム アコロ コロ
 iruska kewtum a=kor kor
 怒る 気持ち (私)持ち ながら

怒りの気持ちを抱いて

50 オラ ナニ ラリウアン ヒネ
 ora nani rariw=an hine
 こんど すぐに 舟を漕ぐ(私) して

すぐ舟をこいで

イシカラ エトコ タ アラパアン イネ
 iskar etoko ta arpa=an _hine
 石狩川 の上流 に 行く(私) して

石狩川の上流に向かって行きました。

2 この言い方は他に未見。前掲書では「女のくせに」という上田トシ氏による説明があったとのこと。

チェプ アナクネ ポロンノ
cep anakne poronno
魚 は たくさん

魚がたくさん

イシカツ タ アナクネ オカイ ペ
iskar_ ta anakne okay pe
石狩川 に は いる が

石狩川にはいるので

ネ トウ チェプ レ チェプ アライケ ヒネ
ne tu cep re cep a=rayke hine
その 2 魚 3 魚 (私)とっ て

そのうちの2、3匹を捕って

55 チプ オロ アオマレ カネ ヒネ アラパアン ヒネ
cip or a=omare kane hine arpa=an hine
舟 に (私)入れた ままで そして 行く(私) して

舟に積んで行きました。

ネ コタン オッ タ アラパアン ヒ
ne kotan or_ ta arpa=an hi
その 村 の所 に 行く(私) こと

その村に着いて

オラ ペタル オッ タ
ora petaru or_ ta
こんど 水くみ場 の所 に

水くみ場に

アコッ チプ アヤンケ ヒネ オラ
a=kor_ cip a=yanke hine ora
(私)の 舟 (私)上げ て こんど

私の舟をあげて

アシリコテ ヒネ
a=sirkote hine
(私)つない で

つないで

60 オラ ネア チェプ アアニ カネ ヒネ
ora nea cep a=ani kane hine
こんど その 魚 (私)持つ ままで そして

魚を持って

コタントウラシアン。
kotanturasi=an.
村に沿って上手に行く(私)

村に沿って上手の方へ行きました。

インネ コタン ポロ コタン ネ ルウェ
inne kotan poro kotan ne ruwe
大勢いる 村 大きな 村 である こと

大きな村であることに

アオクンヌレ コロ
a=okunnure kor
(私)驚き ながら

驚きながら

コタン トウラシ アラパアン ヒネ
kotan turasi arpa=an hine
村 沿いに上手に 行く(私) して

村に沿って上手の方に向かいしました。

65 コタン ノシキ タ ネ… ニシパ ネ クニ
kotan noski ta ne… nispa ne kuni
村 の真ん中 に その 長者 だ と

村の真ん中にあるのが村長の家だと

アラム プ ネ クス コタン…
a=ramu p ne kusu kotan…
(私)思う もの だ から 村

思ったので

オロ タ コタン ノシキ タ アラパアン ヒネ
oro ta kotan noski ta arpa=an hine
そこ で 村 の真ん中 に 行く(私) して

その村の真ん中に行って

インカラアン ルウェ ネ アネ…
inkar=an ruwe ne a=ne…
見る(私) こと である (私)で

見ると

チセ ソイ ネ ヤッカ シリマクナタラ ノ
cise soy ne yakka sirmaknatara no
家 外 で も 見晴らしがよく て

家の外であってもすっきりと

70 チセ ソイ ピリカノ アチャシヌレ ルウェ カ
cise soy pirkano a=casnure ruwe ka
家 外 きれいに (人)掃除する こと も

きれいに掃除してあることに

アオクンヌレ。
a=okunnure.
(私)驚く

驚きました。

ユク… サパ… カムイ サパ ニタイ
yuk... sapa... kamuy sapa nitay
シカ 頭 クマ 頭 林

クマや

ユク サパ ウン ニタイ
yuk sapa un nitay
シカ 頭 の 林

シカの頭骨を祭った木幣が

カムイ サパ ウン ニタイ アン ルウェ³
kamuy sapa un nitay an ruwe
クマ 頭 の 林 ある こと

林立しているのに

75 アオクンヌレ コロ オラ
a=okunnure kor ora
(私)驚き ながら こんど

驚きました。

ソイ タ シムシシカアン⁴ ルウェ ネ アクス
soy ta simusiska=an ruwe ne akusu
外 で 咳払いする(私) こと だっ たところ

外で咳払いをすると

ピリカ ワ オケレ ポン メノコ ソイエネ ヒネ
pirka wa okere pon menoko soyene hine
それはそれは美しい 若い 女 外に出る して

とてもきれいな娘が外に出て来て

イアフンケ クス イェ イ クス
i=ahunke kusu ye _hi kusu
(私を)入れる と 言う ので

私に家に入るようにと言うので

3 立派な長者は狩りをする能力が高いため、とったクマやシカなどの獲物を神の国へ送り返す儀式を行う回数が村の誰よりも多いものである。その後、獲物の頭骨は家の外にある祭壇に祭られる。他村のウパッシが見てその多さに驚いたというのだから、抜きん出て立派な長者の家であったということがわかる。

4 他人の家を訪問するときは、咳払いをするなどわざと音を立てて人が来たことをその家の人に知らせる。

アフナン。
ahun=an.
入る(私)

入りました。

80 オリパカン ヒネ アフナン ルウェ ネ ア プ
oripak=an hine ahun=an ruwe ne a p
遠慮する(私) して 入る(私) こと だった が

遠慮しながら家に入ると

ネア ポン メノコ カ
nea pon menoko ka
その 若い 女 も

その若い娘は

エアラキンネ イエオリパク クス
earkinne i=eoripak kusu
本当に (私に)遠慮をする ので

とても私に遠慮するので

アコオンカミ カ キ ルウェ ネ アクス
a=koonkami ka ki ruwe ne akusu
(私)拝礼する も する こと だっ たところ

私は拝礼をしました。

オラ スケ エトコオイキ コロ アン ラボッケ
ora suke etoko'oyki kor an rapokke
こんど 料理 準備し て いる 間に

そして食事の準備をしている間に

85 イシクレイエパレアン ルウェ ネ アイネ
isikreyepare=an ruwe ne ayne
目を這わせる(私) こと である うちに

目を這わせるように見回すと

ソンノ ニシパ ネ ルウェ
sonno nispa ne ruwe
本当に 長者 である こと

本当に立派な長者の家であることには

アオクンヌレ。
a=okunnure.
(私)驚く

驚きました。

ウサ シントコ⁵ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
usa sintoko ne yakka nep ne yakka
いろいろ行器 で も 何 で も

行器であっても何であっても

オロ ミケミケ カネ クルコツ カネ オカ ルウェ
oro mikemike kane kurkot_ kane oka ruwe
そこ ピカピカ に 輝い て いる 様子

ピカピカに輝いている

90 ウサ シントコ ネ ヤツカ キ ルウェ
usa sintoko ne yakka ki ruwe
色々 行器 で も する こと

ことに

アオクンヌレ コロ
a=okunnure kor
(私)驚き ながら

驚きました。

5 和人文化から移入された漆塗りの蓋つき容器。行器(ほかい)と訳される。宝物として宝壇に置かれていておもに儀式の際に使われる。こうした漆器の多さがその家のステータスとなる。

アペエトク タ アアン ヒネ アナン ラポッケ
apeetok ta a=an hine an=an rapokke
横座 に 座る(私) して いる(私) 間に

横座に座っていると

イワクタラ イワクパ ルウェ ネ ノイネ
iwak utar iwakpa ruwe ne noyne
帰る 人達 帰る こと の ようで

人が帰って来たようで

ネア ポン メノコ ソイネ アクス オラ
nea pon menoko soyne akusu ora
その 若い 女 外に出た ところ こんど

あの若い娘が外に出て

95 アナニ イェ ワ コトム アン ア プ
an=an _hi ye wa kotom an a p
いる(私) こと 言っ た ようで あっ た が

私がいることを告げたようでした。

オラ ネ イワクタラ
ora ne iwak utar
こんど その 帰る 人達

そして帰って来た人達は

アフプ ワ アラキパ ヤッカ
ahup wa arkipa yakka
入っ て 来て も

ソヨシピタツパ カ ソモ キ ノ⁶
soyosipitappa ka somo ki no
外で身支度を解く も しない で

外で身支度を解くこともなく

アフツパ ヒネ
ahuppa hine
入っ て

入って来て

100 トンチカマニ カ タ アシ トウシテツカパ⁷ ワ
toncikamani ka ta as tustekkapa wa
敷居 の上に 立ち ながめ て

敷居の上に仁王立ちになり

イシケライケパ コロ オカ アイネ
i=sikeraykepa kor oka ayne
(私を)睨みつけ ながら い たあげく

私を睨みつけていたあげく

オラ イユプネクル⁸ オシソウン ワ
ora iyupnekur osisoun wa
こんど 兄である人 右座 に

兄である人は右座に

チョアシロツケ コロ ア。
coasirotke kor a.
ドスンとし ながら 座る

ドスンと座りました。

ウトウルケ ウン
uturke un
下座 に

その下座の方に

6 山獺から帰って来たときは、外仕事のために身につけていたものを外で脱いでから家に入るのが通例である。この場合のようにそれをせずに入って来たというのは、この後に起こる状況を予測してのことだろう。

7 tustek(ka) ながめる [久 927]、ト[°]シテク tus-tek 金しばり [萱]

8 イユクネクルと聞こえるが、意味するところはイユプネクル iyupnekur「兄である人」。以下も同じ。

105 イアクネクル ウネノ チョアシロツケ ヒネ
iaknekur uneno coasirotke hine
弟である人 同じ ドスンと座る して

弟も同じようにドスンと座り

モノ アパ ヒネ オカ ヒ クス
mono apa hine oka hi kusu
座っ て いる だ から

ました。

アエランカラブ ヒケ カ
a=erankarap hike ka
(私)挨拶する して も

私が挨拶の拝礼をしても

ピリカノ イエランカラッパ カ ソモ キ ノ
pirkano i=erankarappa ka somo ki no
よく (私に)挨拶する も しない で

きちんと返礼することもせず

ウェンノ ウェンノ⁹ イエランカラッパ ヒ
wenno wenno i=erankarappa hi
軽く 軽く (私に)挨拶する こと

雑に挨拶の拝礼を返しました。

110 オラ マカナク アイェ ワ
ora makanak a=ye wa
こんど どのように (私)言う して

そして私が何を言って

アコチャランケ ヤク ピリカ セコロ アン ペ
a=kocaranke yak pirka sekor an pe
(私)になんくせをつける と いい と ある もの

なんくせをつけたらいいかと

ヤイヌアン コロ
yaynu=an kor
思う(私) ながら

思っていると

オラ ネア ポン メノコ
ora nea pon menoko
こんど あの 若い 女

あの若い娘が

スケ コロ アン ラポッケ
suke kor an rapokke
料理し ながら いる 間に

料理をしている間には

115 オラ イヘコテ イタクパ カ ソモ キ コロカ
ora i=hekote itakpa ka somo ki korka
こんど (私)に 話す も しない けれど

男達は私に話しかけることもしません。

オラ アミ ワ オカイ ペ… アリシパリシパ
ora a=mi wa okay pe… a=risparispa
こんど (私)着 て いる もの (私)むしる

私は着ているものをむしって

ネウン カ ヤシケ ウシケ ヘネ アン ヤクン
neun ka yaske uske hene an yakun
どこ か 裂ける 所 でも ある ならば

どこか破れたところでもあれば

9 ゆっくりとした動作で丁重に行うのが本来の挨拶であるが、それを速い動きで雑に行うというのは相手を良く思話わない、軽く見ていることを示している。

アリシパリシパ コロ アナン ラポク
a=risparispa kor an=an rapok
(私)むしり ながら いる(私) 間に

むしって

シリポク ネイ ワ カ アヤサ エアシカイ
sirpok ney wa ka a=yasa easkay
糸くず どこ から も (私)むしる ができる

糸くずをどこからかむしろ

120 クニ ペコロ ヤイヌアン ワ
kuni pekor yaynu=an wa
と のように 思う(私) して

とたくらんで

オラノ アミ ワ オカイ ペ
orano a=mi wa okay pe
そして (私)着 て いる もの

着物を

アリシパリシパ ヒネ シリポク アカラ ヒネ
a=risparispa hine sirpok a=kar hine
(私)むしっ て 糸くず (私)作っ て

むしって糸くずを作り

ネ アアニ カネ ヒネ アナン ア プ…
ne a=ani kane hine an=an a p…
それ (私)持つ も して いる(私) した が

それを持っていました。

ラポッケ ネア ポン メノコ
rapokke nea pon menoko
そのうちに その 若い 女

そのうちにその若い娘は

125 スケ オケレ ヒネ
suke okere hine
料理 終え て

料理を終えて

ユプタリ コイプニ ヒネ ネ… オラ
yup utari koypuni hine ne… ora
兄 達 に出し て その こんど

兄達に食事を出して

イコイプニ ヒ クス
i=koypuni hi kusu
(私に)出す だ から

私にも出してくれました。

ネア シリポク ネア イタンキ オロ
nea sirpok nea itanki oro
その 糸くず その 椀 に

私は糸くずを椀の中に

アオマレ ヒネ
a=omare hine
(私)入れ て

入れて

130 パスイ アニ アウコポイポイエ ペコロ
pasuy ani a=ukopoypoye pekor
箸 で (私)混ぜる ように

箸で混ぜるようにして

イキアン コロ アナン ラポッケ
iki=an kor an=an rapokke
する(私) ながら いる(私) そのうちに

いました。

ネ イユブネ ウタラ イペパ コロ
 ne iyupne utar ipepa kor
 その 兄である 人達 食べ ながら

兄達が食事をして

オカ ヒ クス
 oka hi kusu
 いる だから

いるので

オラ ネ アコロ イタンキ アポイパポイパ
 ora ne a=kor itanki a=poypapoypa
 こんど その(私)の 椀 (私)混ぜる

私は椀をかき混ぜる

135 ペコロ イキアン コロ
 pekor iki=an kor
 ように する(私) しながら

ようなしぐさをしながら

ネア シリポク アコロ イタンキ オロ
 nea sirpok a=kor itanki oro
 その 糸くず (私)の 椀 に

糸くずを私の椀に

アオマレ ワ アアヌ プ ネ クス
 a=omare wa a=anu p ne kusu
 (私)入れ て (私)置く ものだ から

入れました。

オラ パスイ アニ
 ora pasuy ani
 こんど 箸 で

そして箸で

ネア シリポク アタララ コロ¹⁰
 nea sirpok a=tarara kor
 その 糸くず (私)持ち上げ ながら

その糸くずを持ち上げて

140 … コロ オラ…
 … kor ora…
 ながら こんど

“ヒナク タ プリ ネ ヒネ
 “ hinak ta puri ne hine
 どこ の 風習 で して

「どこの風習で

アコロ イタンキ オツ タ
 a=kor itanki or_ ta
 (私)の 椀 の所 に

私の椀に

シリポク オマ ワ アン”
 sirpok oma wa an”
 糸くず 入れ て ある

糸くずが入っているのだ」

セコロ ハウエアナン。
 sekor hawean=an.
 と 言う(私)

と言いました。

10 現在でも飲食店で「虫が入っていた」のようにいちゃもんをつける迷惑行為があるが、これも同じように金品を受け取ることが目的のいちゃもん、なんくせの類である。

145 “ネイ タ アラパアン ワ イペアン ヤッカ
 “ney ta arpa=an wa ipe=an yakka
 どこ に 行く(私) して 食事する(私) しても

「どこに行って食事をしても

イタンキ オツ タ アナクネ
 itanki or_ ta anakne
 椀 の所 に は

椀に

シリポク アナクネ オマ ワ イペアン カ
 sirpok anakne oma wa ipe=an ka
 糸くず が 入っ て 食べる(私) も

糸くずが入っていると言うのは

エラミシカリ プ
 eramiskari p
 聞いたことがない が

聞いたことがない。

エネ アン ニシパ オツ タ マク ネ ヒネ
 ene an nispa or_ ta mak ne hine
 このように ある 長者 に どう で して

あなたのところでは一体どうして

150 アコロ イタンキ オツ タ シリポク オマ ワ
 a=kor itanki or_ ta sirpok oma wa
 (私)の 椀 の所 に 糸くず 入れ て

椀に糸くずが入って

アン ルウェ アン”
 an ruwe an”
 ある こと ある

いるのだろうか」

セコロ ハウエアナン ヤッカ
 sekor hawean=an yakka
 と 言う(私) しても

と言っても

ソモ ヌ アペコロ オカ コロ
 somo nu apekor oka kor
 聞かない かのよう に い ながら

聞こえないふりをしていて

ネ イユブネ ウタラ
 ne iyupne utar
 その 兄である 人達

その男達は

155 イペパ コロ オカ ヒ クス
 ipepa kor oka hi kusu
 食べ ながら いる だ から

食事をしていましたので

ルイノ ネ シリポク オマ ヘ
 ruyno ne sirpok oma he
 ひどく その 糸くず 入れる か

もっと糸くずを入れて

パスイ アニ アタララ ヤッカ
 pasuy ani a=tarara yakka
 箸 で (私)持ち上げ ても

箸で持ち上げても

ソモ ヌ アペコロ オカ。
 somo nu apekor oka.
 聞かないかのよう に いる

聞かないかのようでした。

ソモ ヌカラ ペコロ オカ コロ
somo nukar pekor oka kor
見ない かのうようにい ながら

私を見ないようにしながら

160 イペパ コロ オカ ア プ セコロ
ipepa kor oka a p sekor
食事をし ながら い た 途端に

食事をしていたのですが、すぐに

ネア イユプネクル マツコサヌ ヒネ
nea iyupnekur makkosanu hine
その 兄である人 ぱっと して

その男達は急に飛びかかって来て

アサパウシペ テツコノイエ ヒネ
a=sapausepe tekkonoye hine
(私の)髪の手でねじっ て

私の頭の毛をねじりあげ

エソイネ イニンパニンパ ヒネ
esoyne i=ninpaninpa hine
外に (私を)ひきずっ て

外にひきずって行きました。

“ウパッシ ウェンクル ウェン アイヌ サニ。
“upassi wenkur wen aynu sani.
ウパッシ 貧乏人 悪い 人 の子孫

「ウパッシ。この悪い人間の子孫め。

165 ウェンクル サニ エコロ ウェン プリ
wenkur sani e=kor wen puri
貧乏人 の子孫 (お前)の 悪い ふるまい

貧乏人の子孫であるおまえの悪いおこないを

アエラミシカリ コロ アナン ルウェ ネ ヤ
a=eramiskari kor an=an ruwe ne ya
(私)知らない で いる(私) こと だ か

知らないとでも

エエラミシカリ ルウェ ネ ヤ
e=eramiskari ruwe ne ya
(お前)わからない こと だ か

思ったか。

スンケ チャランケ イツカ チャランケ
sunke caranke ikka caranke
嘘の 談判 盗みの 談判

おまえは『嘘の談判・盗みの談判』を

エキ コロ コタン ウェンテ。
e=ki kor kotan wente.
(お前)しながら 村 を荒らす

して村を荒らしていた。

170 アイヌ シリキラプテ エキ コロ アン シリ
aynu sirkirapte e=ki kor an siri
人 困らせる (お前)し ながら いる 様子

人を困らせているのを

アエラミシカリ ルウェ ネ ヤ”
a=eramiskari ruwe ne ya”
(私)知らない こと だ か

知らないとでも思ったか」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言って

イトイコキツキク ヒネ アフン アクス
 i=toykokikkik hine ahun akusu
 (私を)ひどく殴っ て 入っ たところ

私をひどく殴りつけ帰って行きました。

スイ イアクネクル
 suy iaknekur
 また 弟である人

弟のほうが

175 スイ ソイエネ ヒネ オラノ
 suy soyene hine orano
 また 外に出 て そして

また外に出て来て

ウウオカラパ イキク ロク イキク ロク ヒ クス
 uwokarpa i=kik rok i=kik rok hi kusu
 交代で (私を)何度も叩く ので

交代で私を何度も殴ったので

オラ ネノ アナン ヤクン
 ora neno an=an yakun
 こんど そのように いる(私) ならば

そこにいたら

アイライケ ノイネ シリキ ヒ クス
 a=i=rayke noyne sirki hi kusu
 (人が私を)殺す ように なる だ から

殺されると思いました。

オラ レイエレイエアン コロ
 ora reyereye=an kor
 こんど はいずり(私) ながら

はいずりながら

180 ネ ペタル オッ タ サナン ヒネ
 ne petaru or_ ta san=an hine
 その 水汲み場 の所 に 下る(私) して

水汲み場に下りて行って

オラ チプ オッ タ アフナン ヒネ
 ora cip or_ ta ahun=an hine
 そして 舟 の所 に 入る(私) して

舟に乗りました。

チプ オッ タ シニアン カ キ ヒネ
 cip or_ ta sini=an ka ki hine
 舟 の所 で 休む(私) も し て

そこで休んでから

オラ サナン コロカ
 ora san=an korka
 こんど 下る(私) けれど

川を下って行きましたが

エネネ メノコ
 enene menoko
 あのような 女

あの女

185 チプ… ラリウアン ラポッケ
 cip… rariw=an rapokke
 舟 漕ぐ(私) 間に

私が舟を漕いでいると

“ウパッシ ウエンクル
 “upassi wenkur
 ウパッシ 貧乏人

「ウパッシの悪いやつが

スイ ヒナクン
suy hinak un
また どこか へ

またどこかへ

スンケ チャランケ イッカ チャランケ
sunke caranke ikka caranke
嘘の 談判 盗みの 談判

『嘘の談判・盗みの談判』を

クス アラパ シリ アン”
kusu arpa siri an”
しに 行く よう だ

しに行くみたいよ」

190 セコロ イイエ ア プ
sekor i=ye a p
と (私に)言っ た が

と言っていたので

オロ タ ヘネ ヘノイエアン ルスイ クス
oro ta hene henoye=an rusuy kusu
そこ に でも 寄る(私) したい ので

そこにも寄ってみたくになりました。

オラ スイ ネア メノコ チセ
ora suy nea menoko cise
こんど また その 女 家

あの女の家に向かって行き

イフライエ コロ アナ メノコ コロ
ihuraye kor an a menoko kor
洗濯し て い た 女 の

洗濯をしていた女の

ペタル オツ タ チプ アヤンケ ヒネ
petaru or_ ta cip a=yanke hine
水汲み場 の所 に 舟 (私)上げる して

水汲み場に舟をあげて

195 トシカ カ タ ヘメスアン ルウェ ネ アクス
toska ka ta hemesu=an ruwe ne akusu
丘 の上 に 登る(私) こと だっ たところ

丘の上に登って行くと

ピリカ チセ アン ヒネ
pirka cise an hine
きれいな 家 あっ て

きれいな家がありました。

オロ タ アラパアン ヒネ
oro ta arpa=an hine
そこ に 行く(私) して

そこに行って

スイ ネア ポン メノコ アン ウシケ
suy nea pon menoko an uske
また あの 若い 女 いる 所

その若い娘がいるところに

コロ アン ヒネ
kor an hine
の あっ て

行って

200 アフナン ワ
ahun=an wa
入る(私) して

家に入りました。

チセ オッ タ アフン セコロ アイェ カ
cise or_ ta ahun sekor a=ye ka
家 の所 に 入る と (人)言う も

入りなさいと言われても

ソモ キ コロカ
somo ki korka
しない けれど

いないけれど

アフナン ルウエ ネ アクス
ahun=an ruwe ne akusu
入る(私) こと だっ たところ

家に入ると

ネ チセ オンナイ マクナタラ ルウエ
ne cise onnay maknatara ruwe
その 家 の中 見晴らしがいい こと

その家の中がきれいなことに

205 イヨクンヌレアン カ キ コロ
iyokunnure=an ka ki kor
驚く(私) も し ながら

驚きました。

インカラン ルウエ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ

見ると

イトムンプヤラ チョロポク タ
itomunpuyar corpok ta
南窓 の下 で

家の右座側の窓の下で

ペウレ オッカヨ アイ カラ コロ アン ヒネ
pewre okkayo ay kar kor an hine
若い 男 矢 作り ながら い て

若者が矢を作っていました。

オロ タ アフナン ヒネ
oro ta ahun=an hine
そこ に 入る(私) して

そこへ行って

210 アエランカラブ ヒケ カ イエランカラブ カ
a=erankarap hike ka i=erankarap ka
(私)挨拶をし ても (私に)挨拶 も

挨拶の拝礼をしましたでしたが私に返礼も

ソモ キ ノ アン ア プ… クス
somo ki no an a p… kusu
しない で いたが ので

しません。私が

“マク ネ ヒネ アレヘ
“ mak ne hine a=rehe
どう で して (私の)名

「どうして私の名を

ポン メノコ アレヘ
pon menoko a=rehe
若い 女 (私の)名

若い娘が

ホントモ トウイエトウイエ⁽¹¹⁾ コロ
hontomo tuyetuye kor
 呼び捨てにし？ ながら

呼び捨てにしたのだ。

215 “ウパッシ ウエンクル ウエン アイヌ サニ”
 “**upassi wenkur wen aynu sani**”
 ウパッシ 貧乏人 悪い 人間 の子孫

『ウパッシの悪いやつ、悪い人間の子孫』

セコロ イイエ
sekor i=ye
 と (私に)言う

と言うので

マク ネ ヒネ エネ イイエ ヒ ネ ヤ
mak ne hine ene i=ye hi ne ya
 どう で して このように (私に)言う ことだ か

どうしてそんなことを言うのかと思い

イルシカアン クス
iruska=an kusu
 怒る(私) ので

腹が立ったので

チャランケアン クス エカン ルウェ ネ”
caranke=an kusu ek=an ruwe ne”
 文句を言う(私) ために 来る(私) こと だ

文句を言いに来たのだ」

220 セコロ ハウエアナン ア プ セコロ
sekor hawean=an a p sekor
 と 言う(私) だった 途端に

と言った途端に

ネア オッカヨ スイ マッコサヌ ヒネ
nea okkayo suy makkosanu hine
 その 男 また ぱっと して

その男性は急に立ち上がって

“ウパッシ ウエンクル ウエン アイヌ サニ
 “**upassi wenkur wen aynu sani**
 ウパッシ 貧乏人 悪い 人間 の子孫

「ウパッシ。この悪い人間の子孫め。」

エモト オロケ アエランペウテク クナク
e=moto orke a=erampewtek kunak
 (お前の)素性 の所 (私)わからない と

おまえの素性を私が知らないとしても

エラム コロ エエク ルウェ。
e=ramu kor e=ek ruwe.
 (お前)思い ながら (お前)来る のか

思ってたのか。

225 アシヌマ アナクネ キナチャウカムイ⁽¹²⁾
asinuma anakne kinacawkamuy
 我 こそは キナチャウ神

私はキナチャウ神

アネ ヒネ ネ… アナン ワ
a=ne hine ne… an=an wa
 (私)で そして その いる(私) して

である。

11 ホントモ トウイエトウイエ **hontomo tuyetuye** について前掲書では「何度も繰り返し呼び捨てにする」という上田トシ氏の説明があったとのこと。

12 キナチャウカムイ **kinacawkamuy** という神についての詳細は不明。

ポンラム ワノ
ponram wano
小さい頃 から

小さい頃から

ウエインカラ ペ アネ ワ
ueinkar pe a=ne wa
透視をする もの (私)であっ て

透視の力があるので

イシカラ エトコ タ オカ
iskar etoko ta oka
石狩川 の上流 に いる

石狩川の上流に暮らす

230 ペウレ ウタラ ネ ヤッカ
pewre utar ne yakka
若い 人達 で も

若い兄弟を

ピリカノ アエブンキネ ワ
pirkano a=epunkine wa
良く (私)守っ て

見守っていたのだ。

メノコ オッ タ オッカヨ オッ タ
menoko or_ ta okayo or_ ta
女 も 男 も

女性も男性も

アエブンキネ ワ アナン
a=epunkine wa an=an
(私)守っ て いる(私)

私が守っていた

ウシケ タ エアラパ ワ
uske ta e=arpa wa
ところ に (お前)行っ て

ところにおまえが行ったのだ。

235 シリポク ヒナク ワ イタンキ オロ
sirpok hinak wa itanki or
糸くず どこ から 腕 に

そして糸くずを腕に…

チセ コロ ウタラ シリポク
cise kor utar sirpok
家 の 人達 糸くず

家の人達が糸くずを

オマレ ヒ カ ソモ ネ。
omare hi ka somo ne.
入れる こと も しない

入れたのではない。

ヒナク ワ エミピヒ エヤサ ワ
hinak wa e=mipihi e=yasa wa
どこ から (お前の)着物 (お前)裂い て

おまえが自分の着物を裂いて

ネ シリポク イタンキ オロ エオマレ ワ
ne sirpok itanki oro e=omare wa
その 糸くず 腕 に (お前)入れ て

その糸くずを腕に入れて

240 ネ シリポク パスイ アニ エタララ シリ
ne sirpok pasuy ani e=tarara siri
その 糸くず 箸 で (お前)持ち上げる 様子

箸で持ち上げたのを

アエランパウテク コロ
a=eranpewtek kor
(私)わからない で

わからないとでも

アナン ルウェ ヘ… ネ ヤ”
an=an ruwe he… ne ya”
いる(私) こと か だ か

思ったのか」

セコロ ハウェアン コロ イトイコキツキク。
sekor hawean kor i=toykokikkik.
と 言い ながら (私を)ひどく殴る

と言って私をひどく殴りつけました。

オロ タ スイ
oro ta suy
そこ で また

そこでまた

245 アエキツキク アイネ イニンパ ヒネ
a=ekikkik ayne i=ninpa hine
(私)を殴る あげく (私)ひきずっ て

殴られてひきずられて

オラ ペタル オツ タ サナン アクス
ora petaru or_ ta san=an akusu
こんど 水汲み場 の所 に 下る(私) したところ

水汲み場に連れて行かれ

チプ サパ タ チプ トウサニ
cip sapa ta cip tus ani
舟 舳先に 舟 綱 で

舟の舳先に舟のもやい綱で

イトイコシナシナ ルウェ ネ ヒネ
i=toykosinasina ruwe ne hine
(私を)ひどく殴る こと だ から

しばりつけられました。

オラ ヘレパシ イオプトウイェ テク ヒネ
ora herepasi i=oputuye tek hine
こんど 川に (私を)押す さっと して

そして舟を川に押し出されたので

250 オラ モマン ヒネ サナン アイネ
ora mom=an hine san=an ayne
こんど 流れる(私) して 下る(私) あげく

流されて川を下って行きました。

アコロ ペタル オツ タ
a=kor petaru or_ ta
(私)の 水汲み場 の所 に

私の水汲み場に

チプ ヤン ルウェ ネ ヒネ オロ タ
cip yan ruwe ne hine oro ta
舟 上がる こと で して そこ で

舟が上陸したのでそこで

ハウコシクルカオツテアン¹³ ルウェ ネ アクス
hawkosikurkaotte=an ruwe ne akusu
大声をあげる(私) こと だっ たところ

大声で助けを求めると

13 ハウコシクルカオツテ haw-ko-si-kurka-ot-te《声・を・自分・の上・につく・させる》

アコタヌン ウタラ イカオパシ イネ
 a=kotan un utar ikaopas _hine
 (私の)村 の 人達 助けに来 て

村人達が助けに来てくれました。

255 サツパ… ペタル オツ タ サツパ イネ
 sappa… petaru or_ ta sappa _hine
 下る 水汲み場 の所 に 下っ て

水汲み場に来て

アイトイコシナシナ ルウェ
 a=i=toykosinasina ruwe
 (人が私を)ひどくしばる こと

私がしばりつけられているのを

ヌカラパ アクス オラノ イコエヘセパ¹⁴
 nukarpa akusu orano i=koehesepa
 を見る と それから (私に)溜飲を下げる

見てざまあ見ろと言い

“ タネ アナクネ パラコアツ ワ
 “ tane anakne parkoat wa
 今 は 罰が当たっ て

「罰が当たったのだ。

ヒナク タ スイ エアラパ ワ
 hinak ta suy e=arpa wa
 どこ に また (お前)行っ て

どこかへまたおまえが行って

260 スンケ チャランケ イッカ チャランケ
 sunke caranke ikka caranke
 嘘の 談判 盗みの 談判

『嘘の談判・盗みの談判』を

エキ クス エアラパ ヤツカ
 e=ki kusu e=arpa yakka
 (お前)し に (お前)行っ ても

して

パラコアツ ワ クス
 parkoat wa kusu
 罰が当たっ たので

罰が当たったので

エネ アエトイコシナシナ ワ
 ene a=e=toykosinasina wa
 このように (人がお前を)ひどくしばっ て

しばりつけられて

エエク ルウェ ネ ルウェ ネ ”
 e=ek ruwe ne ruwe ne”
 (お前)来る である の だ

来たのだな」

265 セコロ アウタリ ハウエオカ コロ
 sekor a=utari haweoka kor
 と (私の)村人 言い ながら

と村人達が言って

イコパシロタ コロ ネ コロカ
 i=kopasrota kor ne korka
 (私を)ののしり ながら だ けれど

私を罵倒しましたが

14 ehese 溜飲を下げる・鬱憤を晴らす・[久 171] ko-ehesepa 《に対して・溜飲を下げる(複数)》

ネ チプ サパ タ イシナ トウシ
ne cip sapa ta i=sina tus
その 舟 触先 で (私)しぼる 綱

しばられていた綱を

ピタパ ワ イコレ ルウェ ネ ヒネ
pitapa wa i=kore ruwe ne hine
ほどい て (私)にくれる こと であって

ほどいてくれました。

オラ アウニ ウン レイエレイエアン コロ
ora a=uni un reyereye=an kor
こんど (私の)家 に はいずり(私) ながら

そして私は自分の家にはいずって行き

270 アウニ タ アラパアン ヒネ アナン ヒケ カ
a=uni ta arpa=an hine an=an hike ka
(私の)家 に 行く(私) して いる(私) しても

家に入りましたが

アウタリ イコエヘセ
a=utari i=koehese
(私の)村人 (私に)うつぶんを晴らしに

村人達はうつぶんを晴らしに

オラ ウウオカラパ ウウオカラパ アラキパ ワ
ora uwokarpa uwokarpa arkipa wa
こんど 代わる代わる 来 て

交代で来て

イキツキク ネ ヤ キ コロ アナン ラポツケ
i=kikkik ne ya ki kor an=an rapokke
(私を)殴る だ とか し ながら いる(私) うちに

私を殴ったりしました。

オラ アマチヒ カ
ora a=macihi ka
こんど (私の)妻 も

私の妻も

275 “テ ワノ アナクネ エトウラノ アナン クナク
“ te wano anakne e=turano an=an kunak
これ から は (お前)と一緒に 暮らす(人) と

「これからは自分ひとりで暮らすように

エラム ハニ”⁽¹⁵⁾
e=ramu hani”
(お前)思い なさい

しなさいね」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言って

コロ ワ オカイ ペ オピッタ ウウオマレ ワ
kor wa okay pe opitta uwomare wa
持つ て いる もの みんな 集め て

荷物をまとめて

ソイエネ ワ イサム
soyene wa isam
外に出 て しまう

出て行ってしまいました。

15 「あなたと一緒に暮らすと思いなさい」という言い方だが、要するに愛想を尽かした奥さんが出て行くので「ひとりで暮らせ」と突き放されたということ。セリフがやさしさやいたわりを示すハニ hani で結ばれているところがまた皮肉たっぷりに聞こえる。

280 オカ タ プイネ アナン ワ
oka ta puyne an=an wa
その後 で ひとりで 暮らす(私) して

その後はひとりで暮らし

オラノ アエプ カ イサム
orano aep ka isam
そして 食べ物 も ない

食べ物もなく

スケアン カ エアイカツ ペ ネ クス
suke=an ka eaykap pe ne kusu
料理する(私) も できない もの だ から

料理もできません。

アウタリ アラキパ ヤツカ
a=utari arkipa yakka
(私の)村人 来て も

村人達が来て

イコパシロタ イ アナクネ イコパシロタ コロカ
i=kopasrota _hi anakne i=kopasrota korka
(私を)ののしる こと は (私を)ののしる けれど

私をののしる人はののしるけれど

285 ネプ カ アエプ コロ ワ アラキパ
nep ka aep kor wa arkipa
何 も 食べ物 を持つ て 来る

何も食べ物を持って来ず

イエレ カ ソモ キ ノ
i=ere ka somo ki no
(私に)食べさせ も しない で

私に食べさせないので

イペルスイアン ネ ヤ キ コロ ヌワパン コロ
iperusuy=an ne ya ki kor nuwap=an kor
食べない(私) だ とかし ながら 苦しむ(私) ながら

お腹が空いて苦しんでいました。

オハ チセ オツ タ アナン ラポッケ オラ
oha cise or_ ta an=an rapokke ora
空 家 の所 で 暮らす(私) うちに こんど

空っぽの家にいる私に

アウタリ ネ ヤ
a=utari ne ya
(私の)村人 だ とか

村人が交代で

290 オヤク オヤク タ アラパアン イネ
oyak oyak ta arpa=an _hine
それ ぞれ に 来る(私) して

やって来ます。

チャランケアン ワ アコロ ワ エカン
caranke=an wa a=kor wa ek=an
文句を言う(私) して (私)持つ て 来る(私)

それから私がなんくせをつけて

シントコ ヘマンタ ウウオマラパレ ウタラ
sintoko hemanta uwomarpare utar
行器 何か 集める 人達

行器などを奪った家の人達が

ケシト アラキパ ワ
kesto arkipa wa
毎日 来 て

毎日やって来て

コロ ワ オカイ ペ オピッタ コロ ワ
 kor wa okay pe opitta kor wa
 持つ て いる もの みんな 持つ て

持ち物をみんな持って

295 パイエパ ワ イサム オカ タ
 payepa wa isam oka ta
 行っ て しまう 後 で

行ってしまい

オハ チセ オツ タ アナン。
 oha cise or_ ta an=an.
 空 家 の所 に いる(私)

家は空っぽになりました。

シントコ トウブ レプ タクブ アナクネ アン ペ
 sintoko tup rep takup anakne an pe
 行器 2 3 だけ は ある が

行器がひとつふたつだけはありませんが

ネ シントコ オラ
 ne sintoko ora
 その 行器 こんど

その行器では

エネ イキアニ カ イサム ペ ネ クス
 ene iki=an _hi ka isam pe ne kusu
 どう する(私) こと も ない もの だ から

どうしようもないので

300 アキツキク アペレパ ワ
 a=kikkik a=perpa wa
 (私)叩く (私)裂い て

叩いて裂いて

カラカラセアン コロ アウク ワ
 karkarse=an kor a=uk wa
 転がる(私) ながら (私)取っ て

転がって行って

ホカ アオ ランケ コロ アナン ヒケ カ
 hoka a=o ranke kor an=an hike ka
 火に (私)くべる 何度もし ながら いる(私) しても

火にくべることを繰り返していても

ライ カ アコヤイクシ。
 ray ka a=koyaykus.
 死ぬ も (私)できない

死ぬこともできません。

イペアン カ ソモ キ ノ アナニケ カ
 ipe=an ka somo ki no an=an _hike ka
 食事する(私) も しない で いる(私) して も

食事をすることもできず

305 ライ カ アコヤイクシ。
 ray ka a=koyaykus.
 死ぬ も (私)できない

死ぬこともできず

オラ アウタリ アラキパ ワ
 ora a=utari arkipa wa
 こんど (私の)村人 来 て

村人達が来て

イコパシロタ ネ ヤ イキツキク ネ ヤ
 i=kopasrota ne ya i=kikkik ne ya
 (私を)ののしる だ とか (私を)殴る だ とか

私をののしったり殴ったりして

キ コロ アナニケ カ
 ki kor an=an_hike ka
 し ながら いる(私) しても

いましたが

ライ カ アコヤイクシ コロ
 ray ka a=koyaykus kor
 死ぬ も (私)できない で

死ぬこともできずに

310 ネノ アナン アイネ
 neno an=an ayne
 そのように いる(私) あげく

いて

カラカラセアン コロ アナン アイネ
 karkarse=an kor an=an ayne
 転がる(私) ながら いる(私) あげく

転がっていると

トイ ヤシケ ヒネ
 toy yaske hine
 土 裂ける して

土が裂けて

オロ アオシマ プ ネ アクス¹⁶
 oro a=osma p ne akusu
 そこに (私)入る もの だったところ

そこに入ってしまった。

テワノ オカ ウタラ アナクネ
 tewano oka utar anakne
 これから いる 人達 は

これからの人達は

315 スンケ チャランケ イッカ チャランケ
 sunke caranke ikka caranke
 嘘の 談判 盗みの 談判

『嘘の談判・盗みの談判』をして

スンケ コロ ポカ
 sunke kor poka
 嘘 をつく だけで

嘘をつくのみで

ウサ オカイ ペ ウウオマラパレ ソモ キ
 usa okay pe uwomarpare somo ki
 いろいろある もの 集める しない

いろいろなものを集めることはしない

ヤク ピリカ ナ
 yak pirka na
 と いい よ

ほうがいいぞ

セコロ シネ アイヌ イソイタク
 sekor sine aynu isoytak
 と ある 男 物語る

とひとりの男が物語りました

320 セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と さ

とさ。

16 物語中でみられる悪いおこないをした人間の末路。供養してくれる人ももちろんなく、人の死に方としては最悪。悪いことをするとこんな憐れな最後を迎えるのだという戒めになっている。

第7話 散文の物語

息子に「ゼンマイ」と 名づけた夫婦の話

収 録 日：1997 年 08 月 27 日

資料番号：35236B

添付 CD：6-2（10 分 28 秒）

第7話 散文の物語 「息子に『ゼンマイ』と名づけた夫婦の話」⁽¹⁾

(ある女性が語る)

アコン ニシパ アン ヒネ
a=kor_ nispā an hine
(私)の 夫 い て

私は夫と

オカアン ペ ネ ヒケ
oka=an pe ne hīke
暮らす(私達) もの だ が

暮らしていました。

アコン ニシパ シノ ニシパ ネ ワ
a=kor_ nispā sino nispā ne wa
(私)の 夫 立派な 長者 であっ て

夫は本当の長者であり

ニシパ ネ ヤ… イソンクル ネ ワ
nispā ne ya… isonkur ne wa
長者 だ とか 狩りがうまい であっ て

狩りが上手で

5 ネプ カ アエシリキラプ カ
nep ka a=esirkirap ka
何 も (私)苦勞する も

私達は何の苦勞もなく

アコン ルスイ カ ソモ キ ノ アナン。
a=kor_ rusuy ka somo ki no an=an.
(私)持ち たい も しない で 暮らす(私)

欲しいものもなく暮らしていました。

ヤイカタ カ アリキキアン ペ ネ クス
yaykata ka arikiki=an pe ne kusu
自分 も 頑張る(私) もの だ から

私も働き者なので

トイ ネプキ アキ ワ ウサ オカイ ペ
toy nepki a=ki wa usa okay pe
畑 仕事 (私)し て 色々 ある もの

畑仕事をしていろいろなものを

ポロンノ アウカオシマレ カ キ ワ
poronno a=ukaosmare ka ki wa
たくさん (私)収穫する も し て

たくさん収穫して

10 ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no
何 も (私)苦勞する も しない で

何を苦勞することもなく

アナン ペ ネ コロカ
an=an pe ne korka
暮らす(私) もの だ けれど

暮らしていましたが

1 調査年月日は1997年8月27日。アイヌ民族博物館で後日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ文学講座」の事前調査として上田トシ氏宅で行われた。調査者は千葉大学中川裕氏。同席者は村木美幸。この話は、北海道立アイヌ民族文化研究センターの大谷洋一氏が、平取町貫気別出身の小川シゲノさんが語った話の録音テープを上田トシ氏のところに持って行き、それを聞いたトシ氏が自らの言葉で語り直したもの。『北海道立アイヌ民族文化研究センター紀要第5号』で大谷氏が報告している「ソロマのウエペケレ」の別録音。

パテク アエシリキラプ ペ ポサカン ワ…
 patek a=esirkirap pe posak=an wa…
 それだけ (私)困る もの 子供がない(私) して

ただ困っているのは子どもがなくて

パテク アエシリキラプ。
 patek a=esirkirap.
 それだけ (私)困る

それだけを困っていました。

アコン ニシパ
 a=kor_ nispā
 (私)の 夫

私の夫

15 エネ アン ニシパ
 ene an nispā
 このような 長者

このような立派な夫に

オラ ポサカン ワ オラ… セコロ アン ペ
 ora posak=an wa ora… sekor an pe
 こんど 子供がない(私) して こんど と ある もの

子どもがないことを

アコン ニシパ エウン ヤイエオリパクアン コロ
 a=kor_ nispā eun yayeoripak=an kor
 (私)の 夫 に 申し訳ない(私) と

私は申し訳なく

アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 いる(私) もの だっ た が

思っていたのですが

ホンコラン ワ
 honkor=an wa
 妊娠する(私) して

妊娠をして

20 エアラキンネ アエヤイコプンテク。
 earkinne a=eyaykopuntek.
 本当に (私)喜ぶ

本当に嬉しく思いました。

エネ アコン ニシパ アコオリパク コロ
 ene a=kor_ nispā a=kooripak kor
 このように (私)の 夫 (私)申し訳ない と

夫に申し訳なく

アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 いる(私) もの だっ た が

思っていたが

ホンコラン セコロ ヤイヌアン ワ
 honkor=an sekor yaynu=an wa
 妊娠する(私)と 思う(私) して

妊娠したと知って

ヤイカタ カ ヤイコプンテク。
 yaykata ka yaykopuntek.
 自分 も 喜ぶ

私も嬉しく思いました。

25 アコン ニシパ カ エヤイコプンテク ワ
 a=kor_ nispā ka eyaykopuntek wa
 (私)の 夫 も 喜んで

夫も喜んで

オラノ ポヘネ ネ ペコロ
 orano pohene ne pekor
 それから なおさら その ように

それからはなおのこと相応に

アリキキ コロ アナン。
 arikiki kor an=an.
 頑張り ながら 暮らす(私)

頑張って働きました。

ヤイカタ アナクネ ホンコラニ
 yaykata anakne honkor=an _hi
 自分 は 妊娠する(私) こと

私の妊娠が

エラムアニ アコン ニシパ キ ヒ
 eramuan _hi a=kor_ nispa ki hi
 わかる こと (私)の 夫 する とき

わかったことを夫が知って

30 オロワノ アナクネ
 orowano anakne
 それから は

からは

エイタサ ニナアン カ
 eytasa nina=an ka
 あまり まき取りする(私) も

私はまき取りも

ネプ カ ソモ キ ノ アナン。
 nep ka somo ki no an=an.
 何 も しない で 暮らす(私)

何もせず

イカオイキ コロ オカアン アイネ
 ikaoyki kor oka=an ayne
 養い ながら 暮らす(私達) うちに

養われていました。

ヌワパン ルウェ ネ アクス
 nuwap=an ruwe ne akusu
 陣痛が来る(私) こと だっ たところ

陣痛が来たところ

35 ピリカ ワ オケレ ポン ヘカチ アコロ ワ
 pirka wa okere pon hekaci a=kor wa
 それはそれはかわいい 小さい 子 (私)持っ て

とても可愛い男の子が生まれて

オラノ アエヤイコブンテク コロ
 orano a=eyaykopuntek kor
 そして (私)喜び ながら

喜びました。

アエチヨクヌレ² コロ アナン ワ
 a=ecoknure kor an=an wa
 (私)キスをし ながら 暮らす(私) して

キスをしながら

アコン ニシパ ポオ アナクネ
 a=kor_ nispa poo anakne
 (私)の 夫 なおさら は

夫も

2 copinure 接吻する [久 151] とは少し発音が違うが、意味は同じであると考えた。

エキムネ カ ソモ キ ノ
ekimne ka somo ki no
山獺に行く も しない で

山獺にも行かずに

40 アコロ ソン オマパ オマパ コロ
a=kor son omap a omap a kor
(私)の 子 ずっと可愛がり ながら

息子を可愛がって

オカアン アイネ
oka=an ayne
暮らす(私達) うちに

いました。

ネ アコロ ソン カ タネ ポロ ワ… ヒ
ne a=kor son ka tane poro wa… hi
その(私)の 息子 も もう 大きくなっ て

息子がもう大きくなって

オラノ エアシリ エキムネ アコン ニシパ
orano easir ekimne a=kor_ nispa
そして 初めて 山獺 (私)の 夫

からやっと夫は

エキムネ コロ スイ ネ ヤ… ネノ
ekimne kor suy ne ya... neno
山獺に行き ながら また だ とか そのように

山獺に行って

45 ウサ カムイ ネ チキ コク ネ チキ
usa kamuy ne ciki yuk ne ciki
いろいろクマ で も シカ で も

クマでもシカでも

アウナルラ ワ
awnarura wa
運んで来 て

とって来ました。

ポヘネ ネプ カ
pohene nep ka
なおさら 何 も

何を

アコン ルスイ カ ソモ キ ノ アナン。
a=kor_ rusuy ka somo ki no an=an.
(私)持ち たい も しない で 暮らす(私)

欲しいと思うこともなく暮らしました。

ラポッケ アコン ニシパ
rapokke a=kor_ nispa
そのうちに (私)の 夫

夫は

50 アコロ ソン レヘ “ソロマ^B” セコロ レコ ヒネ
a=kor son rehe “sorma” sekor reko hine
(私)の 息子 の名 ゼンまい と 名づけ て

息子を「ぜんまい」と名づけて

アコロ ソン… “ソロマ ソロマ”
a=kor son… “sorma sorma”
(私)の 息子 ゼンまい ゼンまい

「ぜんまい、ぜんまい」

3 子供への命名は、悪神が近寄らないようなものにちなむ場合がある。この場合は敢えてそうした意味で命名したのか偶然だったのか定かではないが、重要な意味を持っていることが後に明らかになる。

セコロ アイェ コロ
 sekor a=ye kor
 と (私達)言いながら

と呼んで

レヘ アアレ コロ アナン ペ ネ ア プ
 rehe a=are kor an=an pe ne a p
 名 (私達)つけながら いる(私達)もの だった が

いました。

タネ アコロ ソン
 tane a=kor son
 もう (私)の 息子

もう息子も

55 アプカシ エニタン パクノ
 apkas enitan pakno
 歩く のが早い まで

早く歩けるくらいに

タネ ポロ ヒ オラノ
 tane poro hi orano
 もう 大きくなる 時 そして

大きくなってからは

ポヘネ アエヤイコブンテク コロ
 pohene a=eyaykopuntek kor
 より一層 (私)喜びながら

より一層嬉しくて

アトウラ カネ ワ
 a=tura kane wa
 (私)連れる し て

連れて

ソイ ペカ アプカサン ネ ヤ
 soy peka apkas=an ne ya
 外 一帯を 歩く(私) だ とか

外を歩いたり

60 アコン ニシパ イワク エトコ ウン
 a=kor_nispa iwak etoko un
 (私)の 夫 帰る 前 に

夫が帰る前には

アトウラ カネ ワ ソイネアン コロ
 a=tura kane wa soyne=an kor
 (私)連れる まま で 外に出る(私) と

連れて外に出て

ポヘネ エヤイコブンテク コロ
 pohene eyaykopuntek kor
 なおさら 喜びながら

喜んで

オカアン ペ ネ ア プ
 oka=an pe ne a p
 暮らす(私達)もの だった が

いました。

シネアンタ
 sineanta
 あるとき

あるとき

65 アコロ ソン アトウラ カネ ヒネ
 a=kor son a=tura kane hine
 (私)の 息子 (私)連れる ままで そして

息子を連れて

ペトルン ラナン ヒネ
pet or un ran=an hine
川 の所に 下る(私) して

川に

イフライェアン クス ラナン ヒネ
ihuraye=an kusu ran=an hine
洗濯をする(私) ために 下る(私) して

洗濯をしに行きました。

アコロ ソン ペツ サム ペカ
a=kor son pet sam peka
(私)の 息子 川 のそば 一帯を

息子は川辺を

ホユプ コロ アン。
hoyupu kor an.
走っ て いる

走り回っていました。

70 ラポッケ イフライェアン
rapokke ihuraye=an
その間 洗濯する(私)

その間に私は洗濯を

オカアン ヒネ
oka=an hine
いる(私) して

していましたが

オラ ペトプトウン
ora pet oput un
そして 川 下流 を

川の下流の方を

インカラン ルウェ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ

見たところ

ネプ ネ ヤ レタラ ウララ
nep ne ya retar urar
何 だ か 白い もや

何か白いもや

75 フレ ウララ ネ ヤ
hure urar ne ya
赤い もや だ とか

赤いもや

シウニン ウララ クンネ ウララ
siwnin urar kunne urar
青い もや 黒い もや

青いもや、黒いもや

ウララ ウコポイポイケ コロ
urar ukopoypoyke kor
もや 混ざり合い ながら

もやが混ざって

ペツ トウラシ エク シリ
pet turasi ek siri
川 をさかのぼる 様子

川をさかのぼって来るのを

エカリ アヌカラ イネ
ekari a=nukar _hine
ちょうど (私)見る して

見て

80 エアラキンネ キマテカン ヒ クス
 earkinne kimatek=an hi kusu
 本当に 驚く(私) だ から

とても驚きました。

オラノ
 orano
 そして

そして

“ ソロマ ソロマ
 “sorma sorma
 ぜんまい ぜんまい

「ぜんまい、ぜんまい。」

イワカン クス エク エク”
 iwak=an kusu ek ek”
 帰る(私) ので おいで おいで

帰るからおいで、おいで」

セコロ ハウエアナン コロ
 sekor hawean=an kor
 と 言う(私) と

と言って

85 ネ アコロ ソロマ アホトウイエカラ クス
 ne a=kor sorma a=hotuyekar kusu
 その(私)の ぜんまい (私)呼ぶ ので

私の息子と呼ぶと

エキ クス オラ ナニ
 ek _hi kusu ora nani
 来る だ から こんど すぐに

来たのですぐに

ソロマ アトウラ ヒネ エカニネ
 sorma a=tura hine ek=an _hine
 ぜんまい (私)連れる して 来る(私) して

息子を連れて帰りました。

アウニ タ アフナン イネ
 a=uni ta ahun=an _hine
 (私の)家 に 入る(私) して

家に入って

アパ カ アセシケ
 apa ka a=seske
 戸 も (私)開める

戸を開め

90 プヤラ カ アセシケ ヒネ
 puyar ka a=seske hine
 窓 も (私)開め て

窓も閉めて

チセ オンナイ タ アナン ルウェ ネ アクス
 cise onnay ta an=an ruwe ne akusu
 家 の中 に いる(私) こと だっ たところ

家の中にいると

シットケシ アクス アコン ニシパ
 sittokes akusu a=kor_ nispa
 日が暮れ たところ (私)の 夫

夕刻になって夫が

イワキネ オラ
 iwak _hine ora
 帰っ て こんど

帰って来ました。

“マク ネ ヒネ
“mak ne hine
どう し て

一体どうして

95 プヤラ カ アパ カ アセシケ ワ
puyar ka apa ka a=seske wa
窓 も 戸 も (私)閉め て

窓も戸も閉めて

オヌマン スケ エトコイキ カ
onuman suke etokoyki ka
夕方 料理 準備する も

夕飯の準備も

アキ カ ソモ キ ノ アナン ルウェ ネ”
a=ki ka somo ki no an=an ruwe ne”
(私)し も しない で いる(私) の だ

しないでいるんだ

セコロ イコウウェペケンヌ イ クス
sekor i=kouwepekennu _hi kusu
と (私に)尋ねる だ から

と尋ねられたので

“タプネ カネ
“tapne kane
このように

「このようなわけで

100 ペトルン ラナン
pet or un ran=an
川 の所 に 下る(私)

川に行き

イフライエエラナン ヒネ
ihuraye'eran=an hine
洗濯に下る(私) して

洗濯をしようとして

ペトプトウン
pet oput un
川 下流 を

川の下流の方を

インカラアン ルウェ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ

見ると

テ パクノ アヌカラ カ エラミシカリ プ
te pakno a=nukar ka eramiskari p
こ こ まで (私)見る も 経験がない もの

今まで見たこともない

105 レタラ ウララ フレ ウララ
retar urar hure urar
白い もや 赤い もや

白いもや、赤いもや

シウニン ウララ クンネ ウララ
siwnin urar kunne urar
青い もや 黒い もや

青いもや、黒いもやが

ウコポイポイケ ワ ペツ トウラシ
ukopoypoyke wa pet turasi
混ざり合っ て 川 をさかのぼる

混ざりあって川をさかのぼって

- エク シリ イキ ワ キマテカン ワ
ek siri iki wa kimatek=an wa
来る 様子 し て 驚く(私) して
来るのに驚いて
- アコロ ソロマ アホトウイエカラ ヒネ
a=kor sorma a=hotuyekar hine
(私)の ゼンまい (私)呼ん で
息子のぜんまいを呼んで
- 110 アラキアン ヒネ
arki=an hine
来る(私) して
帰って来たのです。
- オラ イシトマアン ワ ヌイナカン クス
ora isitoma=an wa nuynak=an kusu
こんど 恐れる(私) して 隠れる(私) ために
恐ろしいので隠れるために
- アパ カ プヤラ カ
apa ka puyar ka
窓 も 戸 も
戸口も窓も
- アセシケ ワ アナン ルウエ ネ”
a=seske wa an=an ruwe ne”
(私)閉め て いる(私) の です
閉めていたのです」
- セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
sekor hawean=an ruwe ne akusu
と 言う(私) こと だっ たところ
と言ったところ
- 115 エアラキンネ アコン ニシパ
earkinne a=kor_ nispa
本当に (私)の 夫
夫はとても
- エライキマテク コロ
eraykimatek kor
ひどく驚き ながら
驚いていました。
- オラ ソイエネ ヒネ ソヨシピタ⁴ ヒネ
ora soyene hine soyosipita hine
こんど 外に出 て 身支度を解い て
外に出て身支度を解き
- アフン ヒネ
ahun hine
入っ て
入って来て
- オラ アペエトク タ ア ヒネ
ora apeetok ta a hine
こんど 横座 に 座っ て
横座に座り
- 120 オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った
このように言いました。

4 通常男性は山獺から帰宅すると身支度を外で解いてから家に入って来るが、この場合の夫は家族の異変に気づき驚いて身支度を解かないままに家に入り、事情を聞いてから改めて外に出て身支度を解いたということ。小川シゲノ氏から上田トシ氏までその点は省略されることなく語り継がれている。

“フチアペ⁵

“ huciape

火の神様

「火の神様

マク ネ ワ ネ ヤ

mak ne wa ne ya

どう で して だ か

一体どうしたことでしょう。

ペッ トウラシ ウララ

pet turasi urar

川 をさかのぼって もや

川をさかのぼって

テ パクノ アヌカラ カ エラミシカリ ウララ

te pakno a=nukar ka eramiskari urar

ここ まで (私)見る も 経験がない もや

今まで見たこともないもやが

125 ペッ トウラシ ヘメス ルウエ

pet turasi hemesu ruwe

川 をさかのぼる のぼる こと

来たのを

アマチヒ ヌカラ ヤク イェ コロ

a=macihi nukar yak ye kor

(私の)妻 見る と 言う と

妻が見たと言って

キマテカン コロ オカアン ルウエ ネ クス

kimatek=an kor oka=an ruwe ne kusu

驚く(私) ながら いる(私達) こと だ から

驚いているのです。

フチアペ アエコシ クス ネ ナ。

huciape a=ekosi kusu ne na.

火の神様 (私)任せる つもり です

火の神様にお任せいたします。

イエブンキネ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ”

i=epunkine wa i=kore yak pirka na”

(私達を)守っ て (私達に)くれる と いい よ

私達を守ってください」

130 セコロ ハウエアン コロ

sekor hawean kor

と 言い ながら

と言って

フチアペ エウン オンカミ ア オンカミ ア

huciape eun onkami a onkami a

火の神様 ヘ 何度も拝礼し

火の神様に何度も拝礼をして

コロ… ルウエ ネ ヒネ オラ

kor... ruwe ne hine ora

ながら こと で して

それから

エアシリ オヌマン スケ アキ ヒネ

easir onuman suke a=ki hine

初めて 夕 飯の準備 (私)し て

初めて夕飯の準備をして

5 人間が神に祈るときは、まず火の神に事情を説明する。火の神は神と人間の仲介役をしてくれる、最も身近で頼りになる神である。

- イペアン カ キ ヒネ オラ
ipe=an ka ki hine ora
食事する(私) も し て こんど
- 食事をしてから
- 135 ホツケアン ルウェ ネ アクス
hotke=an ruwe ne akusu
寝る(私) こと だっ たところ
- 眠りました。
- クンネイワ アコン ニシパ ホプニ アクス
kunneywa a=kor_nispa hopuni akusu
朝 (私)の 夫 起き たところ
- 翌朝、夫が起きると
- オラ エネ ハウエアニ。
ora ene hawean _hi.
こんど このように言った
- このように言いました。
- “ウ克蘭 ネ
“ukuran ne
昨夜 に
- 「昨夜
- ウエンタラパン⁶ ルウェ ネ アクス
wentarap=an ruwe ne akusu
夢を見る(私) こと だっ たところ
- 夢を見たところ
- 140 レタラ アミプ ミ カネ アン カムイ ヘ
retar amip mi kane an kamuy he
白い 着物 着 て いる 神 か
- 白い着物を着た神様のような人が
- イサム タ アン ヒネ エネ ハウエアニ。
i=sam ta an hine ene hawean _hi.
(私) のそば に いる して このように言った
- 私のそばにいてこのように言ったのだ。
- アシヌマ アナクネ パヨカカムイ⁶ アネ ヒネ
‘asinuma anakne payokakamuy a=ne hine
私 は 伝染病の神 (私)であって
- 『私は伝染病の神なのです。』
- イシカラ コタン アウエンテ クス
iskar kotan a=wente kusu
石狩 村 (私)荒らす ために
- 石狩の村を滅ぼしに
- ペツ トウラシ アラキアン ルウェ ネ ア プ
pet turasi arki=an ruwe ne a p
川 をさかのぼる 来る(私) こと だっ た が
- 川をさかのぼって来たのですが
- 145 パクノ アシトマ プ ソロマ⁸ ネ ア プ
pakno a=sitoma p sorma ne a p
それだけ (私)恐れる もの ぜんまい だっ た が
- 私が最も恐れているのがぜんまいなのです。

- 6 火の神に祈った結果として、事件のもととなった神が人間の夢に出て来て真相を語るという展開がよくみられる。この話もその例である。
- 7 伝染病の神は、昔とても恐れられていた天然痘とはじめとするウイルスや細菌で感染する病気の総称とされる。とても力のある神であり、海から上陸して来ると考えられていた。この話でも川下の方向から村に近づいて来ると描写されている。パpa, パコロカムイ pakorkamuy, パヨカカムイ payokakamuy などいくつかの呼び名がある。
- 8 シダ植物のゼンマイを伝染病の神が恐れるというのは、アイヌ社会では一般的に知られていることではない。「そんな他愛のないものを恐れるとは」という意外性をもつ話として伝えられたのだろう。

エマチヒ ‘ソロマ ソロマ’ セコロ
e=macihi ‘sorma sorma’ sekor
(お前の)妻 ゼンまい ゼンまい と

あなたの奥さんが《ぜんまい、ぜんまい》と

ハウエアン コロ オラ
hawean kor ora
言い ながら こんど

呼ぶ

エホトウイパ ハウエ アヌ ヒ
ehotuypa hawe a=nu hi
呼ぶ 声 (私)聞く こと

声を聞きました。

ソロマ パクノ アシトマ
sorma pakno a=sitoma
ぜんまい ほど (私)恐れる

ぜんまいほど恐ろしい

150 アエチャツケ⁹ プ イサム ペ ネ ア プ
a=ecakke p isam pe ne a p
(私)汚がる もの ない もの だっ た が

嫌なものはないのです。

エネ エマチヒ ソロマ ホトウイエカラ
ene e=macihi sorma hotuyekar
こう (お前の)妻 ゼンまい 呼ぶ

そのように奥さんがぜんまいを呼ぶ

ハウエ アヌパ ヒ オラ
hawe anupa hi ora
声 聞く こと こんど

声を聞いて

ネ コタンウェンテアン カ アエアイカプ ノ
ne kotanwente=an ka a=eaykap no
その 村を荒らす(私) も (私)できない で

村を滅ぼすことはせずに

ホシッパアン ルウェ ネ クス…
hosippa=an ruwe ne kusu…
帰る(私) こと だ から

帰りますので

155 ルウェ ネ クス テ ワノ アナクネ
ruwe ne kusu te wano anakne
こと だ から これ から は

これからは

エコタヌ アナクネ アウエンテ カ ソモ キ。
e=kotanu anakne a=wente ka somo ki.
(お前の)村 は (私)荒らす も しない

あなたの村は滅ぼすことはしません。

モシマ コタン アナクネ レラカラパ ヤツカ
mosma kotan anakne rerakarpa yakka
よそ 村 は 病気が流行して も

よその村で病気が流行しても

エコタヌ アナクネ レラカラ カ
e=kotanu anakne rerakar ka
(お前の)村 は 病気が流行し も

あなたの村には及ばない

9 エチャツケ ecakke をきたながる [田]。ただ単に嫌うというよりはきたないから嫌がるというニュアンス。

ソモ キ クニ… クス ネ ナ。
somo ki kuni… kusu ne na.
しない と つもりだ よ

ようにするつもりです。

160 ニサッタ ネ アン チキ
nisatta ne an ciki
明日 に なっ たら

明日になったら

ネ ウサ ソロマ ネ ヤ
ne usa sorma ne ya
その 色々 ゼんまい だ とか

ぜんまいや

パヨカカムイ アコイチャラパ ハル
payokakamuy a=koicarpa haru
伝染病の神 (私)供物をまく 食べ物

伝染病の神に供える食べ物

ピリカ ハル イコイチャラパ ワ
pirka haru i=koicarpa wa
良い 食べ物 (私)供物をまい て

良い食物をまいて

イコレ ヤカナクネ
i=kore yakanakne
(私に)くれる ならば

くれたならば

165 サスイシリ パクノ エコタヌフ
sasuisir pakno e=kotanuhu
末代 まで (お前の)村

末代までもあなたの村を

アエプンキ… アナクネ レラカラ カ
a=epunki… anakne rerakar ka
(私)守る は 病気が流行する も

守り、病気が流行する

ソモ キ コロ
somo ki kor
しない と

こともないのです。

シネポ タkup エコロ ヤツカ
sinepo takup e=kor yakka
ひとりっ子 だけ (お前)持っても

たったひとりの息子である

エポホ ネ ヤツカ
e=poho ne yakka
(お前の息子)で も

あなたの子も

170 ネプ エラナク カ ソモ キ ノ
nep eranak ka somo ki no
何 苦労する も しない で

何を苦労することもあります。

ピリカ ウウエトウラシテ エチキ ナンコン ナ
pirka uweturaste eci=ki nankor_ na'
良く 仲睦まじく (お前達)し なさい ね

仲良く暮らしてください』

セコロ アン ウエンタラプ アキ ルウェ ネ
sekor an wentarap a=ki ruwe ne"
と いう 夢 (私)見る こと だ

という夢を見たのだ」

セコロ アコン ニシパ ハウエアン ルウェ ネ ヒネ
 sekor a=kor_nispa hawean ruwe ne hine と夫は言いました。
 と (私)の 夫 言う こと であって

オラノ イヨクンヌレアン コロ
 orano iyokunnure=an kor そして驚きあきれて
 そして 驚く(私) ながら

175 オラ アコン ニシパ イシムネ
 ora a=kor_nispa isimne 夫は翌日
 こんど (私)の 夫 翌日

ナニ イナウケ ワ フチアペ
 nani inawke wa huciape すぐに木幣を作って火の神様に
 すぐに 木幣を作っ て 火の神様

ホシキ コヤヤパプ ヒ イエ ヒ オラ
 hoski koyayapapu hi ye hi ora まずお詫びの言葉を述べてから
 まず お詫び こと 言う こと こんど

ウサ ソロマ ネ ヤ
 usa sorma ne ya 野草のぜんまいや
 色々 ぜんまい だ とか

ウサ パヨカ カムイ エウン アコイチャラパ
 usa payoka kamuy eun a=koicarpa 伝染病の神に捧げるためにまく
 色々 伝染病の 神 に (私)供物をまく

180 ウサ アエプ ネ ヤ ピリケプ ネ ヤ
 usa aep ne ya pirkep ne ya 食物や精白した穀物を
 いろいろ 食べ物 だ とか 穀物 だ とか

アコン ニシパ エカムイノミ⁽¹⁰⁾ ワ
 a=kor_nispa ekamuynomi wa 供えて儀式をしに
 (私)の 夫 儀式をし て

コロ ワ ソイエネ ワ
 kor wa soyene wa 持って外に出て
 持つ て 外に出 て

パヨカカムイ コイチャラパ ヒ
 payokakamuy koicarpa hi 伝染病の神に捧げるためにまきました。
 伝染病の神 に供物をまく こと

オロワノ… ルウェ ネ ヒネ
 orowano... ruwe ne hine それから…
 それから こと で して

185 オラノ アナクネ アコタヌ タ アナクネ
 orano anakne a=kotanu ta anakne それからは私の村には
 それから は (私の)村 に は

10 例えば川上まつ子氏は、伝染病の神には干した魚の骨や動物の骨、酒のしぼりかす、ヒエやとうもろこしの皮ばかりのところに供物として捧げ「この村にはこんな粗末なものしかないのよその村へ行ってください」と祈るものであると語っている。この話に見られるようにぜんまいを供物にするというのは、別の考え方として嫌いなものを取って捧げてよその村へ行ってもらうという供物のあり方があったことを示している。

ネプ カ レラカラ カ ソモ キ ノ
 nep ka rerakar ka somo ki no
 何 も 病気が流行し も しない で

何の病気も流行ることなく

オカアン コロカ
 oka=an korka
 暮らす(私達) けれど

暮らしました。

モシマ コタン タ アナクネ
 mosma kotan ta anakne
 よその 村 に は

よその村には

レラ カ パハウ アナクネ
 rera ka pahaw anakne
 病気 も 噂 は

病気が流行したと

190 アヌ コロ オカアン コロカ
 a=nu kor oka=an korka
 (私)聞き ながら 暮らす(私達) けれど

聞いても

アコタヌ アナクネ
 a=kotanu anakne
 (私の)村 は

私の村では

ネプ レラカラ カ ソモ キ コロ… ノ
 nep rerakar ka somo ki kor… no
 何 病気が流行する も しない で

何の災いも来ることなく

オカアン ラポッケ
 oka=an rapokke
 暮らす(私達) うちに

暮らしました。

アポホ カ ポロ ワ
 a=poho ka poro wa
 (私の)息子 も 大きくなっ て

息子も大きくなり

195 エネ アエイコイトウパ プ
 ene a=eikoytupa p
 あんな (私)うらやましい もの

欲しかった子供であったものを

イヨマプ ネ ア コロカ
 iyomap ne a korka
 かわいがる だっ た けれど

かわいがり

アポホ カ ポロ ヒ… ワ
 a=poho ka poro hi… wa
 (私の)息子 も 大きくなる こと して

息子も大きくなって

ピリカ メノコ アエトウン ワ
 pirka menoko a=etun wa
 美しい 女 (人)結婚し て

きれいな女性と結婚して

トウラノ コシマツ ネ アコロ ワ
 turano kosmat ne a=kor wa
 一緒に 嫁 に (私)持っ て

嫁が来て

200 トウラノ オカアン ワ

turano oka=an wa

一緒に 暮らす(私達) して

一緒に暮らしました。

ネプ アエ ルスイ アコン ルスイ カ
nep a=e rusuy a=kor_ rusuy ka

何 (私)食べ たい (私)持ち たい も

何を食べたいとも欲しいとも

ソモ キ ノ オカアン アイネ
somo ki no oka=an ayne

しない で 暮らす(私達) うちに

思わずに暮らし

オンネアン ペ ネ コロカ
onne=an pe ne korka

年を取る(私) もの だ けれど

年を取りましたが

ネイ パクノ アポ ウタラ オカ ヤッカ
ney pakno a=po utar oka yakka

いつ までも (私)の子達 暮らし ても

いつまでも息子達が生きて行く上で

205 ネ ソロマ ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ
ne sorma ne yakka nep ne yakka

その ぜんまい で も 何 で も

そのぜんまいでも何でも

パヨカカムイ
payokakamuy

伝染病の神

伝染病の神に

コイチャラパ クニプ アナクネ
koicarpa kunip anakne

に供物をまく べきもの は

供えるようにすることは

ピリカノ エヤイサンニヨ ネ ヤ
pirkano eyaysanniyo ne ya

良く 気を配る だ とか

よく気を配って

コチャヌプコロパ ヤク ピリカ ナ
kocanupkorpa yak pirka na

教訓にする と いい よ

教訓にしたらしい

210 セコロ アコイタクムイエ コロ
sekor a=koitakmuye kor

と (私)言い残し ながら

と言い残して

オンネアン ペ ネ アクス アイエ セコロ
onne=an pe ne akusu a=ye sekor

死ぬ(私) もの だったところ (私)言う と

死んで行きますと

シネ メノコ イソイタク
sine menoko isoytak

ある 女 物語る

ある女性が物語りました

セコン ネ。
sekor_ ne.

と さ

とさ。

第8話 散文の物語

サルの生き肝

収 録 日：1999 年 09 月 29 日

資料番号：35298B

添付 CD：6-3（7 分 25 秒）

第8話 散文の物語「サルの生き肝」⁽¹⁾

シネ サル^β ミシム ヒネ
sine saru mismu hine
一匹の 猿 寂しい ので

一匹の猿が寂しいので

オラ ピシ タ サン ヒネ
ora pis ta san hine
こんど 浜 に 出 て

浜辺に来て

シララ カ タ アン ヒネ
sirar ka ta an hine
磯 の上 に い て

岩の上にいました。

アトウイ オルン インカラ コロ アン アクス
atuy or un inkar kor an akusu
海 の所 を 見 ながら い たところ

海を見ていると

5 オラノ アトウイ オツ タ チプ ウサ チプ
orano atuy or_ ta cip usa cip
そして 海 の所 に 舟 色々 舟

海にいろいろな舟が

ウタサタサ シリ ネ サル ヌカラ
utasatasa siri ne saru nukar
行き交う 様子 その 猿 見る

行き交う様子が見え

エアラキンネ エヤイコプンテク コロ
earkinne eyaykopuntek kor
とても 喜び ながら

とても喜んで

アトウイ オルン インカラ コロ アン
atuy or un inkar kor an
海 の所 を 見 ながら いる

海を見て

ルウェ ネ アクス
ruwe ne akusu
こと だっ たところ

いました。

10 オロ タ シネ ポン エチンケ^β エキネ
oro ta sine pon ecinke ek_hine
そこ に 一匹の 小さい 海亀 来 て

そこに一匹の小さい海亀が来て

“サル サル タン アトウイ ケシ タ
“saru saru tan atuy kes ta
猿 猿 この 海 の端 に

「猿よ、猿。この海の端に

- 1 調査年月日は1999年9月29日。アイヌ民族博物館のアイヌ文化教室「口承文芸の夕べ」の事前調査として上田トシ氏宅で行われた。調査者は本田優子氏。アイヌ民族博物館音声資料35300Aに同話の別録音がある。トシ氏はこの話を、田村すず子編著『アイヌ語音声資料3—サダモさんの昔話—』所収「小ザルが一匹」（話者：平賀サダ）（pp.29-31）を聞いて覚えたと思われる。この話は日本民話の「竜宮城の乙姫（または竜王の姫）が病気になり猿の生き肝を所望する」というタイプの話がアイヌ文化に伝わったとされる。しかしこの録音には「金の井戸」などアイヌの口承文芸に独特な要素も加味されている。
- 2 日本語からの移入語。北海道に猿の仲間は生息していない。
- 3 ウミガメの類はアイヌ文化では頭骨を守り神として大切にされるなど馴染みのある生き物なので、こうした話に登場しても違和感なく受け入れられたのだろう。

パイェアン ヤクン
paye=an yakun
行く(私達)ならば

行ったならば

ポロ カネ シンプイ アン ワ
poro kane sinpuy an wa
大きい 金 井戸 あっ て

大きな金の井戸がある。

ネ カネ シンプイ オロワ アフナン コロ
ne kane sinpuy orowa ahun=an kor
その 金 井戸 から 入る(私) と

その金の井戸から入って行くと

15 カネ チセ ポロ チセ アン ワ
kane cise poro cise an wa
金 家 大きい 家 あっ て

金の大きな家があって

エアラキンネ アエキロルン アン⁴
earkinne a=ekirorun an
とても (私達)楽しい

とても楽しい

ピリカ ウシケ アン ペ ネ ナ。
pirka uske an pe ne na.
良い 場所 ある もの だ よ

良い場所があるのだよ。

エウン シネウエアン ナ”
eun sinewe=an na”
そこに 遊びに行く(私達) よ

そこへ遊びに行こう」

セコロ エチンケ ハウエアン アクス サル
sekor ecinke hawean akusu saru
と 海亀 言っ たところ 猿

と言うので猿は

20 “ケ、マク クイキ ヒネ
“ke, mak ku=iki hine
へえ どう (私)する して

「へえ、一体どうやったら

カラパ ハウエ”
k=arpa hawe”
(私)行く という

私が行けるといふんだい」

セコロ サル ハウエアン アクス エチンケ
sekor saru hawean akusu ecinke
と 猿 言っ たところ 海亀

と言うと海亀は

“エンカ タ ア”
“en=ka ta a”
(私の)上 に 座れ

「私の上に座りなさい」

セコロ エチンケ ハウエアン ヒ クス
sekor ecinke hawean hi kusu
と 海亀 言う だ から

と言いました。

4 エキロロアン ekiroroan がおもしろい [田] と言おうとしたか。

25 ネ サル エチンケ カシ タ ア アクス
 ne saru ecinke kasi ta a akusu
 その 猿 海亀 の上 に 座っ たところ

猿が海亀の上に座り

オラノ アトウイ トモトウイエ
 orano atuy tomotuye
 そして 海 を横切る

海を横切って

パイエアン⁵ アイネ…
 paye=an ayne…
 行く(人) うちに

行くと

クス ソンノ カネ カネ シンプイ アン ヒネ
 kusu sonno kane kane sinpuy an hine
 ので 本当に も 金 井戸 あっ て

本当に金の井戸がありました。

ネ カネ シンプイ カリ
 ne kane sinpuy kari
 その 金 井戸 を通る

その金の井戸を通して

30 アフパン ルウェ ネ アクス
 ahup=an ruwe ne akusu
 入る(私) こと だっ たところ

入って行くと

カネ チセ ポロ チセ アン
 kane cise poro cise an
 金 家 大きい 家 ある

金の家、大きな家がありました。

ピリカ オタニコロ アン ヒネ
 pirka otanikor an hine
 良い 砂浜 あっ て

きれいな砂浜があつて

オロ タ カネ チセ アン ルウェ ネ アクス
 oro ta kane cise an ruwe ne akusu
 そこ で 金 家 ある こと だっ たところ

金の家があり

オロ タ ネ エチンケ エネ ハウエアニ。
 oro ta ne ecinke ene hawean _hi.
 そこ で その 海亀 このように言った

そこで海亀は

35 “テ タ エンテレ ワ アナニ”
 “te ta en=tere wa an _hani”
 ここで (私)待っ て いてね

「ここで私を待っていてね」

セコロ エチンケ ハウエアニ コロ
 sekor ecinke hawean kor
 と 海亀 言い ながら

そう言いながら

ネ カネ チセ オルン アフン ア プ
 ne kane cise or un ahun a p
 その 金 家 の所 に 入 た が

その金の家に入って行きました。

5 このあたりから人称接辞ア=、アン=anなどが混在するようになるが、日本語訳は三人称で通した。

オラノ ネプ…
orano nep…
そして 何

そして

アテレ ヤツカ ソイエネ カ ソモ キ。
a=tere yakka soyene ka somo ki.
(私)待つ ても 外に出る も しない

待っていても海亀は外に出て来ません。

40 オラノ サル ホシピ ヒ カ
orano saru hosipi hi ka
そして 猿 帰る こと も

猿は帰る方法も

エランペウテク ペ ネ クス
erampewtek pe ne kusu
わからない もの だ から

わからないので

エネネ ヒ カ イサム ワ
enene hi ka isam wa
どうする こと も なく て

どうしようもなくて

サル オロ タ オタニコロ オッタ
saru oro ta otanikor or_ta
猿 そこ で 砂浜 の所で

その砂浜で

シノツ コロ アン ルウエ ネ アクス
sinot kor an ruwe ne akusu
遊び ながら いる こと だっ たところ

遊んでいると

45 オロ タ トニン⁶ コイヤンケ ヒネ
oro ta tonin koyyanke hine
そこ に ミミズ 寄りあがっ て

そこにミミズが寄りあがって来て

エキネ オラ エネ ハウエアニ。
ek_hine ora ene hawean_hi.
来 て こんど このように言った

こう言いました。

“サル サル
“saru saru
猿 猿

「猿よ、猿。

ヘマンタ エエカラ クス アエトゥラ ワ
hemanta e=ekar kusu a=e=tura wa
何 (お前)する ために (人がお前を)連れ て

一体どうしておまえがここに連れられて

エエク ルウエ ネ ヤ エエラムアン”
e=ek ruwe ne ya e=eramuan”
(お前)来ること だ か (お前)わかる

来たかわかるかい」

50 セコロ ネ トニン ハウエアン
sekor ne tonin hawean
と その ミミズ 言う

とそのミミズが言いました。

6 トニン tonin (tunin [田]) はミミズだが、海の中にミミズがいるというのは少し違和感がある気がする。前掲書ではタウンヌ tunnu クラゲとなっている所。

ルウェ ネ ヒ クス
 ruwe ne hi kusu
 こと だ だから

“ネプ カ アエランペウテク ノ
 “nep ka a=erampewtek no
 何 も (私)わからない で

「何もわからずに

アエントウラ ワ エカン ルウェ ネ ワ ”
 a=en=tura wa ek=an ruwe ne wa”
 (人が私を)連れて 来る(私) こと だ よ

連れられて来たのだよ」

セコロ サル ハウエアン ルウェ ネ アクス
 sekor saru hawean ruwe ne akusu
 と 猿 言う こと だっqたところ

と猿が言うと

55 ネ トニン エネ ハウエアニ。
 ne tonin ene hawean _hi.
 その ミミズ このように言った

ミミズはこのような言いました。

“タン アトウイコロカムイ マツネポホ
 “tan atuykorkamuy matnepoho
 この 海の神 の娘

「この海の神の娘

シネ マツネポホ タクプ コロ ペ
 sine matnepoho takup kor pe
 ひとり 娘 だけ 持つ もの

たったひとりだけ授かった娘が

シイエイエ ヒネ タネ ライ ノイネ アン ワ
 siyeye hine tane ray noyne an wa
 病気 して もう 死ぬ ようで あっ て

病気でもう死んでしまいそうになり

オラ エネ ハウエアニ。
 ora ene hawean _hi.
 こんど このように言った

このように言ったのだ。

60 サル サンペヘ ヘネ アエ ヤクン
 ‘saru sanpehe hene a=e yakun
 猿 の肝 でも (私)食べる ならば

『猿の肝でも食べたなら

シクヌアン エアシカイ ナンコロ
 siknu=an easkay nankor’
 生きる(私) できる だろう

生きることができるでしょう』

セコロ アトウイコロカムイ マツネポホ
 sekor atuykorkamuy matnepoho
 と 海の神 の娘

と

ハウエアン ルウェ ネ ヒネ オラ…
 hawean ruwe ne hine ora…
 言う こと で して こんど

言ったために

クス アエトウラ ワ エエク ルウェ ネ ワ ”
 kusu a=e=tura wa e=ek ruwe ne wa”
 ので (人がお前を)連れ て (お前)来る こと だ よ

そのためにおまえは連れて来られたのだよ」

65 セコロ トニン ハウエアン ルウェ ネ イネ
 sekor tonin hawean ruwe ne _hine
 と ミミズ 言う こと で して

と言うので

エアラキンネ アエキマテク コロカ
 earkinne a=ekimatek korka
 本当に (私)驚く けれど

本当に驚いたけれど

エネネ ヒ カ イサム。
 enene hi ka isam.
 どうする こと も ない

どうしようもありません。

ホシピアン カ アエアイカツ ペ ネ クス
 hosipi=an ka a=eaykap pe ne kusu
 帰る(私) も (私)できない もの だ から

帰ることもできないので

キマテカン コロ アナン ヒケ カ
 kimatek=an kor an=an hike ka
 焦る(私) ながら いる(私) して も

焦っていましたが

70 エチンケ ソイエネ カ ソモ キ アイネ
 ecinke soyene ka somo ki ayne
 海亀 外に出る も しない うちに

海亀は外にも出て来ませんでした。

エチンケ ソイネ ヒネ オラ
 ecinke soyne hine ora
 海亀 外に出 て こんど

やがて海亀が出て来て

“ヘタク アフパン ロ”
 “hetak ahup=an ro”
 早く 入る(私達) しよう

「さあ入ろう」

セコロ エチンケ ハウエアン コロ
 sekor ecinke hawean kor
 と 海がけ 言い ながら

と言って

サル シレン ルウェ ネ アクス
 saru siren ruwe ne akusu
 猿 連れる こと だっ たところ

猿を連れて行こうとしたところ

75 サル エネ ハウエアニ。
 saru ene hawean _hi.
 猿 こう言った

猿はこう言いました。

“アコロ サンペヘ
 “a=kor sanpehe
 (私)の 肝

「私の肝は

ニ カ タ アサツケ ア プ
 ni ka ta a=satke a p
 木 の上 に (私)干し た もの

木の上に干しておいたのを

アオイラ ヒネ エカン ワ
 a=oyra hine ek=an wa
 (私)忘れ て 来る(私) して

忘れて来たのだ。

アサンペヘ カ イサム ペ ネ ”
a=sanpehe ka isam pe ne”
(私の)肝 も ない もの だ

私には肝がないのだよ」

80 セコロ サル ハウエアン ルウェ ネ アクス
sekor saru hawean ruwe ne akusu
と 猿 言う こと だっ たところ

すると

オラ エチンケ ヤイヌ フミ アニ。
ora ecinke yaynu humi an _hi.
こんど 海亀 思う こと こうだった

海亀は

“サンペヘ カ イサム サル
“sanpehe ka isam saru
肝 も ない 猿

「肝もない猿を

アアフンケ ヒケ カ マク ネ プ アン”
a=ahunke hike ka mak ne p an”
(私)入れ て も どう なる の だ

家に入れてもどうするのだ」

セコロ エチンケ ヤイヌ ワ
sekor ecinke yaynu wa
と 海亀 思っ て

と思いました。

85 “ネ サンペヘ アウケ ワ
“ne sanpehe a=uk wa
その 肝 (私)取っ て

「その肝を持って

エカン ワ エアシリ”
ek=an wa easir”
来る(私) して それから

来てからのことだ」

セコロ サル ハウエアン ペ ネ クス
sekor saru hawean pe ne kusu
と 猿 言う もの だ から

と猿が言うので

ネ サンペヘ アウケ クス
ne sanpehe a=uk kusu
その 肝 (私)取る ために

肝を取りに

オラ スイ エチンケ カシ タ
ora suy ecinke kasi ta
こんど また 海亀 の上 に

猿はまた海亀の上に

90 アアン ルウェ ネ アクス
a=an ruwe ne akusu
座る(私) こと だっ たところ

座って

オラノ アラキアン ヒネ
orano arki=an hine
そして 来る(私) して

戻り

ネ… ヤ タ… ヤ オシライエアン パクノ
ne... ya ta... ya osiraye=an pakno
その 陸 に 陸 に上がる(私) まで

陸に上陸するところまで

エカン ヒ クス
ek=an hi kusu
来る(私) だ から

来たので

シララ カ タ テレケアン テク ヒネ
sirar ka ta terke=an tek hine
磯 の上 に 跳ねる(私) さっと して

岩の上に跳びあがりました。

95 ネ サル テレケ テク イネ
ne saru terke tek _hine
その 猿 跳ねる さっと して

猿は跳ねて

オラ イヨッタ ヌプリ ケウエリ ヌプリ
ora iyotta nupuri keweri nupuri
こんど 一番 山 高い 山

一番高い山に

トゥラシアン。
turasi=an.
登って行く(私)

登って行きました。

オラ ヌプリ カ タ イヨッタ ケウエ…
ora nupuri ka ta iyotta kewe…
こんど 山 の上 に 一番 高い

その山の一番高い

チクニ トウラシ アラパアン ヒネ
cikuni turasi arpa=an hine
木 登って 行く(私) して

木に登って

100 ネ ニ カ タ サル アラパ ヒネ
ne ni ka ta saru arpa hine
その 木 の上 に 猿 行っ て

行って

ニ カ タ シノツ コロ アン。
ni ka ta sinot kor an.
木 の上 で 遊び ながら いる

木の上で遊んでいました。

ラポッケ オラ ネ エチンケ アナクネ
rapokke ora ne ecinke anakne
そのうちに こんど その 海亀 は

しばらく海亀は

サル ネ サンペ ウク ワ ラン ペ ネ
saru ne sanpe uk wa ran pe ne
猿 その 肝 取っ て 下る もの だ

猿が肝を取って下りて来るだろう

クナク ラム ワ
kunak ramu wa
と 思っ て

と思って

105 オラノ テレ ワ アン ヤッカ
orano tere wa an yakka
そして 待っ て い ても

待っていましたが

サル ホシピ カ ソモ キ。
saru hosipi ka somo ki.
猿 帰る も しない

帰って来ませんでした。

ラン カ ソモ キ プ ネ クス
 ran ka somo ki p ne kusu
 下る も しない ものだ から

下りて来ないので

オラノ エチンケ テレ ワ アン アイネ
 orano ecinke tere wa an ayne
 そして 海亀 待つ て いる うちに

海亀は待ちながら

オラ エチンケ エネ ヤイヌ ヒ
 ora ecinke ene yaynu hi
 こんど 海亀 このように思った

こう思いました。

110 “ きっとあの ネ サル エウン
 “ ne saru eun
 あの 猿 に

「きっとあの猿に

トニン ウェンカムイ⁷
 tonin wenkamuy
 ミミズ 悪いやつ

ミミズの悪い奴が

タプネ ネ ヒ イェ ワ
 tapne ne hi ye wa
 こうである こと 言っ て

このようなわけだと教え

サル ヌ ワクス キラ クス
 saru nu wakusu kira kusu
 猿 聞く だから 逃げる ために

猿がそれを聞いて逃げるために

スンケ ワ ルラレ ヒ ネ ”
 sunke wa rurare hi ne ”
 嘘をつい て 運ばせる こと だ

嘘をつかれ運ばされたのだ」

115 クニ… オラ エアシリ エチンケ ヤイヌ ワ
 kuni... ora easir ecinke yaynu wa
 と こんど 初めて 海亀 思っ て

そこで初めて海亀は気がついたのです。

オラノ ネ エチンケ イルシカ ヒネ
 orano ne ecinke iruska hine
 それから その 海亀 怒っ て

海亀は

ネ トニン コイルシカ ワ クス
 ne tonin koyruska wa kusu
 その ミミズ に怒る だから

そのミミズに対して怒ったので

アコイパク ワ クス
 a=koypak wa kusu
 (私)罰する だから

罰を与えて

エチンケ ポネヘ カ
 ecinke ponehe ka
 海亀 骨 も

ミミズの骨を

7 こうした場合の kamuy は「神」と訳すよりは「やつ」という感じの蔑称と考えた方がしっくり来る。

120 オピッタ アエタイェ ワ クス
opitta a=etaye wa kusu
みんな (私)抜く だから

みんな引き抜いてしまったので

ネ トニン セコロ アイェ プ アナクネ
ne tonin sekor a=ye p anakne
その ミミズ と (人)言う もの は

ミミズというものは

ポネ サク ペ ネ セコロ アン。
pone sak pe ne sekor an.
骨 ない もの だ と いう

骨がないものだということです。

第9話 散文の物語

ぬかおにぎり ころがった

収 録 日：1999年9月29日

資料番号：35298B

添付 CD：6-4（6分37秒）

第9話 散文の物語「ぬかおにぎりころがった」⁽¹⁾

シサム
sisam…
和人

テ タ アン シサム アウ タ アン シサム
te ta an sisam aw ta an sisam
ここ に いる 和人 隣 に いる 和人

こちらの家の和人、隣の家の和人が

ネ ヒネ オカアン² ルウェ ネ ア プ
ne hine oka=an ruwe ne a p
で あって 暮らす(私達) こと だったが

暮らしていました。

テ タ アン シサム アナクネ エアラキンネ
te ta an sisam anakne earkinne
ここ に いる 和人 は とても

こちらの家の和人は本当に

5 アリキキ シサム ネ ヒネ
arikiki sisam ne hine
働き者 和人 で そして

働き者で

エキムネ コロ ウサ ニナ ネ ヤ キ ワ
ekimne kor usa nina ne ya ki wa
山に行く と 色々 薪取り だ とか し て

山に行くとまき取りなどをして

セ カネ ワ シサム コタン オルン
se kane wa sisam kotan or un
背負っ て 和人 村 の所 に

それを背負って

アラパ コロ
arpa kor
行く と

シサム コタン タ ネ セ ワ アラパ
sisam kotan ta ne se wa arpa
和人 村 に その 背負っ て 行く

和人の村に行き

10 チクニ アホク ワ アイコレ コロ
cikuni a=hok wa a=i=kore kor
まき (人)買っ て (人が私に)くれる と

まきを売って

オロ タ ムル アイタサレ ワ
oro ta mur a=i=tasare wa
そこ で ぬか (人が私と)交換し て

そこでぬかと交換して

-
- 1 調査年月日は1999年9月29日。アイヌ民族博物館のアイヌ文化教室「口承文芸の夕べ」の事前調査として上田トシ氏宅で行われた。調査者は本田優子氏。アイヌ民族博物館音声資料35300Aに同話の別録音がある。上田トシさんはこの話を、田村すず子編著『アイヌ語音声資料3—サダモさんの昔話—』所収「ぬかおにぎりころがった」(話者：平賀サダ)(pp.22-25)を聞いて覚えたと思われる。この話も日本民話の「おむすびころりん」がアイヌ文化に伝わったもので、こうしたタイプの話は、いわゆる「ペナンペ晰」に近い内容なので違和感なく受け入れられたのではないかと想像される。
- 2 物語の語り出しは三人称だが、徐々にアa=、アン=an(私が)、イi=(私に)という人称に移行する傾向になる。日本語訳は三人称で統一することとした。

アコロ ワ イワカン ワ
a=kor wa iwak=an wa
(私)持っ て 帰る(私) して

いました。

ネ ムル タクタク アエ コロ
ne mur taktak a=e kor
その ぬか おにぎり (私)食べながら

そのぬかのおにぎりを食べて

アナン ペ ネ コロカ
an=an pe ne korka
暮らす(私) もの だ けれど

暮らしていたのですが

15 アリキキアン ペ ネ クス
arikiki=an pe ne kusu
頑張る(私) もの だ から

働き者で

ケシト アン コロ ネ ムル タクタク
kesto an kor ne mur taktak
毎日 その ぬか おにぎり

毎日そのぬかでおにぎりを

アカラ コロ アナン ア プ
a=kar kor an=an a p
(私)作り ながら いる(私) した が

作っていました。

スイ シネアンタ
suy sineanta
また あるとき

またあるとき

ニナアン クス アラパアン ヒネ
nina=an kusu arpa=an hine
薪取りする(私) ために 行く(私) して

まきを取りに行って

20 オラ ネ ムル タクタク アカラ ヒネ
ora ne mur taktak a=kar hine
こんど その ぬか おにぎり (私)作る して

ぬかでおにぎりを作って

アコロ ワ アラパアン ア プ
a=kor wa arpa=an a p
(私)持っ て 行く(私) した が

持って行きました。

イペルスイアン ヒ クス
iperusuy=an hi kusu
お腹が空く(私) だ から

お腹が空いたので

アエ クナク アラム ワ
a=e kunak a=ramu wa
(私)食べる と (私)思っ て

食べようと思い

アサンケ ヒネ アエ クス ネ アクス
a=sanke hine a=e kusu ne akusu
(私)出し て (私)食べ ようとし たところ

取り出すと

25 アテケヘ ワ アオピチ ルウェ… ヒ クス
a=tekehe wa a=opici ruwe… hi kusu
(私)の手 から (私)落とす こと だ から

手から落ちたので

アウク クス ネ アクス
a=uk kusu ne akusu
(私)取ろう とした ところ

取ろうとすると

イエトク ワ ネ カラカラセ ヒ クス
i=etok wa ne karkarse hi kusu
(私)の前 に その 転がる だ から

前に転がって行きました。

オシ アラパアン ワ
os arpa=an wa
後 行く(私) して

後ろから追いかけて

アウク クナク アラム コロ
a=uk kunak a=ramu kor
(私)取る と (私)思う と

取ろうとすると

30 イエトコ ワ スイ カラカラセ ワ
i=etoko wa suy karkarse wa
(私)の前 から また 転がっ て

また転がって

アラパ アイネ
arpa ayne
行く うちに

行ったあげくに

ポロ スイ アン アクス
poro suy an akusu
大きい 穴 あった ところ

大きな穴があって

ネ スイ オルン アフン ヒ クス
ne suy or un ahun hi kusu
その 穴 の所 に 入る だ から

そこに入ってしまった。

オラ オシ アフナン ルウエ ネ アクス
ora os ahun=an ruwe ne akusu
こんど 後 入る(私) こと だっ たところ

そこで後から穴に入って行くと

35 スイ オツ タ
suy or_ ta
穴 の所 に

穴の中で

ポロンノ マツカチ ネ ヤ
poronno matkaci ne ya
大勢 女の子 だ とか

大勢の女の子や

オツカヨ ネ ヤ シノツ コロ オカ ヒネ
okkayo ne ya sinot kor oka hine
男 だ とか 遊び ながら い て

男の人が遊んでいました。

オラ オンネ エカシ カ アン
ora onne ekasi ka an
こんど 老紳士 も いる

年を取ったおじいさんや

オンネ フチ カ アン ルウエ ネ ヒネ
onne huci ka an ruwe ne hine
老 婦人 も いる こと であっ て

おばあさんもいて

40 ネ オンネ エカシ エネ ハウエアニ。
 ne onne ekasi ene hawean _hi.
 その 老 紳士 このように言った

そのおじいさんがこう言いました。

“ホクレ ホクレ
 “hokure hokure
 さあ 早く

「さあ早く

シサム オッカヨ アイヌ オッカヨ
 sisam okkayo aynu okkayo
 和人 男 人間 男

和人の旦那さん、人間の旦那さんに

イペレ ヤン イペレ ヤン。
 ipere yan ipere yan.
 食べさせ なさい 食べさせ なさい

食事をお出ししなさい。

ポロンノ ウサ ピリカ アエプ ネ ヤ
 poronno usa pirka aep ne ya
 たくさん いろいろ 良い 食べ物 だ とか

たくさんおいしい食べ物や

45 ウサ サケ ネ ヤ ポロンノ アン クス
 usa sake ne ya poronno an kusu
 色々 酒 だ とか たくさん ある ので

酒があるので

ポロンノ イペレ ヤン イペレ ヤン”
 poronno ipere yan ipere yan”
 たくさん 食べさせ なさい 食べさせ なさい

食べさせなさい」

セコロ ハウエアン ネ エカシ キ アクス
 sekor hawean ne ekasi ki akusu
 と 言う その 老人 し たところ

と言って

オラノ ポロンノ ピリカ アエプ
 orano poronno pirka aep
 そして たくさん 良い 食べ物

たくさんのおいしい食べ物を

アイエレ
 a=i=ere
 (人が私に)食べさせる

食べさせてくれました。

50 アエ カ アエラミシカリ アエプ アエ。
 a=e ka a=eramiskari aep a=e.
 (私)食べる も (私)経験がない 食べ物 (私)食べる

食べたこともないものを食べて

ウサ サケ ネ ヤ キ
 usa sake ne ya ki
 色々 酒 だ とか する

酒を飲み

オラ インカラアン コロ
 ora inkar=an kor
 こんど 見る(私) と

見ると

ウサ オカイ ペ
 usa okay pe
 色々 ある もの

いろいろなもの

アエプ イキリヒ アン ルウェ
aep ikirihi an ruwe
食べ物 列 ある こと

食べ物が並んでいることに

55 アオクンヌレ コロ
a=okunnure kor
(私)驚き ながら

驚きつつ

ア… イペアナアナ ルウェ ネ アクス
a… ipe=an a an a ruwe ne akusu
たくさん食事する(私) こと だっ たところ

食べていました。

オラ ネ オンネクル
ora ne onnekur
こんど その 老紳士

するとその老人は

“エホシピ コロ ラポク アナクネ
“e=hosipi kor rapok anakne
(お前)戻る と その間 は

「あなたが帰るときは

ネプ ネ ヤッカ
nep ne yakka
何 で も

何でも

60 エコン ルスイ ペ アナクネ
e=kor_ rusuy pe anakne
(お前)持つ したい もの は

欲しいものを

ポロンノ アエコレ クス ネ ナ。
poronno a=e=kore kusu ne na.
たくさん (私がお前に)あげる つもりだ よ

たくさん差し上げましょう。

エコロ ワ エホシピ クス ネ コロカ
e=kor wa e=hosipi kusu ne korka
(お前)持って (お前)帰る つもりだ けれど

あなたが帰るときに

パテク アシトマ プ チャペ ハウ
patek a=sitoma p cape haw
それだけ (私達)恐れる もの 猫 声

ただ恐ろしいのは猫の声

パテク アシトマ プ ネ ナ。
patek a=sitoma p ne na.
だけ (私達)恐れる もの だ よ

なのです。

65 イカン チャペ ハウ エキ ナ ”
ikan cape haw e=ki na”
決して 猫 声 (お前)する よ

決して猫の声を出さないでください」

セコロ ネ オンネクル イエ ヒ コロ
sekor ne onnekur ye hi... kor
と その 老紳士 言う しつつ

と言いました。

イペアン ネ ヤ
ipe=an ne ya
食事をする(私)だ とか

食事をして

オラ ウサ アマム
ora usa amam
こんど 色々 穀物

いろいろな穀物や

ウサ アミプ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
usa amip ne yakka nep ne yakka
いろいろ 着物 で も 何 で も

着物も何でも

70 ポロンノ アイコレ ワ
poronno a=i=kore wa
たくさん (人が私に)くれ て

たくさんくれました。

オラノ アセ ワ エカニネ
orano a=se wa ek=an hine
そして (私)背負っ て 来る(私) して

それを背負って

アウニ タ エカニネ オラノ
a=uni ta ek=an hine orano
(私の)家 に 来る(私) して そして

家に帰って来てからは

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep a=esirkirap ka somo ki no
何 (私)苦勞する も しない で

何を困ることもなく

アナン アイネ… ルウエ ネ アクス
an=an ayne… ruwe ne akusu
暮らす(私) うちに こと だっ たところ

暮らしました。

75 アウ タ アン シサム エキネ
aw ta an sisam ek_hine
隣 に いる 和人 来 て

隣の家の和人が来て

“マク ネ ヒネ
“mak ne hine
どう で して

「一体どうして

エネ エニシパ ネ ”
ene e=nispa ne”
このように (お前)長者 になる

このように長者になったのだ」

セコロ ハウエアン ヒ クス
sekor hawean hi kusu
と 言う だ から

と言うので

タプネ カネ ネ ヒ
tapne kane ne hi
このようなわけ である こと

わけを話すと

80 アイエ ルウエ ネ アクス
a=ye ruwe ne akusu
(私)言う こと だっ たところ

ネ アウ タ アン シサム
ne aw ta an sisam
その 隣 に いる 和人

その隣の家の和人は

キム タ アラパ ヒネ ニナ コロ
kim ta arpa hine nina kor
山 に 行っ て 薪取りして

山へまき取りをしに

ネ ムル タクタク コロ ワ エキムネ コロカ
ne mur taktak kor wa ekimne korka
その ぬか おにぎり を持っ て 山に行く けれど

ぬかのおにぎりを持って行きました。

オラ ナ イペルスイ カ ソモ キ コロカ
ora na iperusuy ka somo ki korka
こんど まだ お腹が空く も しない けれど

お腹が空いてもいないのに

85 トウナシノ アカラカラセレ ヤクン
tunasno a=karkarsere yakun
早く (私)転がす ならば

早くに転がして

オシ アラパアン セコロ ヤイヌ ヒ クス
os arpa=an sekor yaynu hi kusu
後 行く(私) と 思う だ から

後ろから追いかけてようと思いました。

エ クス ネ アクス
e kusu ne akusu
食べる つもり だっ たところ

食べようとした拍子に

テケヘ ワ トウルセレ アクス
tekehe wa tursere akusu
手 から 落とし たところ

手から落とし

オラ エイタサ カラカラセ カ
ora eytasa karkarse ka
こんど あまり 転がる も

あまり転がっても

90 ソモ キ ヒケ カ
somo ki hike ka
しない に も

いないのに

オシ アラパ ヒネ ケマハ アニ
os arpa hine kemaha ani
後 行っ て 足 で

後ろから追いかけて足で

ルトウルトウ ヒネ アラパ ヒネ… ア プ
ruturutu hine arpa hine... a p
けとばし て 行く して したが

けとばして行きました。

オラ ポロ スイ アン アクス
ora poro suy an akusu
こんど 大きい 穴 あっ たところ

すると大きな穴があって

ネ スイ オルン
ne suy or un
その 穴 の所 に

そこに

95 ネ ムル タクタク アフン ヒ クス
ne mur taktak ahun hi kusu
その ぬか おにぎり 入る だ から

おにぎりが入ったので

オシ アフナン ルウェ ネ アクス
os ahun=an ruwe ne akusu
後 入る(私) こと だっ たところ

入って行くと

ポロンノ マツカチ ネ ヤ
poronno matkaci ne ya
大勢 女の子 だ とか

大勢の女の子や

オッカヨ ネ ヤ ポロンノ オカ ヒネ
okkayo ne ya poronno oka hine
男 だ とか 大勢 い て

男性がいました。

オンネ フチ エカシ カ オカ ヒネ
onne huci ekasi ka oka hine
老婦人 老紳士 も い て

年を取ったおばあさんやおじいさんもいて

100 “ヘタク ヘタク ポロンノ
“hetak hetak poronno
さあ 早く たくさん

「さあさあたくさん

イペレ ヤン イペレ ヤン”
ipere yan ipere yan”
食べさせ なさい 食べさせ なさい

食事をお出しなさい」

セコロ オンネ エカシ ハウエアン コロ
sekor onne ekasi hawean kor
と 老紳士 言い ながら

とおじいさんが言いました。

“ポロンノ イペ ヤン。
“poronno ipe yan.
たくさん 食べ なさい

「たくさん食べてください。

オラ アミプ ネ ヤツカ
ora amip ne yakka
そして 着物 で も

着物でも

105 アエプ ネ ヤツカ
aep ne yakka
食べ物 で も

食べ物でも

ポロンノ アエコレ クス ネ ナ”
poronno a=e=kore kusu ne na”
たくさん (私がお前に)あげる つもり だ よ

たくさん差し上げますよ」

セコロ ハウエオカパ コロ
sekor haweokapa kor
と 言う と

と言うので

イペアナアナ コロ アナン。
ipe=an a an a kor an=an.
たくさん食べる(私) ながら いる(私)

たくさん食べました。

“パテク アシトマ プ チャペ ハウ
“patek a=sitoma p cape haw
それだけ (私達)恐れる もの 猫 声

「ただ恐ろしいと思うものは猫の声

110 パテク アシトマ プ ネ ナ。
patek a=sitoma p ne na.
だけ (私)恐れる ものだ よ

なのです。

イカン チャペ ハウ ソモ エキ ヤカナクネ
ikan cape haw somo e=ki yakanakne
決して 猫 声 しない (お前)する ならば

決して猫の声を出さないでくれたなら

ネプ ネ ヤツカ
nep ne yakka
何 で も

何でも

エセ ワ エホシピ ネ ナ”
e=se wa e=hosipi ne na”
(お前)背負って (お前)帰る のだ よ

持って帰れますよ」

セコン ネ オンネ エカシ
sekor_ ne onne ekasi
と その 老紳士

とその老人が

115 ハウエアン ルウエ ネ クス
hawean ruwe ne kusu
言う こと だ から

言うので

オラ ポロンノ イペアン カ キ。
ora poronno ipe=an ka ki.
こんど たくさん 食べる(私) も する

たくさん食べました。

エネ ポロンノ ウサ オカイ ペ アン ペ
ene poronno usa okay pe an pe
こんな たくさん 色々 ある もの ある もの

このようにたくさんのものである中で

チャペ ハウ アキ ヤクン
cape haw a=ki yakun
猫 声 (私)する ならば

猫の声を出したら

タア オカ ウタラ オピッタ イサム ヘネ
taa oka utar opitta isam hene
こう いる 人達 みんな いなくなる とか

この者たちはみんないなくなるか

120 ライ ヘネ キパ ヤクン
ray hene kipa yakun
死ぬ とか する ならば

死んでしまうか。そうしたならば

タア ポロンノ アン アマム ネ ヤ
taa poronno an amam ne ya
この たくさん ある 穀物 だ とか

このたくさんの穀物や

アミプ ネ ヤツカ アコロ ワ イワカナ。
amip ne yakka a=kor wa iwak=an a.
着物 だ とか (私)持つ て 帰る(私) よ

着物を持って帰ろう。

アエニシパネ ヤク… ナンコロ
a=enispane yak... nankor
(私)それで長者になる と だろう

それで長者になれるだろう

セコロ ヤイヌ ワ ポロ チャペ ハウ
 sekor yaynu wa poro cape haw
 と 思っ て 大きい 猫 声

と 思っ て 大 声 で 猫 の 声 を

125 アキ アクス
 a=ki akusu
 (私)し た ところ

出 す と

ナ… ネ オカ ウタラ カ
 na… ne oka utar ka
 その いる 人達 も

そ の 人 た ち に

マク ネ ワ ネ ヤ
 mak ne wa ne ya
 どう し て だ か

ど う し た こ と か

イカ ウン トイ ホルツケ ワ
 i=ka un toy horutke wa
 (私)の 上 に 土 かけ て

上 に 土 を かけ ら れ て

トイ ライ ウェン ライ ルウエ ネ
 toy ray wen ray ruwe ne
 ひ ど い 死 ぬ 悪 い 死 ぬ こ と だ

ひ ど い 死 に 方 を し た の で す

130 セコロ アウ タ アン シサム イソイタク
 sekor aw ta an sisam isoytak
 と 隣 に いる 和 人 物 語 る

と 隣 の 家 の 和 人 が 物 語 り ま し た

セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と さ

と さ 。

第 1 0 話 散文の物語

石狩を守るクモ神の
夢を見たパロアッテ

収 録 日：1999 年 06 月 15 日

資料番号：35299B

添付 CD：6-5（13 分 46 秒）

第 10 話 散文の物語「石狩を守るクモ神の夢を見たパロアッテの話」¹⁾

(石狩の長者が語る)

パクノ ニシパ イサム ニシパ²⁾

pakno nispa isam nispa

それほどの 長者 いない 長者

私は並ぶ者のない長者

アネ ヒネ オカアン ペ ネ ワ

a=ne hine oka=an pe ne wa

(私)であって いる(私) もの であって

でした。

エキムネアン コロ

ekimne=an kor

山獺に行く(私) と

山獺に行くと

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ

yuk ne ciki kamuy ne ciki

シカ で も クマ で も

シカやクマを

5 アエアウナルラ コロ

a=eawnarura kor

(私)にとって来 ながら

とって来て

オカアン ペ ネ コロカ

oka=an pe ne korka

暮らす(私) もの だ けれど

いました。

アコタヌ タ シネ オツカイボ

a=kotanu ta sine okkaypo

(私の)村 に ある 若者

私の村には

エアラキンネ ケウトウム アラムオシマ

earkinne kewtum a=ramuosma

とても 気持ち (私)合う

とても気の合う

オツカイボ アン ペ ネ ワ

okkaypo an pe ne wa

若者 いる もの であって

若者が住んでいて

10 ネ オツカイボ アトゥラ カネ ワ

ne okkaypo a=tura kane wa

その 若者 (私)連れる も して

その男と一緒に

パテク エキムネアン ワ

patek ekimne=an wa

ばかり 山獺に行く(私) して

いつも山獺に行っていました。

1 調査年月日は 1999 年 6 月 15 日。場所はアイヌ民族博物館館長室、調査者は藤村久和氏。13 日から実施のイオマンテに来館した古老ら数名、及び村木美幸が同席している。上田トシ氏はこの話の伝承経路については何も語っていない。この調査の一年前に刊行された『萱野茂のアイヌ神話集成 第 4 巻』所収「ヤオシケブ イピリマ (クモ神に助けられた話)」(話者：木村うしもんか) (pp.82-100) がほぼ同じ内容である。

2 パクノ ニシパ イサム ニシパ pakno nispa isam nispa (それほどの 長者 いない 長者)で「誰よりも立派な長者」という慣用句。

クチャコロアン ヤッカ
kucakor=an yakka
狩り小屋をつくる(私) も

狩り小屋を作るのも

エキムネ… イット エキムネアン ヤッカ
ekimne… itto ekimne=an yakka
山に 泊まりで 山獵に行く(私) も

泊りで山獵に行くのも

ネ オツカイポ アトウラ カネ ワ パテク
ne okkaypo a=tura kane wa patek
その 若者 (私)連れる も して

いつもその若者と

15 エキムネアン コロ アナン ペ ネ ア プ
ekimne=an kor an=an pe ne a p
山獵に行き(私) ながら いる(私) もの だった が

一緒でした。

… ワ…
… wa…

クチャ オツ タ アラパアン ヒネ
kuca or_ ta arpa=an hine
狩り小屋 の所 に 行く(私) して

狩り小屋に行つて

ヌプリ カ ワ インカラアン コロ
nupuri ka wa inkar=an kor
山 の上 から 見る(私) と

山の上から見たところ

エアラキンネ イシカラ ル オロケヘ
earkinne iskar ru orkehe
とても 石狩 川筋 の所

本当に石狩川の川筋の

20 ピリカ ルウェ アコオヨイセ ヒ クス
pirka ruwe a=kooyoyse hi kusu
きれいな こと (私)心惹かれる だ から

きれいなことに心惹かれ

ネイ タ カ ネ イシカン ル オロケ ウン
ney ta ka ne iskar_ ru orke un
いつ に か その 石狩 川筋 の所 に

いつかその石狩川の川筋に

パイェアン ワ
paye=an wa
行く(私) して

行つて

インカラ ポカ アキ セコロ
inkar poka a=ki sekor
見る でも (私)する と

見るだけでもしてみたいと

ヤイヌアン コロ アナン ペ ネ ア ヒ クス
yaynu=an kor an=an pe ne a hi kusu
思う(私) ながら いる(私) もの だった だ から

思っていました。

25 シネアンタ スイ
sineanta suy
あるとき また

ある時また

アコロ オッカイポ アシレン ヒネ
a=kor okkaypo a=siren hine
 (私)の 若者 (私)連れ て

若者を連れて

アトゥラ カネ ヒネ パイエアン ヒネ
a=tura kane hine paye=an hine
 (私)連れる も して 行く(私) して

出かけて行って

アコロ クチャ オツ タ カ
a=kor kuca or_ ta ka
 (私)の 狩り小屋 の所 に も

狩り小屋に

ヘノイエアン カ ソモ キ ノ
henoye=an ka somo ki no
 寄る(私) も しない で

寄ることもせずに

30 ナニ イシカラ ル オロケ
nani iskar ru orke
 すぐ 石狩 川筋 の所

すぐに石狩川筋に

アオラプ ルウェ ネ アクス
a=orap ruwe ne akusu
 (私)下る こと だっ たところ

山を下って行きました。

イネアプタ イシカン ル オロケ
ineapta iskar_ ru orke
 なんとまあ 石狩 川筋 の所

なんとまあ石狩川の川筋が

ピリカ ルウェ アコオヨイセ
pirka ruwe a=kooyoyse
 美しい こと (私)心惹かれる

きれいなことに心惹かれる

シリ マクナタラ
sir maknatara
 あたりに広がる

景色が広がっていました。

35 オラ ニタイ チョロボク ネ ヤツカ
ora nitay corpok ne yakka
 こんど 林 の下 で も

林の下にも

チコイキプ ル シレシク ルウェ
cikoykip ru siresik ruwe
 獲物 足跡 満ちる こと

獲物の足跡に満ちていることに

アオクンヌレ コロ
a=okunnure kor
 (私)驚き ながら

驚きつつ

ネ イシカン ル オロケ タ
ne iskar_ ru orke ta
 その 石狩 川筋 の所 に

その石狩川の川筋に

ラパン ルウェ ネ ヒネ
rap=an ruwe ne hine
 下る(私) こと し て

下りて行きました。

40 シネ アンチカラ レウシアン ワ
sine ancikar rewsian wa
ひと 晩 泊る(私) して

一晩泊って

オラ ホシピアン クナク
ora hosipi=an kunak
こんど 帰る(私) と

帰ろうと

アラム コロ ネ コロカ
a=ramu kor ne korka
(私)思い ながら だ けれど

思ったのですが

ソイ ウン レウシ カ アエトランネ ヒ クス
soy un rews ka a=etoranne hi kusu
外 に 泊る も (私)嫌がる だ から

外に寝るのは嫌なので

オラ アコロ オツカイポ トウラノ
ora a=kor okaypo turano
こんど (私)の 若者 と一緒に

あの若者と

45 ムン エウカオマ プ アカラ ヒネ
mun eukaoma p a=kar hine
草 を重ねて敷く もの(私)作っ て

草を重ねて敷いて

オロ タ
oro ta
そこ に

そこに

レウシアン ウシケ アカラ カ キ ヒネ
rewsian uske a=kar ka ki hine
泊る(私) 場所 (私)作る も し て

寝床を作り

オカアン ルウェ ネ ア プ
oka=an ruwe ne a p
いる(私達) こと だっ た が

ました。

オラ ネイ タ パイエアン ヤツカ
ora ney ta paye=an yakka
こんど どこ に 行く(私) しても

どこに行っても

50 アコロ オツカイポ
a=kor okaypo
(私)の 若者

あの若者が

スケ ネ ヤ ニナ ネ ヤ キ ラポッケ
suke ne ya nina ne ya ki rapokke
炊事 だ とか 薪取り だ とか する その間

炊事をしたりまき取りをしたりするので

ヤイカタ アナクネ アイカラアン コロ パテク
yaykata anakne aykar=an kor patek
私 は 矢を作る(私) ながら ばかり

私は矢を作っただけ

アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
いる(私) もの だっ た が

いました。

- スイ アコロ オツカイポ
suy a=kor okkaypo
また (私)の 若者 若者が
- 55 スケエトコイキ ネ ヤ
sukeetokoyki ne ya
食事の準備をする だ とか 食事の準備や
- ネン ネン… ラポツケ アイカラアン コロ
nen nen… rapokke aykar=an kor
いろいろ その間 矢を作る(私) と いろいろなことをしている間に私が矢を作り
- オラ アコロ オツカイポ トウラノ
ora a=kor okkaypo turano
こんど (私)の 若者 と一緒に 若者と一緒に
- アウコウサライエ ランケ コロ
a=ukousaraye ranke kor
(私)分け合う 何度もし ながら いつも分け合って
- オカアン ペ ネ ア イ クス
oka=an pe ne a _hi kusu
いる(私達) もの だっ た ので いました。
- 60 スイ アイカラアン コロ アナン ラポツケ
suy aykar=an kor an=an rapokke
また 矢を作る(私) ながら いる(私) うちに その日もまた私が矢を作っていると
- アコロ オツカイポ
a=kor okkaypo
(私)の 若者 若者は
- スケ オケレ ルウェ ネ ヒネ オラ
suke okere ruwe ne hine ora
料理 終える こと で して こんど 料理が終わって
- イコイプニ ワ イペアン カ キ
i=koypuni wa ipe=an ka ki
(私に)食事を出し て 食事する(私) も する 給仕をしてくれたので食事をしました。
- アコロ オツカイポ カ イペ カ キ
a=kor okkaypo ka ipe ka ki
(私)の 若者 も 食事し も する 若者も食事をして
- 65 ルウェ ネ ヒネ オラ オカアン アクス
ruwe ne hine ora oka=an akusu
こと し て こんど いる(私達) ところ いたのですが
- エアラキンネ アコロ オツカイポ
earkinne a=kor okkaypo
とても (私)の 若者 その男は
- アイスイエ コロ アン。
aysuye kor an.
居眠りし ながら いる 居眠りを始めました。

タネ タネ ホクシ アンキ
tane tane hokus anki
もう もう 転び そうになる

転がりそうになりながら

エンプイナ アンキ イキ コロ
enpuyna anki iki kor
つんのめり そうに し ながら

つんのめりかけながら

70 アイスイエ コロ アン シリ
aysuye kor an siri
居眠りをし ながら いる 様子

居眠りをしている様子を

アエミナルスイ コロ
a=eminarusuy kor
(私)笑いそうになり ながら

私は笑いをこらえて

アヌカン ランケ コロ アナナクス
a=nukar_ranke kor an=an akusu
(私)見る 何度もし ながら 見る(私) ところ

見ていました。

オラ ソンノ カ アイスイエ アイネ オラ
ora sonno ka aysuye ayne ora
こんど 本当に も 居眠りをする うちに こんど

そして本当に眠り込み

ヤイホクシテ テク アクス
yayhokuste tek akusu
自分で転ぶ さっと したところ

転がって

75 オラ モコロ ワ アン コロカ
ora mokor wa an korka
こんど 寝 て いる けれど

眠ってしまいましたが

シンキ ワクス
sinki wakusu
疲れた だから

疲れたので

モコン ルスイ ヒ ネ クニ アラム コロ
mokon_rusuy hi ne kuni a=ramu kor
寝 たい ことだ と (私)思い ながら

眠たいのだろうと思って

モシマノ アナン ルウェ ネ アクス
mosmano an=an ruwe ne akusu
静かに いる(私) こと だっ たところ

静かにしていました。

オラノ モコロ アイネ モシ ヒネ
orano mokor ayne mos hine
そして 寝る うちに 目覚め て

やがて目覚めて

80 ホプニ アクス オラ エネ ハウエアニ。
hopuni akusu ora ene hawean _hi.
起き たところ こんど このように言った

起き上がりこのように言いました。

“ネン カ ウウェペケレ ヘネ ユカラ ヘネ
“nen ka uwepeker hene yukar hene
誰 か 散文説話 でも 英雄叙事詩 でも

「誰かが昔話でもユカラでも

キ コロ エク ソモ キ ア ”
 ki kor ek somo ki _ya”
 し に 来 ない か

しに来たのではないですか」

セコロ イコウウェペケンヌ イ クス
 sekor i=kouwepekennu _hi kusu
 と (私に)尋ねる だ から

と私に尋ねるので

“ヒナク ワ…
 “ hinak wa…
 どこ から

「どこから…」

85 イウオロ オツ タ オカアン ペ
 iwor or_ ta oka=an pe
 狩り場 の所 に いる(私) もの

狩り場にいる者のところに

フンナ エク ワ
 hunna ek wa
 誰 来 て

誰が来て

ウウェペケレ ユカラ ペ アン ”
 uwepeker yukar pe an”
 民話する ユーカラする もの ある

昔話やユカラをするというのだ」

セコロ ハウエアナン ルウェ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ

と言うと

オラ エネ ハウエアニ。
 ora ene hawean _hi.
 こんど このように言った

男はこう言いました。

90 “モコンルスイアン アイネ
 “ mokonrusuy=an ayne
 眠たい(私) あげく

「眠たくて

ヤイホクシテアン アクス
 yayhokuste=an akusu
 自分で横になる(私) ところ

横になったところ

ウエンタラパン イ クス
 wentarap=an _hi kusu
 夢を見る(私) だ から

夢を見たのです。

アレヘ パロアッテ⁶ セコロ
 a=rehe paroatte sekor
 (私の)名 パロアッテ と

私の名はパロアッテと

アレヘ アン ペ ネ ア プ
 a=rehe an pe ne a p
 (私の)名 ある もの だっ た が

いうのですが

95 アペエトク タ クンネ コソソテ ウトムチウレ
apeetok ta kunne kosonte utomciwre
横座 に 黒い 上等な着物 を着た

横座に黒い着物を着た

カムイ ネ クス コラチ アン クル アニネ
kamuy ne kusu koraci an kur an_hine
神 だ から らしく ある 人 い て

神のような姿をした男が

エネ ハウエアニ。
ene hawean_hi.
このように言った

いてこう言いました。

‘タン パロアッテ
‘tan paroatte
これ パロアッテ

『これパロアッテよ。

イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ。
itak=an ciki e=inu katu ene an_hi.
言う(私) したら (お前)聞く 事情 こうだ

私が言うことをよく聞きなさい。

100 マク アニ クス
mak an_hi kusu
どう ある だ から

一体どうして

エコソ ルウオロ オツ タ エイラマンテ ヒケ
e=kor_ ruwor or_ ta e=iramante hike
(お前)の 土地 の所 で (お前)狩りをする のに

おまえの土地で獵をしても

エエオムケン ヘ キ
e=eomuken he ki
(お前)獲物がとれないでも する

獲物がとれないわけではないのに

チコイキプ ネ ヒネ
cikoykip ne hine
獲物 であつて

獲物を

エネ イシカルン エチアラキ…
ene iskar un eci=arki…
このように 石狩 に (お前達)来る

この石狩にとりに

105 エチアラキ ヒ カトウ アナクネ エネ アニ⁴。
eci=arki hi katu anakne ene an_hi.
(お前達)来る こと わけ は こうだ

来たのはこのようなわけなのだ。

リクン カント タ
rikun kanto ta
天の 国 に

天の世界には

チチケウ⁵ ニツネ イリワク オカ ヒネ
cicikew nitne irwak oka hine
チチケウ 悪い 兄弟 い て

チチケウの悪い兄弟がいて

4 ふたりが石狩に来たのは神の意向で来させたということだろう。

5 口承文芸に登場する化け物の類。人間に災いをもたらすとされる。地域によってはチチケウナ cicikewna とも。

タヌ克蘭 ネ
tanukuran ne
今夜 に

今夜

ネ チチケウ アイヌ モシルン
ne cicikew aynu mosir un
その チチケウ 人間の 国 に

そのチチケウが人間の世界に

110 ラッパ クニ ネ ヒネ
rappa kuni ne hine
降り ようと し て

降りて来ようとしていた。

オラノ カムイ ウタラ オツ タ
orano kamuy utar or_ ta
そして 神 達 の所 で

神の国では

チチケウ ニツネ アイヌ モシルン ラッパ ヤクン
cicikew nitne aynu mosir un rappa yakun
チチケウ 悪い 人間の 国 に 降りる ならば

チチケウが人間の国に降りて行ったならば

コタン ウエンテ モシリ ウエンテ クニ
kotan wente mosir wente kuni
村 荒らす 国 荒らす と

村や国を荒らしてしまうと

カムイ ウタラ エキマテクパ ヒネ
kamuy utar ekimatekpa hine
神 達 驚い て

神様達が心配して

115 カムイ エウコラムコロパ ルウェ ネ ヒネ
kamuy eukoramkorpa ruwe ne hine
神 相談する こと し て

相談し合ったのだ。

オラ チチケウ アエトウナンカラ ペ アナク
ora cicikew a=etunankar pe anak
こんど チチケウ (人)敵う もの は

チチケウに敵うものは

ネン カ オアリサム ペ ネ クス
nen ka oarar isam pe ne kusu
誰 も 全く いな い もの だ から

誰もいないので

オラ カムイ オツ タ アエウコラムコロ ヒ
ora kamuy or_ ta a=eukoramkor hi
こんど 神 の所 で (人)相談する こと

神様達が相談したのは

エネ アン ヒ。
ene an hi.
こうだった

こうだった。

120 ポイヤウンペ カムイ⁶
poyyaunpe kamuy
ポイヤウンペ 神

ポイヤウンペが

6 おもに英雄叙事詩 ユカラ yukar の主人公として登場する英雄神。

サモロ モシリ モシリ パケ タ
 samor mosir mosir pake ta
 隣の 国 国 の上手 に

隣の国の上手に

アイヌ モシリ コイケスイ ワ
 aynu mosir koikesuy wa
 人間の 国 に背を向け て

この国に背を向けて

アラパ ワ アン ペ
 arpa wa an pe
 行っ て いる もの

行ったのですが

ポイヤウンペ カムイ ラメトク ネ クス
 poyyaunpe kamuy rametok ne kusu
 ポイヤウンペ 神 勇者 だ から

ポイヤウンペは神の勇者なので

125 ポイヤウンペ ヘネ… ネ ヤクン セコロ アン
 poyyaunpe hene… ne yakun sekori an
 ポイヤウンペ でも である なら と いう

ポイヤウンペと見込んで

カムイ ウコラムコロアン ルウェ ネ ヒネ
 kamuy ukoramukor=an ruwe ne hine
 神 相談する(人) こと し て

神様は相談したのだ。

ネ ポイヤウンペ カムイ ラメトク エウン
 ne poyyaunpe kamuy rametok eun
 その ポイヤウンペ 神 勇者 へ

ポイヤウンペ、神の勇者に

アコアスラニ ルウェ ネ アクス
 a=koasurani ruwe ne akusu
 (人)知らせる こと だっ たところ

知らせたところ

ピリカ セコン ネ ルウェ ネ ヒネ
 pirka sekori ne ruwe ne hine
 良い と いう の で そして

了解してくれた。

130 オラ ポイヤウンペ カムイ エク クス ネ ワ
 ora poyyaunpe kamuy ek kusu ne wa
 こんど ポイヤウンペ 神 来る ことになっ て

そしてポイヤウンペが来ることになり

オラノ インカラアン ヒネ
 orano inkar=an hine
 そして 見る(私) して

見ると

アナノ ルウェ ネ アクス
 an=an ruwe ne akusu
 いる(私) こと だっ たところ

ネ サモロ モシリ ワノ ポイヤ…
 ne samor mosir wano poyya…
 その 隣の 国 から

隣の国から

ネプ カ ノチウ ネノ アン ペ⁷ エク ヒネ
 nep ka nociw neno an pe ek hine
 何 か 星 のような もの 来 て

何か星のようなものが来て

135 タン イシカラ ル オロケ タ オラプ シリ
 tan iskar ru orke ta orap siri
 この 石狩 川筋 の所 に 降りる 様子

この石狩川の川筋に降りる様子を

アヌカラ ルウェ ネ ア プ
 a=nukar ruwe ne a p
 (私)見る こと だっ た が

見たのだった。

オラノ アヌカラ フミ カ イサム コロ
 orano a=nukar humi ka isam kor
 そして (私)見る こと も なく て

そして見えなく

アナン アイネ
 an=an ayne
 いる(私) うちに

なってしまった。

スイ インカラアン ルウェ ネ アクス
 suy inkar=an ruwe ne akusu
 また 見る(私) こと だっ たところ

もう一度見ると

140 ネ マヌ… チチケウ
 ne manu... cicikew
 と いう チチケウ

チチケウが

リクン カント ワ カネ シンタ オ ワ
 rikun kanto wa kane sinta o wa
 天界 から 金 ゆりかごに乗っ て

天の国から金のゆりかごに乗って

メノコ ネ ヒケ
 menoko ne hike
 女 の ほう

女性のチチケウが

ホシキ ラン ルウェ ネ… コロ
 hoski ran ruwe ne… kor
 崎に 降りる こと で と

先に降りて来た。

インカラアン クス ネア ノチウ パクノ アン
 inkar=an kusu nea nociw pakno an
 見る(私) ので その 星 くらい ある

見るとそれは星のように

145 ミケミケ コロ エク ア プ
 mikemike kor ek a p
 輝き ながら 来 た が

輝きながら来る

オラ ポン チカッポ パクノ ネ ヒネ
 ora pon cikappo pakno ne hine
 こんど 小さい 鳥 くらい で そして

小さい鳥のようであった。

7 「星のようなもの」の正体がポイヤウンペということ。チチケウより先に石狩川筋に来て待ち伏せをしていたということだろう。

スイ ミケミケ コロ ネ リクン カント ワ
 suy mikemike kor ne rikun kanto wa
 また 輝き ながら その 天界 から

輝きながら天の国から

ラン シンタ オロ オシマ シリ
 ran sinta oro osma siri
 降りる ゆりかご の所 に乗る 様子

降りるゆりかごに乗って来るのを

アヌカラ ルウェ ネ ア プ
 a=nukar ruwe ne a p
 (私)見る こと だっ た が

見たのだった。

150 オラ オシ ネ イユプネクル⁸ コロ シンタ
 ora os ne iyupnekur kor sinta
 こんど 後 その 兄である人 の ゆりかご

後から兄であるチチケウのゆりかごが

コロ… スイ ラン ルウェ ネ アクス
 kor... suy ran ruwe ne akusu
 の また 降りる こと だっ たところ

また降りて来た。

ネア メノコ チチケウ
 nea menoko cicikew
 その 女 チチケウ

するとその女性のチチケウが

エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi.
 このように言った

このように言った。

“マク アニ クス
 “mak an _hi kusu
 どう いうこと から

《どうしたことか

155 エクシコンナ アオッシケ アラカ⁹ ワ… ペ
 ekuskonna a=ossike arka wa... pe
 突然 (私の)お腹 痛く て もの

突然私のお腹が痛くなったのに

オラ クスリ¹⁰ アオイラ ワ エカン
 ora kusuri a=oyra wa ek=an
 こんど 薬 (私)忘れ て 来る(私)

薬を忘れて来て

ルウェ ネ クス
 ruwe ne kusu
 こと だ から

しまいました。

スイ ホシピアン ワ
 suy hosipi=an wa
 また 帰る(私) して

また戻って

クスリ アウタ ワ エカン クス ネ ナ。
 kusuri a=uk wa ek=an kusu ne na.
 薬 (私)取っ て 来る(私) つもりだ よ

薬を持って来るつもりです。

8 イユクネクル iyuknekur と聞こえるが、意味するところはイユプネクル i-yup-ne-kur (その・兄・である・人)。

9 腹痛を起こさせたのはポイヤウンベか。

10 日本語「薬」からの移入語。

160 アユピヒ オッカヨ エネ ナ。
a=yupihi okkayo e=ne na.
(私の)兄 男 (お前)である よ

私の兄さんは男なのだから

ピリカノ ヤイセレマツコロ¹¹ ヤク ピリカ ナ
pirkano yaysermakkor yak pirka na”
よく 自分を守る と いい よ

よく自分を守っていてください》

セコロ ネ イマタキネ チチケウ
sekor ne imatakiné cicikew
と その 妹である チチケウ

とその妹のチチケウが

ユピヒ コイタクムイエ テク ア プ
yupihi koytakmuye tek a p
兄 に言い聞かせる さっと だっ たが

兄に言い置いてすぐに

ネア カネ シンタ アラウェカッタ
nea kane sinta a=rawekatta
その 金 ゆりかご (人)降りて来る

あの金のゆりかごが降りて来て

165 オラ スイ ネ オッカイ…
ora suy ne okkay…
こんど また その 男

その女の乗った

オ ア ラン ア シンタ カ
o a ran a sinta ka
乗って 降りた ゆりかご も

ゆりかごが

アラウェカッタ¹² シリ アヌカラ ア プ
a=rawekatta siri a=nukar a p
(人)降りて来る 様子 (私)見 た が

墜落するのを見たのだった。

オラ スイ ナニ
ora suy nani
こんど すぐ

すぐに

ネア ポン チカプ ネノ アン ペ
nea pon cikap neno an pe
あの 小さい 鳥 のようなもの

あの小さい鳥のようなものが

170 ミケミケ コロ エク ア プ
mikemike kor ek a p
輝き ながら 来 たが

輝きながら来たものが

ホシピ ルウェ ネ ヒ アナクネ
hosipi ruwe ne hi anakne
帰る こと であることは

戻っていくのは

11 ヤイセレマツコロ yay-sermakkor (自分・守護神がつく) という言い方は他に未見。

12 前掲書ではこの部分について「天に向かったその途中で、チチケウ化け物の妹は白骨と化して人間の国土へ落ちて行ってしまいました」と訳されている。

ポイヤウンペ ホシピ¹³ ルウェ ネ ワ
 poyyaunpe hosipi ruwe ne wa
 ポイヤウンペ 帰る こと であって

ポイヤウンペが戻って行ったようなので

エアラキンネ ウェン イヨクンヌレアン。
 earkinne wen iyokunnure=an.
 本当に ひどく 驚く(私)

ひどく驚いたのだ。

エチアリキ ネ チチケウ エチアリキ エカリノ
 eci=arki ne cicikew eci=arki ekarino
 (お前達)来る その チチケウ (お前達)来る と同時に

チチケウが来るのと同時に

175 エチアリキ ルウェ ネ クス
 eci=arki ruwe ne kusu
 (お前達)来る こと だ から

おまえ達が来たので

イラマンテ アナクネ ソモ エチイキ ノ
 iramante anakne somo eci=iki no
 狩り は しない (お前達)する で

狩りはせずに

ニサッタ クンネイワ アンナク
 nisatta kunneywa an _yak
 明日 朝 になる と

明日の朝になったら

ナニ エチホシピ ワ
 nani eci=hosipi wa
 すぐ (お前達)帰っ て

すぐに帰って

ネイ タ カ クチャ オツ タ カ
 ney ta ka kuca or_ ta ka
 どこ に も 狩り小屋 の所 に も

狩り小屋にも

180 エチホシピ カ ヘノイエ ソモ キ ノ
 eci=hosipi ka henoye somo ki no
 (お前達)帰る も 寄る しない で

寄ることもせずに

ナニ エチウニ タ エチパイェ ワ
 nani eci=uni ta eci=paye wa
 すぐ (お前達の)家 に (お前達)行っ て

すぐに家に帰りなさい。

エチウタリ エチシカスイレ ワ
 eci=utari eci=sikasuyre wa
 (お前達の)仲間 (お前達)手伝わ せ

おまえの村の人に手伝わせて

ウサ サケ アニ イナウ アニ
 usa sake ani inaw ani
 いろいろ 酒 で 木幣 で

酒や木幣で

ポイヤウンペ カムイ エチコヤヤッタサ
 poyyaunpe kamuy eci=koyayattasa
 ポイヤウンペ 神 (お前達)返礼する

ポイヤウンペにお礼を

13 ポイヤウンペがチチケウを退治して帰って行くことを表していると考えられるが、前段で「小さい鳥のようなもの」はチチケウの妹についての描写だったので、やや混同がみられる。

185 ヤク ピリカ ナ
yak pirka na'
と いい よ

しなさい』

セコロ アン ウェンタラプ
sekor an wentarap
と ある 夢を見る

という夢を

アキ ルウェ ネ オラ
a=ki ruwe ne ora
(私)すること で こんど

見たのです。

アシヌマ アナクネ タン イシカン ル オロケ
'asinuma anakne tan iskar_ ru orke
我こそ は この 石狩 川筋 の所

『私はこの石狩川の

エトコ タ
etoko ta
上流 で

上流で

190 カンピ コロ フンタ コロ¹⁴ ワ… アキ ワ
kanpi kor hunta kor wa… a=ki wa
紙 を持つ 札 を持つ て (私)し て

天の命で

タン イシカラ アエブンキネ ワクス
tan iskar a=epunkine wakusu
この 石狩 (私)守る だから

石狩を守っている

ラナン ワ アナン ペ
ran=an wa an=an pe
降りる(私) して いる(私) もの

天から降りて来た

ヤオシケプ¹⁵ カムイ アネ ルウェ ネ ワ
yaoskep kamuy a=ne ruwe ne wa
クモ 神 (私)である こと であって

クモの神なのだ。

オラ エチ… ポイヤウンペ カムイ
ora eci=... poyyaunpe kamuy
こんど (お前達) ポイヤウンペ 神

おまえ達はポイヤウンペの神に

195 エチヤヤッタサ ヘネ キ オカアン ワ…
eci=yayattasa hene ki oka=an wa…
(お前達)返礼する でも する いる(私) して

返礼をしたら

ネ ヤッカ ピリカ クス
ne yakka pirka kusu
で も いい ので

良い。

ヤオシケプ カムイ
yaoskep kamuy
クモ 神

そしてクモの神

14 カンピ kampi は「紙」、フンタ hunta は「札」という日本語からの移入語。直訳すると「紙 を持つ 札 を持つ」。どちらも組織における辞令交付のような意味を持つものとされている。転じてフンタ コロ hunta kor には「生まれついた宿命を持つ」という意味がある。

15 ヤオシケプ ya-oske-p (網・を編む・もの) で「クモ」。

リクン カント ウン ヤオシケブ カムイ
rikun kanto un yaoskep kamuy
天界 の クモ 神

天の国のクモの神に

アノミ ナ セコロ エチハウエオカ コロ
a=nomi na sekor eci=haweoka kor
(私)祈る よ と (お前達)言い ながら

祈りますと言って

200 イノミ ワ イコレ
i=nomi wa i=kore
(私に)祈っ て (私に)くれる

私に祈っておくれ。

ヤクン サスイシリ パクノ エチアエブンキネ
yakun sasuyisir pakno eci=a=epunkine
ならば 末代 まで (お前達を私が)守る

そうしたならばいつまでもおまえ達を守って

クス ネ ナ
kusu ne na'
つもりだ よ

あげよう』

セコロ アン ウエンタラプ
sekor an wentarap
と ある 夢

という夢を

アキ ルウエ ネ”
a=ki ruwe ne”
(私)する こと だ

見たのです」

205 セコロ アコロ オツカイポ
sekor a=kor okkaypo
と (私)の 若い男

と若者が

ハウエアン ルウエ ネ。
hawean ruwe ne.
言う こと だ

言ったので

ウエン イヨクンヌレアン。
wen iyokunnure=an.
ひどく 驚く(私)

本当に驚きました。

エイタサ パロルイ カ ソモ キ
eytasa paroruy ka somo ki
あまり おしゃべり も しない

あまりおしゃべりではない

ウウエペケレ カ ネプ カ ソモ イエ プ
uwepeker ka nep ka somo ye p
散文説話 も 何 も しない 言う もの

昔語りも何もすることのない

210 アコロ オツカイポ ネ ア プ
a=kor okkaypo ne a p
(私)の 若い男 だった が

若者だったのですが

エネ アン ウエンタラプ コロ ワ
ene an wentarap kor wa
このように ある 夢を見 て

そのような夢を見て

イヌレ ヒ
i=nure hi
(私に)聞かせる こと

聞かせてくれたことを

エアラキンネ アコヤイライケ ネ ヤク
earkinne a=koyayrayke ne yak
本当に (私)感謝する だ と

本当に感謝しました。

オンカミアナアナ ルウェ ネ ヒネ
onkami=an a an a ruwe ne hine
何度も拝礼する(私) こと であっ て

何度も拝礼をして

215 オラ ニサッタ ナニ クンネイワ
ora nisatta nani kunneywa
こんど 翌日 すぐ 朝

翌朝

トウナシノ ホブンパアン ヒネ
tunasno hopunpa=an hine
早くに 起きる(私達) して

早起きをして

オラ スイ アコロ オッカイポ スケ ヒネ
ora suy a=kor okaypo suke hine
こんど また (私)の 若い男 料理 して

また若者が炊事をして

イペアン カ キ ヒネ オラ ナニ ホシツパアン。
ipe=an ka ki hine ora nani hosippa=an.
食事する(私) も し て こんど すぐ 家に帰る(私)

食事をしてすぐ家に帰りました。

ネプ カ イシカラ タ アウク カ ソモ キ ノ
nep ka iskar ta a=uk ka somo ki no
何 も 石狩 で (私)取る も しない で

何も石狩ではとらずに

220 クチャ オツ タ カ ヘノイエアン カ ソモ キ ノ
kuca or_ ta ka henoye=an ka somo ki no
狩り小屋 の所 に も 寄る(私) も しない で

狩り小屋にも寄らずに

アコタヌ タ シレパアン ヒネ
a=kotanu ta sirepa=an hine
(私の)村 に 着く(私) して

私の村に着きました。

オラ ナニ アコタヌ ウン ウタラ
ora nani a=kotanu un utar
こんど すぐ (私の)村 の 人達

そしてすぐに村人達に

アシカスイレ ワ
a=sikasuyre wa
(私)手伝わせ て

手伝わせて

サケ アカラ エトコ アオイキ
sake a=kar etoko a=oyki
酒 (私)作る 準備を (私)する

酒を作る準備をし

225 ウサ サケ ウサ イナウ ウサ
usa sake usa inaw usa
色々 酒 色々 木幣 色々

酒や木幣や

ピリカ アエプ アニ
pirka aep ani
おいしい 食べ物 で

おいしい食べ物で

ナニ ポイヤウンペ カムイ アオカノミ
nani poyyaunpe kamuy a=okanomi
すぐ ポイヤウンペ 神 (私)儀式をする

ポイヤウンペの神へ儀式をしました。

ヤイカタ アコロ コタン パテク ソモ ネ ノ
yaykata a=kor kotan patek somo ne no
自分 (私)の 村 だけ しない で

自分の村だけではなく

オヤクン コタン オロ ワ コタン オロ ワ
oyak un kotan or wa kotan or wa
よそ の村 の所 から 村 の所 から

よその村から村へ

230 スイ コタン エエパツケ エエパツケ ウン
suy kotan eepakke eepakke un
また 村 その次 その次 に

次々に

タプネ ネ ヒ アスラニアン ワ
tapne ne hi asurani=an wa
このよう である こと 知らせる(私) して

このようなわけだと伝えて

オヤコヤク コタン オツ タ
oyakoyak kotan or ta
あちこちの 村 の所 で

あちこちの村で

ウサ サケ ウサ イナウ アニ
usa sake usa inaw ani
色々 酒 色々 木幣 で

酒や木幣を捧げ

ポイヤウンペ カムイ アオカノミ
poyyaunpe kamuy a=okanomi
ポイヤウンペ 神 (私)儀式をする

ポイヤウンペの神に儀式をし

235 ルウエ ネ ヒネ
ruwe ne hine
こと で そして

ました。

ウェン イヨクンヌレアン コロ
wen iyokunnure=an kor
ひどく 驚く(私) ながら

ひどく驚いて

オラノ ネイ タ オカケ アン ヤッカ
orano ney ta okake an yakka
そして どこ で 後 でも

その後も

ネイ タ サケ アコロ ヤッカ
ney ta sake a=kor yakka
どこ で 酒 (人)持つ ても

どこかで酒を作れば

ネ ポイヤウンペ カムイ カムイ ラメトク
ne poyyaunpe kamuy kamuy rametok
その ポイヤウンペ 神 神 勇者

そのポイヤウンペの神の勇者に

240 アコヤイライケ ヒ アイエ コロ
a=koyayrayke hi a=ye kor
(私)感謝する こと(私)言いながら

感謝の言葉を言いつつ

アノミ コロ アナナイネ
a=nomi kor an=an ayne
(私)祈り ながら いる(私) あげく

祈りました。

タネ アポ ウタリ カ ルプネ
tane a=po utari ka rupne
もう (私の)子 達 も 大きくなる

もう私の子供達も大きくなり

アコロ オッカイポ カ
a=kor okkaypo ka
(私)の 若い男 も

あの若者も

ピリカ メノコ エトウン ワ
pirka menoko etun wa
美しい 女 を妻にし て

美しい女性と結婚し

245 ウソイ タ ウソイ タ オカアン ワ
usoy ta usoy ta oka=an wa
隣 に 隣 に 暮らす(私達) して

隣同士に住んで

アポ ウタリ カ タネ ルプネパ コロ
a=po utari ka tane rupnepa kor
(私の)子達 も もう 大きくなる と

子供達ももう大きくなりました。

オラ タネ オンネアン エトコ タ
ora tane onne=an etoko ta
こんど もう 死ぬ(私) 前 に

年を取って死ぬ前に

アポ ウタリ アコイタクムイエ
a=po utari a=koitakmuye
(私の)子達 (私)言い残す

息子達に遺言をし

ネイ パクノ エチオカ ヤッカ
ney pakno eci=oka yakka
いつ までも (お前達)暮らす も

いつまでも

250 ポイヤウンペ カムイ ラメトク
poyyaunpe kamuy rametok
ポイヤウンペ 神 勇者

ポイヤウンペ、神の勇者に

エチノミ ヒ アナクネ
eci=nomi hi anakne
(お前達)祈る こと は

祈ることを

イテキ エチオイラ ヤク ピリカ。
iteki eci=oyra yak pirka.
決して (お前達)忘れる と いい

決して忘れるのではないよ。

オラ イシカン ル オロケ ウン アナクネ
ora iskar_ ru orke un anakne
こんど 石狩 川筋 の所 に は

そして石狩川の川筋には

イテキ エチイラマンテ

iteki eci=iramante

決して (お前達) 狩り

決して行くのでは

255 ソモ キ ヤク ピリカ ナ
somo ki yak pirka na

しない と いい よ

ないよ

セコロ アポ ウタリ

sekor a=po utari

と (私の) 子 達

と子供達に

アコイタクムイエ コロ アナン アイネ

a=koitakmuye kor an=an ayne

(私) 言い残し ながら いる(私) うちに

言い残して

タネ ヤイカタ カ オンネアン

tane yaykata ka onne=an

もう 自分 も 死ぬ(私)

もう私も死んで行きます。

アポ ウタリ カ マツ コロ カ キ

a=po utari ka mat kor ka ki

(私の) 子 達 も 妻 を持つ も し

子供達も妻をもらい

260 ナ ネン ネン

na nen nen

まだ いろ いろ

それぞれに

ヤイラメコテパ シリ アヌカラ コロ

yayramekotepa siri a=nukar kor

結婚する 様子 (私) 見 ながら

結婚したのを見届けて

オンネアン ペ ネ アクス アイェ セコロ

onne=an pe ne akusu a=ye sekor

死ぬ(私) もの だったところ (私) 言う と

死んでいくのでお話ししますと

シネ オツカイポ イソイタク セコン ネ。

sine okaypo isoytak sekor_ ne.

ある 男 物語る と さ

ある男が物語りましたとさ。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 3

上田トシの民話 3

発 行 日 2015 年 3 月 31 日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒 059-0902 北海道白老郡白老町若草町 2－3－4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成 26 年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）の交付を受けて作成しました。

